

高知県立大学年報

令和元(平成31)年度



高知県立大学

目 次

1 概 要	
1 教育目標及び高知県立大学のめざすもの	1
2 名称及び所在地	1
2 沿 革	
1 概 要	2
2 沿革図	2
3 主要年表	3
4 名誉教授	7
3 組織及び教職員	
1 組 織	9
2 教 員	1 1
4 教育及び研究	
1 学部・大学院の概要	2 6
2 共通教養教育科目及び受講者の状況	3 2
3 教員免許状取得等及び国家資格取得の状況	4 5
4 学位及び大学賞・学長賞等の授与状況	4 6
5 S D ・ F D 活動実施状況	5 1
5 学 生	
1 行事実績	5 5
2 入学の状況	5 7
3 学生数	6 0
4 休学・退学・修業年限を超えて在籍する学生数及び単位互換の状況	6 1
5 課外活動	6 3
6 授業料等の納入状況	6 4
7 日本学生支援機構奨学金受給状況	6 5
8 卒業（修了）者状況	6 6
6 総合情報センター	6 8
7 地域教育研究センター	7 1
8 健康長寿センター	7 8
9 健康管理センター	8 1
10 国際交流	8 7
11 開かれた大学	
1 公開講座等実施状況	8 9
2 学会役員等の状況	9 2
3 学外提供用刊行物作成状況	1 0 3
12 財 務	
1 はじめに	1 0 5
2 貸借対照表	1 0 5
3 損益計算書	1 0 8
4 その他の主要諸表	1 1 0
5 外部資金導入の状況	1 1 1
6 学長助成事業等の状況	1 2 3
13 キャンパス	
1 土 地	1 2 4
2 建 物	1 2 4

1 概要

1 教育目標及び高知県立大学のめざすもの

本学は、教育基本法に基づき、広く知識を授け、専門の学芸を教授研究し、もって人格の向上を図るとともに、平和と文化の発展及び福祉の増進に貢献しうる人材を育成し、併せて地域社会の向上に寄与することを目的とする。

高知県立大学のめざすもの

60年にわたり一貫して女子教育に貢献してきた伝統を尊重しながら、新しい時代の要請に応え得る質的な変革を行い、21世紀を展望し、教育文化の拠点として地域とともに発展する大学を目指して、次の教育を重視する。

21世紀における
新しい価値観の創造

地域文化の創造

豊かな
人間性の涵養

2 名称及び所在地

名 称		所 在 地	TEL・FAX
池 キ ヤ ン パ ス	看護学部	〒781-8515 高知市池2751-1	TEL:088-847-8700 (代表) FAX:088-847-8670
	社会福祉学部		
	健康栄養学部		
	大学院看護学研究科		
	大学院人間生活学研究科 (栄養・生活学領域、社会福祉学領域)		
	事務局		
附属図書館			
キ ヤ ン パ ス 永 国 寺	文化学部(夜間主含む)	〒780-8515 高知市永国寺町2-22	TEL:088-821-7104 (代表) FAX:088-821-7103
	大学院人間生活学研究科(文化学領域)		
	事務局		
	附属図書館		

2 沿革

1 概要

高知県立大学は、高知県立女子専門学校(昭和22年設立認可)を母体とする、家政学部生活科学科の単科大学である高知女子大学(昭和24年設立認可)を前身とする。その後、昭和31年に文学部を新設して2学部体制となった。

平成10年4月には、21世紀を展望し、教育文化の拠点として地域とともに発展する大学を目指して大規模な改組を行い、生活科学部・文化学部・看護学部・社会福祉学部の4学部6学科体制となるとともに、大学院看護学研究科を新設した。平成22年には、生活科学部食物栄養学科が健康栄養学部健康栄養学科へと学部へ昇格した。平成26年4月には生活科学部を廃止し、平成28年3月には健康生活科学研究科を廃止し、看護学研究科及び人間生活学研究科をそれぞれ博士前期課程と博士後期課程からなる体制へと変更を行った。

平成23年には公立大学法人化を行い、男女共学化とともに、名称も高知女子大学から高知県立大学へと校名変更を行った。平成27年には公立大学法人高知工科大学と法人統合を行った。

2 沿革図

昭和19年

高知県立女子医学専門学校設立認可



昭和22年

高知県立女子専門学校設立認可



昭和24年

高知県立高知女子大学設立認可

【学部】

家政学部

生活科学科



昭和27年

家政学部

生活科学科

看護学科



昭和31年

家政学部

文学部

生活科学科

看護学科

国文学科

英文学科



(S34 看護学科 → 衛生看護学科に改称)

昭和39年

家政学部

文学部

家政学科

食物栄養学科

生活理学科

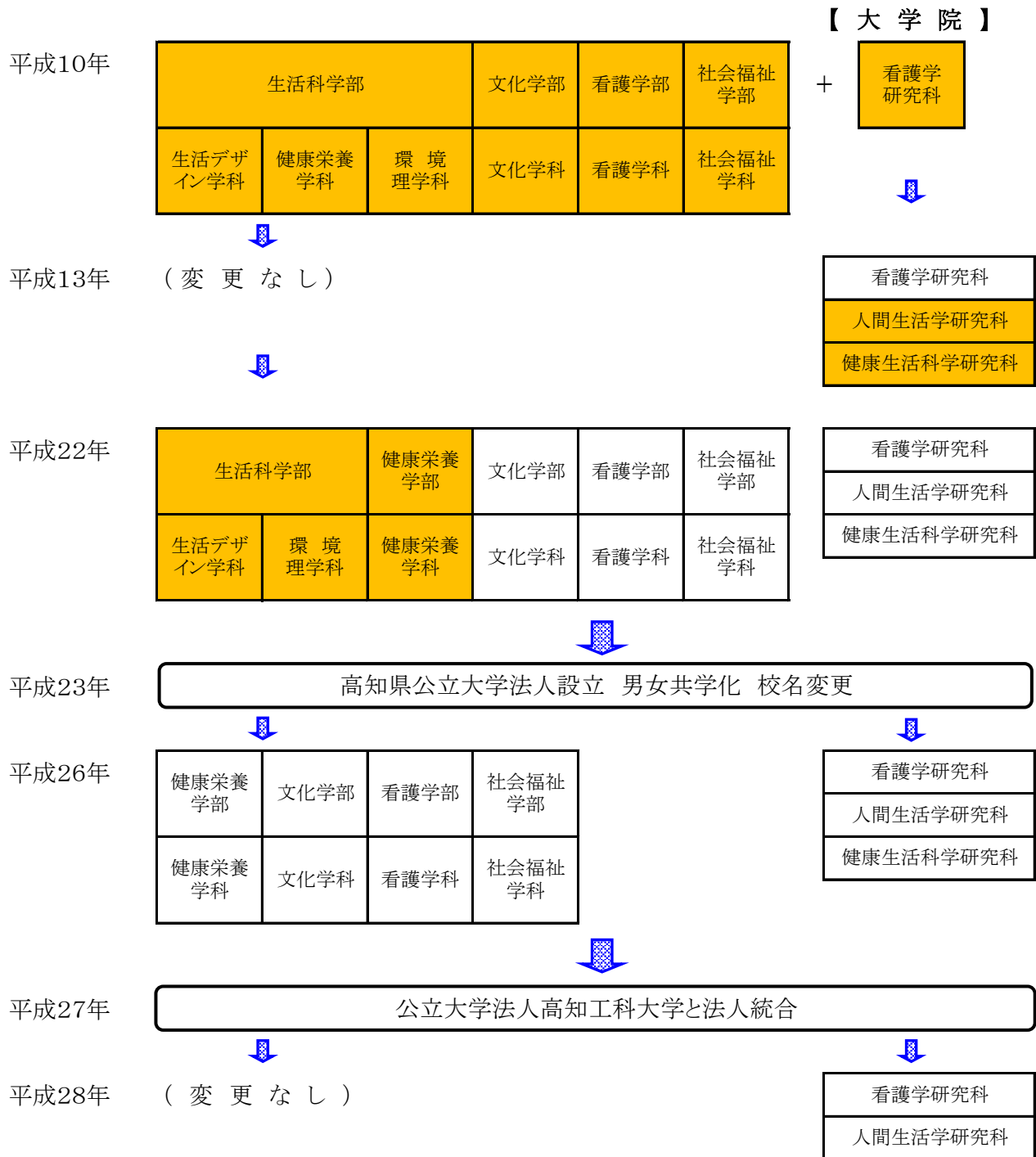
衛生看護学科

国文学科

英文学科



(S56 衛生看護学科 → 看護学科に改称)



3 主要年表

昭和19年12月29日	高知県立女子医学専門学校設立認可
昭和20年 8月 8日	高知県立女子医学専門学校開学式及び入学式(同年1月8日学則発表)
昭和22年 3月31日	高知県立女子専門学校設立認可 (県議会で2月25日女子医学専門学校廃止、女子専門学校設置の決議)
昭和24年 2月21日	昭和22年創立の県立女子専門学校を母体とし、県立高知女子大学 (家政学部生活科学科)設立認可
昭和24年 4月 1日	初代学長岡本重雄就任
昭和25年 4月 1日	家政学部生活科学科を栄養士養成施設として指定

昭和26年 3月31日	教職課程を設置、中学校・高等学校教諭(家庭)免許状授与資格を取得させるための課程として認定
昭和27年 2月20日	家政学部看護学科増設認可
昭和27年 3月18日	学長岡本重雄退職、教授福田俊治学長事務取扱に就任
昭和27年 9月22日	看護婦学校として指定
昭和27年10月 1日	第二代学長志波清時就任
昭和29年 3月21日	学長病気のため教授中村慶三郎学長代理に就任
昭和29年 4月 1日	正規の課程及び聴講生の課程を中学校・高等学校教諭(理科、保健、家庭、英語)・養護教諭の免許状授与の資格を取得させるための課程として認定
昭和30年 3月29日	保健婦学校として指定
昭和30年 9月10日	第三代学長中村慶三郎就任
昭和31年 3月 1日	文学部(国文学科、英文学科)増設認可
昭和32年 4月 1日	正規の課程を中学校・高等学校教諭(国語)免許状授与の資格を取得させるための課程として認定
昭和34年 4月 1日	家政学部看護学科を衛生看護学科に改称
昭和34年12月 1日	第四代学長紫藤貞一郎就任
昭和38年 8月 3日	学長紫藤貞一郎退職、教授田中亮学長事務取扱に就任
昭和39年 4月 1日	家政学部生活科学科を家政学科・食物栄養学科・生活理学科に改称
昭和39年 4月10日	第五代学長徳田弥就任
昭和41年 3月31日	附属図書館新館落成
昭和42年12月10日	家政学部実験棟新館落成
昭和43年 4月10日	第六代学長藤本薫喜就任
昭和43年10月15日	管理棟及び講義棟新館落成
昭和44年 9月10日	講堂兼体育館落成
昭和45年 4月 2日	第七代学長安中正哉就任
昭和46年 3月31日	学生寮落成 集団給食実習室落成
昭和46年 4月 1日	正規の課程及び聴講生の課程を高等学校教諭(看護)免許状授与の資格を取得させるための課程として認定
昭和47年 3月31日	作法室落成
昭和48年11月 7日	運動場完成
昭和50年 1月10日	高知女子大学保育短期大学部認可
昭和50年 4月 1日	高知女子大学保育短期大学部開学
昭和55年 4月 2日	第八代学長岡崎正一就任
昭和55年10月 7日	南学舎改築学生会館新築落成
昭和56年 4月 1日	家政学部衛生看護学科を看護学科に改称
昭和59年 4月 2日	第九代学長木原正雄就任
昭和62年11月15日	情報処理施設設置
昭和63年 6月28日	附属図書館増改築落成
平成 2年 3月26日	聴講生の課程を中学校・高等学校教諭(国語)免許状授与資格を取得させるための課程として認定
平成 2年 3月27日	弓道場落成
平成 2年 4月 2日	第十代学長池川順子就任

平成 8年 4月 2日	第十一代学長成田十次郎就任
平成10年 3月31日	池校舎落成
平成10年 4月 1日	改組 生活科学部(生活デザイン学科・健康栄養学科・環境理学科) 文化学部(文化学科) 看護学部(看護学科) 社会福祉学部(社会福祉学科) 大学院看護学研究科 教員の免許状授与の所要資格を取得させるための大学学部等の課程として認定
平成10年 4月 1日	高知女子大学保育短期大学部廃止
平成12年 4月 1日	教育職員免許法改正による教員の免許状授与の所要資格を取得させるための大学学部等の課程として認定
平成12年 8月29日	社会福祉士国家試験に係る指定科目の読替について認定
平成13年 4月 1日	大学院研究科の増設 人間生活学研究科(修士課程) 健康生活科学研究科(博士課程後期) 二級建築士試験及び木造建築士試験の受験資格として認定
平成14年 9月 5日	精神保健福祉士国家試験に係る指定科目の読替について認定
平成14年10月15日	学長成田十次郎退任、副学長吉野公喜学長事務代理に就任
平成15年 1月22日	第十二代学長吉野公喜就任
平成15年 4月 1日	第十三代学長青山英康就任 生活科学部健康栄養学科を管理栄養士養成施設として認定
平成16年 4月 1日	高等学校教諭(福祉)免許状授与の所要資格を取得させるための大学学部等の課程として認定
平成17年 4月 1日	栄養教諭免許状授与資格を取得させるための大学学部等の課程として認定
平成19年 4月 1日	第十四代学長山根洋右就任 看護学部看護学科を助産師学校として指定
平成21年11月30日	看護福祉棟新築落成
平成22年 2月28日	本部・健康栄養学部棟新築落成
平成22年 4月 1日	健康栄養学部健康栄養学科の設置(届出) 本学本部機能を池校舎に移転 社会福祉学部社会福祉学科に介護福祉士養成課程を新設し、介護福祉士養成施設として認定 健康栄養学部健康栄養学科を栄養士養成施設として認定 健康栄養学部健康栄養学科を管理栄養士養成施設として認定
平成22年10月31日	共用棟増改築落成
平成23年 4月 1日	大学の設置者を高知県公立大学法人に変更(許可) 男女共学化により大学名称を高知県立大学に変更(届出) 初代学長南裕子就任
平成24年 4月 1日	学芸員資格取得教育課程の廃止 地域教育研究センターの設置
平成25年 4月 1日	中学校・高等学校教諭(英語)専修免許状及び栄養教諭専修免許状授与資格を取得させるための大学学部等の課程として認定

平成26年 4月 1日	大学院課程の増設 <ul style="list-style-type: none"> ・看護学研究科看護学専攻(博士後期課程) ・人間生活学研究科人間生活学専攻(博士後期課程) ・看護学研究科共同災害看護学専攻(博士課程) 生活科学部の廃止
平成27年 4月 1日	公立大学法人高知工科大学と法人統合 永国寺キャンパス教育研究棟落成 文化学部を拡充(夜間主の設置)
平成28年 3月31日	健康生活科学研究科健康生活科学専攻(博士後期課程)を廃止
平成29年 3月	永国寺キャンパス体育館・食堂、図書館落成
平成29年 4月 1日	第二代学長野嶋佐由美就任
平成30年 3月23日	永国寺キャンパス整備完了(永国寺キャンパス西側敷地に緑の広場とモニュメント、学生会館の改修完了)。お披露目式を開催。モニュメント「詩の翼」は同窓会しらさぎ会からの寄贈

4 名 誉 教 授

現在までに名誉教授の称号を授与された教授は、66名である。

高知女子大学

(平成23年3月31日現在)

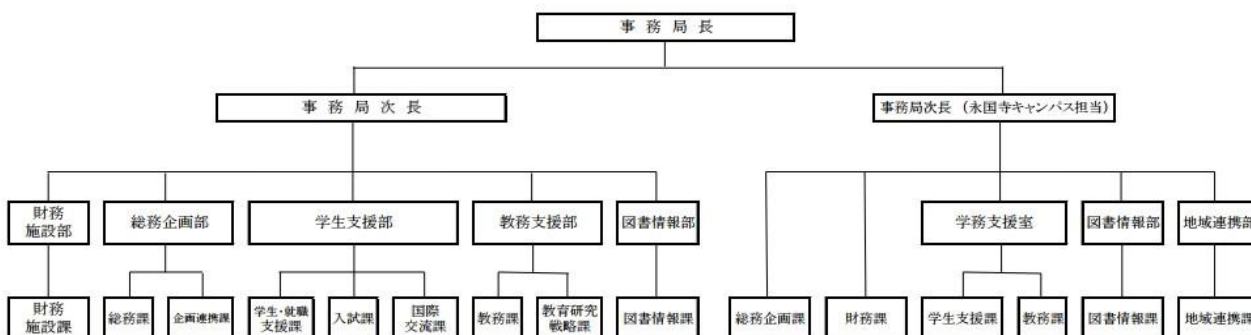
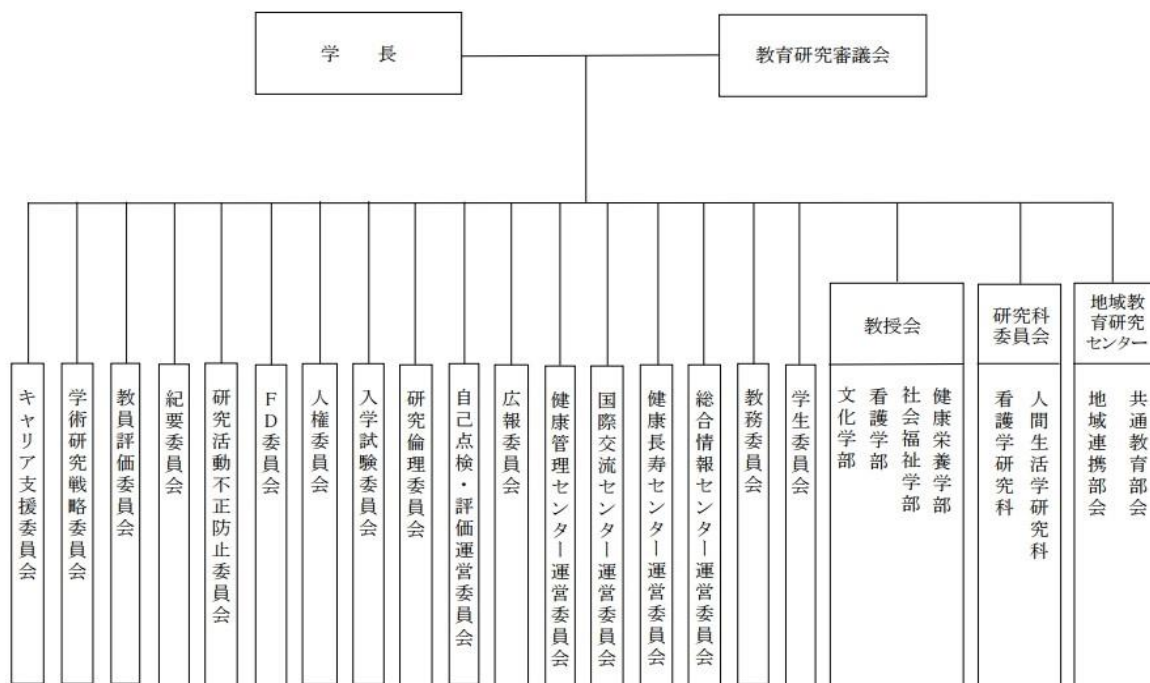
	氏 名	所属(退職時)	授与年月日		氏 名	所属(退職時)	授与年月日
1	正 木 喬	文学部	昭和46. 7.12	26	岡 崎 芳 子	家政学部	平成 9. 4. 1
2	田 中 亮	家政学部	昭和48. 5. 7	27	宇 久 真 雄	文学部	平成 9. 4. 1
3	市 川 一 夫	家政学部	昭和48. 5. 7	28	徳 満 澄 雄	文学部	平成 9. 4. 1
4	笹 原 邦 彦	家政学部	昭和50. 5.19	29	中 山 喜 代 子	家政学部	平成10. 4. 1
5	山 崎 良 幸	文学部	昭和50. 5.19	30	金 谷 嘉 郎	文化学部	平成11. 4. 1
6	丸 山 和 雄	文学部	昭和50. 5.19	31	岡 本 健 児	文学部	平成12. 4. 1
7	和 井 兼 尾	家政学部	昭和51.12.20	32	橋 本 名 正	文化学部	平成12. 4. 1
8	深 瀬 亀 美	家政学部	昭和52. 6.27	33	秋 田 利 彦	生活科学部	平成12. 7. 7
9	三 宮 慎 助	文学部	昭和54. 4.19	34	濱 田 美 智	社会福祉学部	平成13. 4. 1
10	安 中 正 哉	学 長	昭和55. 4.10	35	藤 田 加 代	文化学部	平成14. 4. 1
11	山 本 壽 春	家政学部	昭和55. 4.10	36	坂 本 肇	文化学部	平成14. 4. 1
12	岩 貞 好	家政学部	昭和55. 4.10	37	寺 内 アヤ子	生活科学部	平成14. 4. 1
13	赤 沢 時 之	家政学部	昭和56. 4.10	38	山 崎 美 恵 子	看護学部	平成14. 4. 1
14	芝 田 不 二 男	家政学部	昭和59. 4.10	39	津 曲 裕 次	社会福祉学部	平成14. 4. 1
15	畠 中 幸	文学部	昭和60. 4.10	40	今 西 一 實	社会福祉学部	平成14. 4. 1
16	作 田 芳 次	家政学部	昭和62. 4.10	41	松 本 女 里	看護学部	平成15. 4. 1
17	平 見 嘉 彦	家政学部	平成 3. 5.10	42	生 田 勝 彦	文化学部	平成15. 4. 1
18	児 平 文 雄	家政学部	平成 4. 4. 1	43	阿 部 捷 男	生活科学部	平成16. 4. 1
19	松 崎 淳 子	家政学部	平成 4. 4. 1	44	山 口 俊 治	文化学部	平成18. 4. 1
20	山 崎 智 子	家政学部	平成 6. 4. 1	45	原 絢 子	生活科学部	平成18. 4. 1
21	市 村 金 次 郎	文学部	平成 7. 4. 1	46	松 田 眞 一	社会福祉学部	平成18. 4. 1
22	矢 野 昭 典	文学部	平成 8. 4. 1	47	住 友 弘 一	文化学部	平成19. 4. 1
23	藤 村 千 賀	家政学部	平成 8. 4. 1	48	山 根 久 之 助	文化学部	平成20. 4. 1
24	池 川 順 子	学 長	平成 8. 4. 1	49	川 崎 育 郎	社会福祉学部	平成21. 4. 1
25	松 崎 沙 和 子	家政学部	平成 9. 4. 1				

	氏名	所属(退職時)	授与年月日		氏名	所属(退職時)	授与年月日
1	青山英康	学長	平成23.5.19	10	前山智	社会福祉学部	平成26.5.1
2	成田十次郎	学長	平成23.5.19	11	井本正人	文化学部	平成27.4.1
3	山根洋右	学長	平成23.5.19	12	逸見幾代	健康栄養学部	平成27.4.1
4	北川明	文化学部	平成23.5.19	13	荻沼一男	健康栄養学部	平成28.4.1
5	大久保茂男	生活科学部	平成24.5.31	14	森下利子	看護学部	平成28.4.1
6	青木晴男	文化学部	平成26.4.1	15	南裕子	学長	平成29.4.20
7	佐藤恵里	文化学部	平成26.4.1	16	芋生裕信	文化学部	平成30.4.1
8	宮武陽子	看護学部	平成26.4.1	17	宇野浩三	地域教育研究センター	平成30.4.1
9	川村美笑子	健康生活科学研究科	平成26.4.1				

3 組織及び教職員

1 組織

(1)組織図



(2)教職員構成

(令和元年5月1日現在)

区 分	教 員								事 務 局 職 員					合 計	
	学 長	副 学 長	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	計	局 長	事 務 職 員	司 書	保 健 師	計		
現 員	1	2	40	29	18	34	2	126	1	62	1	3	67	193	
内 訳	学 長	1						1							
	副学長		2						2						
	文化学部			10	11	3	0	0	24						
	看護学部			15	8	5	21	0	49						
	社会福祉学部			7	4	6	7	0	24						
	健康栄養学部			4	3	3	3	2	15						
	大学院			1	0	1	1	0	3						
	地域教育研究センター			3	1	0	0	0	4						
	総合情報センター			0	1	0	1	0	2						
	健康長寿センター			0	1	0	1	0	2						

(3)新規採用教員数

	学 長	副学長	教 授	准教授	講 師	助 教	助 手	計
学長	0	0						0
文化学部			0	0	0	0	0	0
看護学部			1	2	0	3	0	6
社会福祉学部			0	1	2	0	0	3
健康栄養学部			0	0	0	0	0	0
看護学研究科			0	0	1	0	0	1
人間生活学研究科			0	0	0	0	0	0
地域教育研究センター			0	0	0	0	0	0
総合情報センター			0	0	0	0	0	0
健康長寿センター			0	0	0	1	0	1
合 計	0	0	1	3	3	4	0	11

2 教 員(令和元年度末)

(1)学部

○文化学部文化学科

職 名	氏 名	最終学歴	学 位(大学名)	主たる担当科目	現在の研究テーマ
教授	五百蔵 高浩	兵庫教育大学大学院 連合博士課程単位取 得退学	博士(学校教育学) (兵庫教育大学)	英語音声学、英語科教 育法	英語の子音結合の分布 コーパス言語学的アプローチによる語法
教授	井上 次夫	大阪外国語大学大学 院外国語学研究所日 本語学専攻修士課程 修了	修士(言語・文化) (大阪外国語大 学)	国語科教育法、日本語 学専門演習	国語科教育における指導法及び教材開発 日本語における様式的位相の研究
教授	岩倉 秀樹	広島大学大学院社会 科学研究科法学専 攻博士課程後期単位 取得退学	法学修士 (広島大学)	日本国憲法、文化と人 権、文化と統治システム	表現の自由 選挙法
教授	大井 方子	東京大学大学院経済 学研究科第2種博士 課程単位修得退学	修士(経済学) (東京大学)	経済学、文化と経済、地 域産業論、社会調査論	技術革新、教育と労働に関する実証研究
教授	大村 誠	京都大学大学院理学 研究科博士後期課程 単位取得退学	博士(理学) (京都大学)	地域防災論、地域文化 論、観光と自然環境(共 通)自然災害と防災の科 学	防災全般(防災教育、地域防災、災害看護支援) 人工衛星/航空機搭載合成開口レーダー(SAR)の応用 理科・科学教育、サイエンスコミュニケーション
教授	小長谷 悠紀	立教大学大学院観光 学研究科博士課程後 期課程単位取得退学	博士(観光学) (立教大学) 修士(工学) (東京大学)	観光学総論、観光まちづ くり論、観光産業論など	観光都市、観光まちづくりの計画・デザイン 観光文化研究(観光地形成過程、他者寛容性の高い風土・都市 空間)
教授	高西 成介	広島大学大学院文学 研究科博士課程後期 単位取得満期退学	修士(文学) (広島大学)	中国文学講読	六朝志怪小説、唐代伝奇小説、六朝詩、唐詩の解読、およびそ れらの作品を通して当時の社会・文化、および人々の心性の解 明
教授	橋尾 直和	東京都立大学大学院 人文科学研究科博士 課程単位取得退学	教育学修士 (鳴門教育大学)	日本語学専門演習	東アジアにおける地域言語(日本語諸方言・アイヌ語・琉球語)の 文化環境言語学的研究
教授	東原 伸明	国学院大学大学院文 学研究科博士課程単 位取得退学	博士(文学) (名古屋大学)	平安朝文学演習、古典 文学講読、基礎古典	土左日記、竹取物語、伊勢物語、源氏物語の語りと言語・テキスト 分析
教授	三浦 要一	大阪府立大学大学院 生活科学研究科後期 博士課程修了	博士(学術) (大阪府立大学)	住文化論、景観文化論	伝統的集落・町並みの保存と生活空間計画 歴史的建造物の復元に関する調査研究 大阪の都市空間に関する住居史的・都市史的研究
教授	ヨース・ ジョエル	ルーヴェンカトリック 大学日本学科博士課 程修了	博士(日本学) (ルーヴェンカト リック大学[ベル ギー])	日本思想史、国際日本 学	自由民権運動、明治時代の思想と文化、日本の歴史と社会を英 語で表現する
准教授	飯高 伸五	東京都立大学大学院 社会科学研究所博士 課程単位取得退学	博士(社会人類 学) (東京都立大学)	文化人類学、民俗学、観 光文化論	ミクロネシア地域における日本統治経験 アジア・太平洋戦争の記憶と戦跡観光 同郷者集団のネットワーク
准教授	宇都宮 千穂	京都大学大学院経済 学研究科博士後期課 程修了	博士(経済学) (京都大学)	文化政策学、地域づくり 論、地域学概論	近現代における企業城下町形成 都市的生活様式とコミュニティ形成に関する研究 地方移住政策と移住者
准教授	オバーク・ アンドリュウ	ウェールズ大学文学 研究科哲学博士課程 修了、レーディング大 学文学研究科語学教 育課程修士修了	博士(哲学) (ウェールズ大学) 修士(応用哲学) (ウェールズ大学) 修士(英語教育) (レーディング大 学)	国際理解、比較日本学、 教育法、英語ライティ ング、英語スピーキン グ	自己学、現像学、哲学、神学、美術学の共通点
准教授	金澤 俊吾	東北大学大学院情報 科学研究科博士後期 課程修了	博士(情報科学) (東北大学)	英語学概論、英語文法 論、英語学専門演習	英語における形式と意味との対応関係に関する研究 英語における形容詞が関わる構文の意味的ネットワークに関する 研究
准教授	菊池 直人	京都産業大学大学院 法学研究科博士後期 課程単位取得退学	修士(法学) (京都産業大学)	文化と権利、生活と法文 化	生命保険契約における被保険者の法的地位、消費者教育

職名	氏名	最終学歴	学位(大学名)	主たる担当科目	現在の研究テーマ
准教授	清水 直樹	立命館大学大学院政策科学研究科政策科学専攻博士課程後期課程修了	博士(政策科学) (立命館大学)	政治学、地域分析論、地方自治論、地域づくりフィールドスタディなど	政治制度が公共政策や社会経済に与える影響
准教授	溜 和敏	中央大学大学院法学研究科政治学専攻博士課程後期課程修了	博士(政治学) (中央大学)	国際関係論、国際開発論、グローバルスタディー	現代の大国間国際政治におけるインド
准教授	鳥飼 真人	関西大学大学院文学研究科英文学専攻後期博士課程修了	博士(文学) (関西大学)	英文化・文学史、英文化・文学論、国際文化専門演習	近現代英文学 現代文学理論 比較文化 East-West Studies
准教授	根岸 忠	上智大学大学院法学研究科博士後期課程満期退学	修士(法学) (法政大学)	労働契約と法文化、社会保障と法文化	介護労働者の労働条件保護、ワーク・ライフ・バランスに関する法的研究
准教授	向井 真樹子	ニューカッスル大学大学院 School of English & Linguistics修了	博士(言語学) (ニューカッスル大学)	対照言語学、比較言語学、言語教育実践論研究、英語学専門演習、英語コミュニケーションI、日本語II	生成文法における英語、スカンディナヴィア諸言語族、ロマンス諸語、日本語の複合語の普遍的特徴 外国語学習者の言語特徴と習得理論(特に生成文法)
准教授	吉川 孝	慶應義塾大学大学院文学研究科哲学倫理学専攻後期博士課程修了	博士(哲学) (慶應義塾大学)	哲学・倫理学	現象学派の倫理学 生き方の哲学 ケアの哲学
講師	梶原 太一	同志社大学大学院商学研究科商学専攻博士課程後期課程修了	博士(商学) (同志社大学)	NPO論、キャリアデザイン論、キャリア形成論、ビジネスリテラシー	投資の見返り(ROI)の多様な計算方法 複式簿記情報と資本コスト情報の固有価値 人間の計数能力形成と発達に関する歴史・制度的研究
講師	田中 康代	関西学院大学院法学研究科後期課程単位取得中退	修士(法学) (甲南大学)	社会秩序と法、文化と裁判	国際人権法から見た精神障害者の処遇
講師	田中 裕也	同志社大学大学院文学研究科国文学専攻博士課程後期課程修了	博士(国文学) (同志社大学)	近代文学講読、日本文学史(近代)	三島由紀夫文学における思想系テキスト受容の研究 戦後文学における〈人間〉と〈美〉の表象研究 文学の検閲 解釈学と生成論

○看護学部看護学科

職名	氏名	最終学歴	学位(大学名)	主たる担当科目	現在の研究テーマ
教授	畦地 博子	高知女子大学大学院 健康生活科学研究科 博士後期課程修了	博士(看護学) (高知女子大学)	行動科学、保健行動論、 人間と看護、看護研究方 法論、看護哲学と倫理	精神科看護師のケア技術に関する研究
教授	池添 志乃	高知女子大学大学院 健康生活科学研究科 博士後期課程修了	博士(看護学) (高知女子大学)	養護概説、学校保健、臨 床看護論Ⅱ、家族関係 論、教職実践演習、小児 看護学の動向と課題、養 護実習	さまざまな健康レベルにある子どもと家族の生きる力を支えるケア についての研究 家族の生活の再構築に関する研究
教授	池田 光徳	岡山大学大学院医学 研究科博士課程修了	博士(医学) (岡山大学)	医学の世界、診断学、治 療学総論、人体のしくみ の乱れⅠⅡ、臨床看護 論、医学と看護の統合	代謝異常症 角化細胞の生物学 皮膚アレルギー 転写因子 褥瘡 皮膚機能検査
教授	内田 雅子	日本赤十字看護大学 大学院博士課程修了	博士(看護学) (日本赤十字看護 大学)	看護学総論、健康と看 護、援助関係論、慢性期 看護論、慢性期看護援 助論、治療援助論ⅠⅡ、 症状と看護、治療と看 護、臨床看護論Ⅳ(慢性 の病と生活)、総合看護 実習(慢性期)、看護と政 策、慢性期看護実践論、 看護実践能力開発実 習、看護研究、慢性期看 護学の動向と課題	高知県の血管病ハイリスク群への重症化予防推進・看看連携モ デルの開発 慢性看護実践における事例研究法の再構築 慢性透析者における生活の再編成 チーム・プロセスに焦点化した継続教育プログラム
教授	瓜生 浩子	高知県立大学大学院 健康生活科学研究科 博士後期課程修了	博士(看護学) (高知県立大学)	生活援助論Ⅰ、フィジカ ルアセスメントⅠ、人間と 看護、看護過程論、看護 援助の動向と課題、看護 研究	高次脳機能障害者とともに生きる家族の体験と支援に関する研 究 家族レジリエンスを促す看護に関する研究 家族看護実践における倫理調整力強化のための教育に関する 研究
教授	大川 宣容	高知県立大学大学院 健康生活科学研究科 博士後期課程修了	博士(看護学) (高知県立大学)	フィジカルアセスメント Ⅱ・治療援助論Ⅰ・急性 期看護論・回復期看護 援助論・急性期看護援 助論・総合看護実習、急 性期看護の動向と課題、 バイオリジカルナーシ ング	悲嘆ケアに関する研究 治療期にある患者・家族の体験に関する研究
教授	久保田 聡美	高知女子大学大学院 健康生活科学研究科 博士後期課程修了	博士(看護学) (高知女子大学)	特別講義(看護学研究 科)、管理者研修、看護 管理者研修、コーディ ネート能力習得研修(退 院支援事業)	災害に強い専門職育成に関する研究 看護職のストレスマネジメントに関する研究 慢性疾患や禁煙支援、スタッフ支援における動機付け面接(MI) の臨床活用
教授	田井 雅子	高知県立大学大学院 健康生活科学研究科 博士後期課程修了	博士(看護学) (高知県立大学)	精神看護学総論、精神 の健康と看護、精神看護 の動向と課題、総合看護 実習、看護研究	精神障害者の地域生活に向けた援助 統合失調症患者のセルフマネジメントに関する研究 家族のレジリエンスを促進する看護に関する研究
教授	竹崎 久美子	高知女子大学大学院 健康生活科学研究科 博士後期課程修了	博士(看護学) (高知女子大学)	老人看護学総論、老人 看護援助論、老人看護 の動向と課題、老人看護 実践論、生活援助論Ⅱ、 災害と看護ⅠⅡ、看護研 究、ふれあい看護実習	高齢者の「居がい」について 小規模デイサービスの場づくりとケア効果 高齢患者の自宅退院支援プログラムの開発 認知症高齢者の術後安静をより安楽に保つためのケア開発 南海トラフ巨大地震準備期における災害看護
教授	時長 美希	高知女子大学大学院 健康生活科学研究科 博士後期課程修了	博士(看護学) (高知女子大学)	健康と看護・人間と看 護・学校保健・地域看護 学総論・地域看護援助 論・保健行動論・保健統 計学・疫学	アウトリーチ活動を基盤とした地区活動モデルの構築 脆弱性を有する家族への支援活動ガイドラインの開発と地域母 子支援システムの構築 災害後における家族レジリエンスを促す看護支援モデルの構築 とその活用
教授	長戸 和子	高知女子大学大学院 健康生活科学研究科 博士後期課程修了	博士(看護学) (高知女子大学)	生活援助論Ⅱ、生活と看 護、看護援助の動向と課 題、看護研究	病者特に慢性疾患患者とその家族への看護、家族マネジメント 力に関する研究

職名	氏名	最終学歴	学位(大学名)	主たる担当科目	現在の研究テーマ
教授	中野 綾美	日本赤十字看護大学大学院看護学研究科博士課程満期退学	博士(看護学) (日本赤十字看護大学)	小児看護学総論、小児の健康と看護、看護研究方法論、看護と政策	命に向き合う子どもと親のエンドオブライフケアへの看護に関する研究 臓器移植を受ける子どもの家族に関する研究 子どもセルフケアに関する研究 災害後における家族レジリエンスを促す看護に関する研究
教授	藤田 佐和	聖路加看護大学大学院看護学研究科博士後期課程修了	博士(看護学) (聖路加看護大学)	看護学総論、治療援助論Ⅱ、看護哲学と倫理、終末期看護援助論、看護と政策	がん認知症を併せもつ高齢がん患者の緩和ケアと認知症ケアの統合ケアモデルの開発 がん看護に携わる看護師の教育プログラムの開発と効果に関する研究
教授	森下 安子	高知県立大学大学院看護学研究科博士後期課程満期退学	博士(看護学) (高知県立大学)	在宅看護学総論、在宅看護援助論、在宅看護リエゾン論、在宅看護の動向と課題、人間と看護、臨床看護論Ⅰ	在宅生活の継続と自立を支援するケアマネジメント技術、在宅移行を支援に関する研究、災害看護支援ネットワークに関する研究
教授	森本 悦子	千葉大学大学院看護学研究科博士後期課程修了	博士(看護学) (千葉大学)	症状と看護、治療援助論Ⅱ、治療と看護、終末期看護援助論、がん看護論、看護研究、慢性期看護実習、看護実践能力開発実習	がん治療を継続する患者への看護 地域でがん治療を受ける高齢患者への看護 外来通院がん患者の主体性を活かして行う実践のための外来看護師育成プログラムの洗練
教授	山田 覚	東海大学大学院工学研究科博士課程修了	博士(工学) (東海大学)	看護システム論、人間工学	看護管理システムの分析と設計 看護サービスの質の向上と安定 災害看護支援ネットワークに関する研究
准教授	内川 洋子	高知県立大学大学院健康生活科学研究科博士後期課程修了	博士(看護学) (高知県立大学)	看護サービス論、看護管理の動向と課題、看護管理実習、チーム医療実習、看護研究、援助関係論、対人関係とメンタルヘルス、看護基盤実習	看護におけるリーダーシップについて(看護師長、中堅看護師、看護師のリーダーシップ) 看護におけるチームワークについて 看護師に対するチームワーク教育プログラムの開発、看護教育に関する研究
准教授	川上 理子	高知県立大学大学院看護学研究科博士後期課程修了	博士(看護学) (高知県立大学)	健康とヘルスプロモーション、環境と看護、生活援助論Ⅲ、在宅看護対象論、在宅看護援助論、在宅看護実習、在宅看護の動向と課題	高齢者の在宅療養における家族介護者の看取り 地域を基盤とした在宅移行支援システムの開発 訪問看護師の質保証のためのプログラム検討
准教授	木下 真里	名古屋大学大学院医学系研究科博士課程修了	博士(医学) (名古屋大学)	グローバルヘルス、看護と文化ⅠⅡ、災害と看護ⅠⅡ、看護セミナーⅢ(病をもつ人の理解と看護)、看護実践能力開発実習、最新専門看護実践講座Ⅰ	災害サイクルでのHIV/AIDS療養継続支援 ネパール地震被災地の復興支援 外国人HIV感染者支援 四国HIV/AIDSケア体制の整備
准教授	佐東 美緒	広島大学大学院医学系研究科博士前期課程保健学修士課程修了	修士(保健学) (広島大学)	看護研究、小児看護実践論、小児の健康と看護、小児看護援助論、母性看護援助論、助産看護診断論、助産看護援助論、助産技術論Ⅱ、総合看護実習、助産看護実習Ⅰ、母性看護実習、保健行動論	NICUを退院した子どもとその家族を支える看護に関する研究 子どもセルフケアに関する研究 エンドオブライフケアに関する研究
准教授	嶋岡 暢希	日本赤十字看護大学大学院看護学研究科修士課程修了	修士(看護学) (日本赤十字看護大学)	母性看護対象論、母性看護援助論、母性看護実習、助産看護学総論、助産看護診断論、助産看護援助論、助産技術論Ⅰ、助産技術論Ⅱ、助産看護管理論、助産看護実習Ⅰ、助産看護実習Ⅱ、助産看護の動向と課題、看護実践論、総合看護実習、看護と政策	乳児期の子どもをもつ親のMastery獲得を促進する看護援助
准教授	高谷 恭子	高知女子大学大学院健康生活科学研究科博士後期課程修了	博士(看護学) (高知女子大学)	小児の健康と看護、小児看護援助論、看護セミナーⅤ、小児看護実習、総合看護実習(小児)、保育学	病いとともに生きる子どもと家族が辿る軌跡に関する研究 臓器移植を受ける子どもの家族に関する研究 子どもセルフケアに関する研究

職名	氏名	最終学歴	学位(大学名)	主たる担当科目	現在の研究テーマ
准教授	藤代 知美	高知県立大学大学院看護学研究科博士後期課程修了	博士(看護学) (高知県立大学)	精神の健康と看護、精神看護援助論、精神看護の動向と課題、精神看護実践論、精神看護実習、看護研究、援助関係論	精神科看護師が行う交渉に関する研究
准教授	渡邊 聡子	兵庫県立大学大学院看護学研究科博士後期課程修了	博士(看護学) (兵庫県立大学)	生命の科学と倫理、母性看護学総論、母性看護対象論、母性看護援助論、母性看護の動向と課題、母性看護実習、助産看護援助論、助産看護実習Ⅰ、母性・助産実践論、看護研究	妊産褥婦とその家族、ならびに、ケア提供者における災害への備えと対応 地球規模課題の解決とパラダイムシフトをもたらす災害看護学の構築
講師	有田 直子	高知県立大学大学院看護学研究科看護学専攻博士後期課程修了	博士(看護学) (高知県立大学)	人間と看護、小児看護の動向と課題、総合看護実習、領域実習(小児看護)	病気を持つ子どもと家族の意思決定に関すること
講師	井上 正隆	高知県立大学大学院健康生活科学研究科博士後期課程修了	博士(看護学) (高知県立大学)	急性期看護実習、急性期看護援助論、総合実習急性期、保健統計、看護セミナーⅥ	ストレスバイオマーカーを用いた周手術期患者のストレスの測定 急性期看護におけるケアデザインの習得を促進する教授方法の開発 一般市民にとって実施可能な胸骨圧迫法の実験研究デザインを用いた検討
講師	小澤 若菜	高知女子大学大学院看護学研究科修士課程修了	修士(看護学) (高知女子大学)	地域の健康と看護、地域看護援助論、地域看護実習、地域看護の動向と課題、保健統計学、疫学、保健行動論、地域看護実践論	生活習慣病予防、働く人の健康づくりに関する研究
講師	山中 福子	高知女子大学大学院看護学研究科修士課程修了	修士(看護学) (高知女子大学)	看護研究、生活援助論ⅠⅡ、慢性期看護論、慢性期看護援助論、慢性期看護の動向と課題、慢性期看護実習、チーム形成論、専門職連携概論	慢性腎臓病をもつ人への看護に関する研究 慢性心不全をもつ人への看護に関する研究
講師	渡邊 美保	高知県立大学大学院看護学研究科博士後期課程修了	博士(看護学) (高知県立大学)	老人の健康と看護、老人看護援助論、生活援助論Ⅰ、看護研究、総合看護実習、看護基盤実習、地域学実習Ⅰ、ふれあい看護実習	高齢者のリロケーションを促進する看護介入 認知症をもつ高齢者の看護
助教	井上 さや子	高知県立大学大学院看護学研究科博士前期課程修了	修士(看護学) (高知県立大学)	精神の健康と看護、看護セミナーⅣ	神経性無食欲症の身体感覚・自己・自我に注目した看護介入を明らかにすること
助教	岩崎 順子	高知女子大学大学院看護学研究科修士課程修了	修士(看護学) (高知女子大学)	家族関係論、母性看護援助論、助産看護援助論、母性看護実習、助産看護実習ⅠⅡ	低出生体重児を抱える母親のMaternal Confidenceについての研究
助教	神家 ひとみ	高知県立大学大学院看護学研究科修士課程修了	修士(看護学) (高知県立大学)	治療援助論Ⅰ、看護過程論、看護基盤実習、ふれあい看護実習、急性期看護実習、総合看護実習、家族看護実習	ICUにおける人工呼吸器装着患者の集中治療後症候群に関する研究
助教	川本 美香	高知県立大学大学院看護学研究科修士課程修了	修士(看護学) (高知県立大学)	保健行動論、地域看護援助論、地域看護実習、総合看護実習、看護管理実習	中山間地域に暮らす高齢期にある住民のPlace Attachmentについて 大腸がん検診精密検査受診促進のための看護ケアについて 経験学習モデルを活用した保健師の人材育成について 保健師による地区活動について
助教	幸崎 若菜	国際医療福祉大学大学院修士課程医療福祉経営専攻修了	修士(看護学) (首都大学東京) 修士(医療ビジネス経営学)(国際医療福祉大学)	母性看護援助論、助産看護援助論、母性・助産看護実践論、総合看護実習、助産看護実習Ⅰ、助産看護実習Ⅱ、母性看護実習	妊娠期からの社会的ハイリスク妊婦の支援に関する研究

職名	氏名	最終学歴	学位(大学名)	主たる担当科目	現在の研究テーマ
助教	小原 弘子	高知県立大学大学院看護学研究科博士後期課程修了	博士(看護学) (高知県立大学)	生活援助論Ⅲ、治療援助論Ⅰ、看護過程論、在宅看護実習、看護基盤実習、看護管理実習、ふれあい看護実習	在宅移行支援に関すること 訪問看護師対象のシミュレーション教育に関すること 在宅療養者の褥そう予防に関すること
助教	坂元 綾	高知女子大学大学院看護学研究科修士課程修了	修士(看護学) (高知女子大学)	地域学実習Ⅰ、治療援助論Ⅰ、フィジカルアセスメントⅡ、看護過程論、ふれあい看護実習、看護基盤実習、家族看護実習、チーム医療実習、看護実践能力開発実習、急性期看護実習	病棟看護師長のスタッフ育成における役割に関する研究 在宅酸素療法を要するCOPD患者の社会参加の促進に関する研究 2型糖尿病患者のフットケアにおけるエビデンスに関する研究
助教	塩見 理香	高知県立大学大学院看護学研究科博士前期課程修了	修士(看護学) (高知県立大学)	看護基盤実習、地域学実習Ⅰ、精神看護実習、ふれあい看護実習、チーム医療実習、看護管理実習	地域で生活する発達障害者に関する研究
助教	庄司 麻美	大阪府立大学大学院看護学研究科博士前期課程修了	修士(看護学) (大阪府立大学)	症状と看護、看護基盤実習、慢性期看護実習、看護実践能力開発実習、臨床看護論Ⅵ	全人的呼吸困難感を体験するがん患者の看護に関する研究 がん患者の緩和ケア主体の治療への移行に関する研究
助教	高樽 由美	高知県立大学大学院看護学研究科博士後期課程修了	博士(看護学) (高知県立大学)	看護基盤実習、総合看護実習、慢性期看護援助論	1型糖尿病患者の療養体験に関する研究 糖尿病患者のフットケアに関する研究
助教	瀧 めぐみ	愛知県立大学大学院看護学研究科修了	修士(看護学) (愛知県立大学)	総合看護実習、精神看護実習	行動制限最小化における多職種間の倫理調整に関する研究 高幡保健医療圏における精神障害者への包括的支援マネジメントの現状と課題
助教	竹中 英利子	高知県立大学大学院看護学研究科修士課程修了	修士(看護学) (高知県立大学)	在宅看護援助論、在宅看護実習、看護基盤実習、ふれあい看護実習	慢性疾患患者の外来看護に関する研究
助教	田中 雅美	高知県立大学大学院看護学研究科修士課程修了	修士(看護学) (高知県立大学)	フィジカルアセスメントⅠ、看護セミナーⅢ、総合看護実習(急性期看護領域)、急性期看護実習	トランジションを基盤としたICU新人看護師の看護実践能力向上支援プログラムの開発
助教	田之頭 恵里	高知県立大学大学院看護学研究科修士課程修了	修士(看護学) (高知県立大学)	小児の健康と看護、フィジカルアセスメントⅠ、総合看護実習、領域実習(小児看護)、共通地域学実習Ⅰ	臓器移植を受けた子どもや家族に関する研究
助教	中井 美喜子	高知県立大学大学院看護学研究科修士課程修了	修士(看護学) (高知県立大学)	家族関係論・看護過程論・臨床看護Ⅱ(家族と健康)・地域学実習Ⅰ、看護基盤実習、家族看護実習、ふれあい看護実習、チーム医療実習	人工呼吸器を装着した児と家族のヘルスケア機能に関する研究
助教	永井 真寿美	高知県立大学大学院看護学研究科博士前期課程修了	修士(看護学) (高知県立大学)	母性看護実習、助産看護実習ⅠⅡ、母性看護対象論、母性看護援助論、助産看護援助論、助産技術論ⅠⅡ、看護セミナーⅡⅣ	家族形成期にある家族のヘルスリテラシーに関する研究 シミュレーション教育を活用して行う助産師教育に関する研究 精神疾患をもつ女性が親になる過程に関する研究
助教	西内 舞里	高知女子大学大学院看護学研究科修士課程修了	修士(看護学) (高知女子大学)	母性看護援助論、母性看護対象論、母性看護実習、助産技術論ⅠⅡ、助産看護援助論、助産技術論Ⅱ、助産看護実習ⅠⅡ、母性看護実習、フィジカルアセスメントⅡ、家族関係論	糖尿病合併妊婦と夫の妊娠期の協働に関する研究 助産師の妊娠期ケアにおける臨床判断に関する研究
助教	畠山 典子	順天堂大学大学院医療看護学研究科博士前期課程修了	修士(看護学) (順天堂大学)	地域看護実習、総合看護実習、地域の健康と看護、地域看護援助論(演習)、地域看護の動向と課題	妊娠出産包括ケアシステムに関する研究 保健師の人材育成に関する研究 地域減災とプライマリヘルスケアに関する研究

職名	氏名	最終学歴	学位(大学名)	主たる担当科目	現在の研究テーマ
助教	原田 圭子	札幌市立大学大学院看護学研究科博士前期課程修了	修士(看護学) (札幌市立大学)	ふれあい看護実習、看護基盤実習、総合看護実習、在宅看護実習、地域学実習Ⅰ、生活援助論Ⅱ、看護過程論	積雪寒冷地在住高齢者の閉じこもり予防に関する研究
助教	益 宏実	高知県立大学大学院看護学研究科修士課程修了	修士(看護学) (高知県立大学)	慢性期看護実習、総合看護実習:慢性期、看護実践能力開発実習	高知県の血管病ハイリスク群への重症化予防推進・看看連携モデルの開発
助教	森本 紗磨美	東京医科歯科大学大学院博士前期課程修了	修士(看護学) (東京医科歯科大学)	フィジカルアセスメントⅡ、生活援助論Ⅲ、急性期看護援助論、総合看護実習:急性期、急性期看護実習、看護基盤実習	消化器がん患者の周術期ヘルスリテラシー支援プログラムの開発
大学院教授	神原 咲子	岡山大学大学院医歯学総合研究科国際環境科学講座公衆衛生学博士課程修了	博士(医学) (岡山大学)	看護と文化ⅠⅡ、保健統計学、災害と看護ⅠⅡ	平時の地域モニタリングを有する減災看護モデルの構築
大学院特任教授	野嶋 佐由美	カリフォルニア大学サンフランシスコ大学院(University of California San Francisco)博士課程修了	博士(看護学) (University of California San Francisco)	理論看護学Ⅱ	脆弱性を抱えた家族のレジリエンスを促進するケアガイドラインと教育プログラムの構築
大学院特任講師	李 賢珠	ハワイ大学大学院(University of Hawaii at Manoa)博士課程修了	Ph.D(Anthropology) (University of Hawaii at Manoa)	Professional writing	Anthropology of disaster Anthropological perspectives in nursing
大学院特任助教	門田 麻里	高知女子大学看護学研究科修了	修士(看護学) (高知女子大学)	がんプロリカレント教育科目全般	緩和ケア

○社会福祉学部社会福祉学科

職名	氏名	最終学歴	学位(大学名)	主たる担当科目	現在の研究テーマ
教授	杉原 俊二	香川医科大学大学院医学研究科環境生態系専攻博士課程	博士(医学) (香川医科大学)	心理学理論と心理的支援、実践記録法、発達と老化の理解、面接技法	ナラティブアプローチによる対人援助、自分史分析とその応用
教授	田中 きよむ	京都大学大学院経済学研究科博士後期課程単位取得退学	経済学修士 (滋賀大学)	社会保障論、地域福祉論、福祉行財政と福祉計画、公的扶助論、権利擁護論	人間発達理論に基づく社会保障制度の再構築、「小さな拠点」を軸とする住民共生型地域づくりの形成要因と持続モデル 地域福祉計画に基づく住民主体の福祉型地域づくりの形成要因と発展プロセス
教授	長澤 紀美子	新潟大学大学院現代社会文化研究科博士後期課程修了	博士(学術) (新潟大学)	国際福祉論、現代社会と福祉、女性福祉論	欧米(特にイギリスを中心とした)介護政策の動向と国際比較 ケアまたは福祉サービスの行政評価・アウトカム評価 ジェンダー視点での性的少数者の人権擁護と支援
教授	西内 章	関西福祉科学大学大学院社会福祉学研究科博士後期課程修了	博士(臨床福祉学) (関西福祉科学大学)	相談援助の基盤と専門職、事例研究法、相談援助実習指導	多職種連携を活用したソーシャルワークの展開方法に関する研究 エコシステム視座に基づくソーシャルワーク実践の支援ツールに関する研究
教授	丸山 裕子	大阪府立大学大学院社会福祉学研究科博士後期課程修了	博士(社会福祉学) (大阪府立大学)	精神保健福祉援助技術総論、福祉研究法入門	ソーシャルワーク実践過程研究 ①ソーシャルワーク実践方法(利用者参加と地域生活支援)の開発 ②ソーシャルワーカーの実践的コンピテンスの開発
教授	宮上 多加子	高知女子大学大学院健康生活科学研究科博士後期課程修了	博士(社会福祉学) (高知女子大学)	介護過程、認知症の理解	福祉分野の専門職養成教育とキャリア意識
教授	横井 輝夫	広島大学大学院保健学研究科保健学専攻修了	博士(保健学) (広島大学)	精神科リハビリテーション学、精神保健学、こころとからだのしくみ、発達と老化の理解	言語からみた認知症の人の理解
准教授	大松 重宏	ルーテル学院大学大学院総合人間学研究科博士後期課程単位取得退学	修士(社会福祉学) (ルーテル学院大学)	医療福祉論、保健医療サービス、相談援助実習指導	がん医療におけるピアサポートの意義 医療ソーシャルワーカーのためのスーパービジョン 入退院支援のための多職種連携と協働
准教授	鈴木 孝典	大正大学大学院人間学研究科博士後期課程福祉・臨床心理学専攻修了	博士(人間学) (大正大学)	精神保健福祉論、精神保健福祉援助実習指導	精神障害者の居住支援に関する研究 障害者ケアマネジメント従事者の養成に関する研究 障害者の地域相談支援の推進に関する研究
准教授	西梅 幸治	京都府立大学大学院福祉社会学研究科博士後期課程修了	博士(福祉社会学) (京都府立大学)	相談援助の理論と方法、相談援助の基盤と専門職、相談援助実習指導	ソーシャルワークにおけるエンパワメント実践に関する研究 エコシステム視座に基づくコンピュータ支援ツールの研究
准教授	福間 隆康	広島大学大学院社会科学研究所博士課程後期マネジメント専攻修了	博士(マネジメント) (広島大学)	福祉対象入門、福祉援助入門、福祉サービスの組織と経営、相談援助実習指導	障害者雇用の組織マネジメントに関する研究
准教授	三好 弥生	高知県立大学人間生活学専攻博士後期課程修了	博士(社会福祉学) (高知県立大学)	介護過程、生活支援技術、医療的ケア、高齢者福祉論	高齢者の看取りに関する研究
講師	加藤 由衣	京都府立大学大学院福祉社会学研究科博士後期課程修了	博士(福祉社会学) (京都府立大学)	相談援助の理論と方法、児童・家庭福祉論、子育て支援論、相談援助実習指導	ソーシャルワークにおける省察的実践の研究
講師	河内 康文	高知県立大学人間生活学専攻博士後期課程修了	博士(社会福祉学) (高知県立大学)	介護の基本、コミュニケーション技術、障害の理解	介護人材の育成に関する研究
講師	辻 真美	松山大学大学院社会学研究科博士後期課程修了	博士(社会学) (松山大学)	介護の基本、認知症の理解、コミュニケーション技術、生活支援技術	訪問介護における労働特性と専門性に関する研究
講師	遠山 真世	東京都立大学大学院社会科学研究所博士課程修了	博士(社会福祉学) (東京都立大学)	障害者福祉論、社会調査の基礎、相談援助実習指導	障害者の雇用促進・就労支援に関する研究
講師	行貞 伸二	大阪府立大学大学院社会福祉学研究科博士後期課程単位取得退学	修士(社会福祉学) (大阪府立大学)	社会福祉史、相談援助実習指導、相談援助演習	市民後見人の意識と役割に関する研究

職名	氏名	最終学歴	学位(大学名)	主たる担当科目	現在の研究テーマ
助教	稲垣 佳代	高知女子大学大学院人間生活学研究科修士課程修了	修士(社会福祉学) (高知女子大学)	精神保健福祉援助技術各論、精神保健福祉援助実習指導	精神障害者の就労支援に関する研究
助教	大熊 絵理菜	高知県立大学人間生活学研究科人間生活学専攻博士前期課程	修士(社会福祉学) (高知県立大学)	医療ソーシャルワーク論、相談援助実習指導	医療ソーシャルワーカーのアセスメントに関する研究
助教	片岡 妙子	高知大学大学院総合人間自然科学研究科看護学専攻修了	修士(看護学) (高知大学)	医療的ケア、生活支援技術、介護技術、介護総合演習	介護福祉士による医療的ケア実施に関する研究
助教	雑賀 正彦	日本福祉大学大学院社会福祉学研究科社会福祉学専攻修士課程修了	修士(社会福祉学) (日本福祉大学)	コミュニティーソーシャルワーク、ケアマネジメント論、相談援助実習指導	中山間地域を抱えた小規模自治体における地域支援体制に関する研究 地域福祉実践に関する研究
助教	田中 眞希	高知女子大学大学院人間生活学研究科修士課程修了	修士(社会福祉学) (高知女子大学)	生活支援技術、介護総合演習、障害の理解	介護職員の現場教育とキャリア意識
助教	玉利 麻紀	大阪大学大学院人間科学研究科博士後期課程単位取得退学	修士(人間科学) (大阪大学)	対人関係とメンタルヘルス、精神保健福祉援助実習指導	精神障害者をはじめとする社会的マイノリティへの偏見軽減アプローチに関する研究
助教	福田 敏秀	鳥取大学大学院医学系研究科保健学専攻博士課程修了	博士(保健学) (鳥取大学)	対人関係とメンタルヘルス、高齢者福祉論、相談援助実習指導	高齢者の在宅生活支援に関する研究

○健康栄養学部健康栄養学科

職名	氏名	最終学歴	学位(大学名)	主たる担当科目	現在の研究テーマ
教授	稲井 玲子	徳島大学大学院栄養学研究科修了	博士(農学) (愛媛大学)	栄養教育	食育を通しての体づくり(食品の機能性に関する研究)
教授	小林 淳	金沢大学大学院自然科学研究科修了	博士(学術) (金沢大学)	公衆衛生学、生化学、地域健康論、生化学実験、環境衛生学実習	環境汚染化学物質の動態把握、食品添加物の分析
教授	村上 尚	熊本大学大学院医学研究科中途退学	博士(医学) (徳島大学)	人体の構造と機能、疾病論、生体科学実験・実習	生活習慣病の細胞生物学的解析
教授	渡邊 浩幸	岩手大学大学院連合農学研究科修了	博士(農学) (岩手大学大学院)	食品学、食品機能学、食品衛生学	食品に含まれる機能成分の探索と機能評価 ①脂質代謝・エネルギー代謝に関する機能成分と評価 ②脳機能に関する機能成分と機能評価 ③食品の保存と加工
准教授	荒牧 礼子	高知県立大学大学院人間生活学研究科博士後期課程修了	博士(生活科学) (高知県立大学)	公衆栄養学、公衆栄養学実習、地域公衆栄養学臨地実習	画像認識による食事調査法に関する研究 脂肪エネルギー比を用いた食物摂取状況の分析 料理書籍の出版数の推移からみた食生活スタイルに関する研究 勤労者世帯の生活習慣と指導効果に関する研究 若年成人の食物摂取に関する研究
准教授	鈴木 麻希子	岐阜大学大学院医学系研究科医科学専攻修了	博士(医学) (岐阜大学)	基礎栄養学、応用栄養学	加工食品中のリンの定量 食物アレルギー 翻訳後修飾(メチル化アルギニン)の生理的役割
准教授	西岡 道子	鳥取大学大学院連合農学研究科修了	博士(農学) (鳥取大学)	調理学、調理学実習	加熱調理における魚肉のビタミンB ₁₂ 含量について 調理における野菜の葉酸含量について
講師	島田 郁子	高知県立大学大学院人間生活学研究科博士後期課程修了	博士(生活科学) (高知県立大学)	給食経営管理	地域食材を活かしたレシピ作成・PR方法 学生を対象にした災害時の備え教育 高齢者の給食喫食率向上の試みー肉軟化剤等による検討ー
講師	竹井 悠一郎	徳島大学大学院栄養生命科学教育部人間栄養科学専攻博士後期課程修了	博士(栄養学) (徳島大学)	臨床栄養学	骨外軟組織に発現する破骨細胞様細胞(OCLC)と疾患に関する研究、また、OCLCを標的とした新規治療法の確立に向けて～栄養学的アプローチを中心に～
講師	廣内 智子	高知県立大学大学院人間生活学研究科博士後期課程修了	博士(生活科学) (高知県立大学)	臨床栄養学実習、臨床栄養学臨地実習	災害時の栄養管理について
助教	隅田 有公子	高知女子大学人間生活学研究科人間生活学専攻博士前期課程修了	修士(学術) (高知女子大学)	臨床栄養学実習等	臨床の場で行われている経腸栄養剤の半固形化法の問題解析と標準化法の提案
助教	竹本 和仁	武庫川女子大学大学院生活環境学研究科食物栄養学専攻博士後期課程修了	博士(食物栄養学) (武庫川女子大学)	栄養学実験、生化学実験	食物アレルギー、高知県の伝統食品の機能性の検索
助教	沼田 聡	徳島文理大学大学院人間生活学研究科食物栄養学専攻博士前期課程修了(論文により博士号取得)	博士(学術) (徳島文理大学)	給食経営管理実習、給食経営管理臨地実習、応用栄養学実習、環境衛生学実習、地域実践栄養学臨地実習	1型糖尿病関連自己抗体に対する超高感度酵素免疫測定法の開発 卵白アレルギーに対する超高感度酵素免疫測定法の開発
助手	彼末 富貴	高知女子大学家政学部食物栄養学科卒業		調理学実習、生体科学実験・実習	土佐の伝統食
助手	川村 真美	高知女子大学家政学部食物栄養学科卒業		食品学実験、食品衛生学実験	食品の機能性評価について

【 地域教育研究センター 】

職名	氏名	最終学歴	学位(大学名)	主たる担当科目	現在の研究テーマ
教授	一色 健司	京都大学大学院理学研究科博士後期課程単位取得退学	理学博士(京都大学)	基礎化学、地球の科学	環境水中の微量元素を指標とした環境動態の解明 微量元素の超高感度分析法・存在状態の解析法の開発
教授	清原 泰治	筑波大学大学院修士課程体育研究科修了	体育学修士(筑波大学)	健康スポーツ科学 I II、 地域文化資源論 I	明治期における佐川体育会の歴史的意義 1964年の東京オリンピックとスポーツ産業
教授	石山 貴章	高知女子大学大学院健康生活科学研究科博士後期課程修了	社会福祉学博士(高知女子大学)	教育心理学、発達心理学、教育方法論、生徒指導論、教育相談論、特別支援教育概論、教育実習、介護等体験	特別支援教育の授業づくり 障害者の就労支援に関する研究 心理検査/発達検査におけるアセスメントと支援アプローチ
准教授	鈴木 康郎	筑波大学大学院博士課程教育学研究科単位取得満期退学	教育学修士(筑波大学)	教育原理、教師論、道徳教育論、人権教育に関する科目、地域学実習	アジアの教育制度、教育実践に関する国際比較研究 アジアにおける多文化教育に関する研究 教育を通じたヒトの国際移動、国際交流に関する研究

【 総合情報センター 】

職名	氏名	最終学歴	学位(大学名)	主たる担当科目	現在の研究テーマ
准教授	風間 裕	北海道大学大学院理学研究科博士課程修了	理学博士(北海道大学)	物理学通論、量子物理学	コンピュータを用いた物理学の教材開発 軽い核の構造解析
助教	名和 真一	京都大学大学院理学研究科博士後期課程単位取得退学	理学博士(京都大学)	情報処理概論、コンピュータリテラシ	核力と量子色力学(QCD) 計算機物理

【 健康長寿センター 】

職名	氏名	最終学歴	学位(大学名)	主たる担当科目	現在の研究テーマ
特任准教授	森下 幸子	高知女子大学大学院看護学研究科修士課程修了	修士(看護学)(高知女子大学)	訪問看護	医療ニーズの高い在宅療養者の家族の強みを支援する看護介入プログラムの開発 新卒訪問看護師育成と学習支援者の期待不一致を解決する学習支援プログラムの構築
特任助教	源田 美香	高知県立大学大学院看護学研究科博士前期課程修了	修士(看護学)(高知県立大学)	訪問看護	先天性の心臓病のある子どもと共に生きる家族の対処行動

(2) 大学院

○看護学研究科看護学専攻（博士前期課程）

領域	職名	氏名	主たる担当科目
—	教授	中野 綾美	看護研究と実践、小児看護論、小児看護方法論Ⅰほか
—	教授	畦地 博子	看護理論と実践、看護研究と実践、こころの発達 ほか
—	教授	池添 志乃	看護理論と実践、看護学基盤論、学校保健研究 ほか
—	教授	池田 光徳	病態生理学、フィジカルアセスメント特論、がん病態生理学 ほか
—	教授	内田 雅子	ケア論、慢性看護ケア研究、臨床看護学専門演習 ほか
—	教授	瓜生 浩子	家族看護論、家族看護方法論Ⅰ・Ⅱ、家族看護学実践演習 ほか
—	教授	大川 宣容	クリティカルケア看護方法論、クリティカルケア看護学実践演習 ほか
—	教授	久保田 聡美	看護管理論、システム経営管理論、看護管理の動向と展望 ほか
—	教授	神原 咲子	グローバルヘルス、最新専門看護実践講座
—	教授	田井 雅子	精神看護方法論、精神看護展開論、精神看護学実践演習 ほか
—	教授	竹崎 久美子	看護倫理、看護学基盤論、臨床倫理、老人看護ケア研究 ほか
—	教授	時長 美希	地域看護論、看護学基盤論、地域ケア研究、地域保健学専門演習 ほか
—	教授	長戸 和子	家族看護論、家族看護方法論Ⅰ・Ⅱ、家族看護学実践演習 ほか
—	教授	藤田 佐和	看護倫理、がん看護論、がん看護方法論、がん看護課題研究 ほか
—	教授	森下 安子	在宅看護論、在宅看護展開論、在宅看護方法論、看護マネジメント論 ほか
—	教授	森本 悦子	緩和ケア特論、がん看護方法論、がん看護実践演習 ほか
—	教授	山田 覚	看護管理論、システム経営管理論、看護サービス管理論 ほか
—	准教授	内川 洋子	看護管理展開論、看護マネジメント論、臨床看護管理研究 ほか
—	准教授	川上 理子	在宅看護方法論、在宅看護展開論、在宅看護学実践演習 ほか
—	准教授	木下 真里	グローバルヘルス、最新専門看護実践講座
—	准教授	佐東 美緒	小児看護対象論、小児看護方法論、小児看護ケア研究 ほか
—	准教授	高谷 恭子	看護研究と実践、小児看護論、こころの発達 ほか
—	准教授	藤代 知美	精神看護展開論、精神看護学実践演 ほか
—	講師	有田 直子	小児看護方法論、小児看護学実践演習、看護コンサルテーション論 ほか

○看護学研究科看護学専攻（博士後期課程）

領域	職名	氏名	主たる担当科目
—	教授	中野 綾美	看護学研究方法Ⅰ、小児看護学Ⅰ・Ⅱ、看護学特別研究Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ
—	教授	畦地 博子	理論看護学Ⅰ、看護学研究方法Ⅰ、看護倫理学、インディペンデントスタディ、看護学特別研究Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ
—	教授	池添 志乃	学校保健学Ⅰ・Ⅱ、看護学特別研究Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ
—	教授	池田 光徳	医学研究方法論、看護病態生理学Ⅰ・Ⅱ、看護学特別研究Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ
—	教授	内田 雅子	成人看護学Ⅰ・Ⅱ、看護学特別研究Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ
—	教授	瓜生 浩子	家族看護学Ⅱ
—	教授	大川 宣容	成人看護学Ⅱ
—	教授	田井 雅子	精神看護学Ⅰ・Ⅱ、看護学特別研究Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ
—	教授	竹崎 久美子	老人看護学Ⅰ・Ⅱ
—	教授	時長 美希	地域看護学Ⅰ・Ⅱ、看護学特別研究Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ
—	教授	長戸 和子	家族看護学Ⅰ・Ⅱ、看護学特別研究Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ
—	教授	藤田 佐和	理論看護学Ⅰ、看護倫理学、がん看護学Ⅰ・Ⅱ、看護学特別研究Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ
—	教授	森下 安子	在宅看護学Ⅰ・Ⅱ
—	教授	森本 悦子	がん看護学Ⅱ
—	教授	山田 覚	看護学研究方法Ⅱ、看護経営管理学Ⅰ・Ⅱ、看護学特別研究Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ
—	准教授	吉川 孝	理論看護学Ⅱ
—	特任教授	野嶋 佐由美	理論看護学Ⅰ、看護学研究方法Ⅰ、看護学特別研究Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ

○看護学研究科共同災害看護学専攻（博士課程）

領域	職名	氏名	主たる担当科目
—	教授	山田 覚	災害看護活動論Ⅳ、インデペンデントスタディⅠ、災害看護ゼミナールⅠほか
—	教授	神原 咲子	理論看護学Ⅱ、災害看護活動論Ⅳ、インデペンデントスタディⅠ、災害看護ゼミナールⅠほか
—	教授	大村 誠	環境防災学Ⅰ
—	准教授	木下 真理	災害看護活動論Ⅳ、インデペンデントスタディⅠ、災害看護ゼミナールⅠほか
—	特任講師	李 賢珠	Professional writing

○人間生活学研究科人間生活学専攻（博士前期課程）

領域	職名	氏名	主たる担当科目
基礎	教授	石山 貴章	教育心理学特論、教育学特論
基礎	教授	清原 泰治	地域スポーツ論
基礎	准教授	吉川 孝	研究と倫理、文化学課題研究演習
栄養・生活学	教授	一色 健司	研究方法論Ⅰ、データ解析論、環境解析論、栄養・生活学課題研究演習
栄養・生活学	教授	稲井 玲子	食生活論Ⅰ・Ⅱ、食生活論演習
栄養・生活学	教授	小林 淳	栄養生活統計論、環境生態論、栄養・生活学課題研究演習
栄養・生活学	教授	村上 尚	臨床栄養学特論、健康動態論、栄養・生活特論Ⅰ、栄養・生活学課題研究演習
栄養・生活学	教授	渡邊 浩幸	研究方法論Ⅰ、食品生化学特論、食物科学論、栄養・生活学課題研究演習ほか
栄養・生活学	准教授	荒牧 礼子	栄養疫学論
栄養・生活学	准教授	鈴木 麻希子	栄養学特論、栄養・生活特論Ⅰ・Ⅱ、栄養・生活学課題研究演習
栄養・生活学	講師	竹井 悠一郎	臨床栄養学特論、栄養・生活特論Ⅰ
社会福祉学	教授	杉原 俊二	データ解析論、児童・家庭福祉論Ⅰ・Ⅱ、社会福祉学課題研究演習
社会福祉学	教授	田中 きよむ	社会保障論、福祉行財政論、地域福祉論Ⅰ・Ⅱ、社会福祉学課題研究演習
社会福祉学	教授	長澤 紀美子	研究方法論Ⅱ、国際福祉論Ⅰ・Ⅱ、社会福祉学課題研究演習
社会福祉学	教授	西内 章	研究方法論Ⅱ、ソーシャルワーク論、高齢者福祉論、社会福祉学課題研究演習
社会福祉学	教授	丸山 裕子	精神科ソーシャルワーク論、社会福祉学課題研究演習
社会福祉学	教授	宮上 多加子	介護福祉論Ⅰ・Ⅱ、社会福祉学課題研究演習
社会福祉学	教授	横井 輝夫	健康リハビリテーション論、福祉リハビリテーション論、社会福祉学課題研究演習
社会福祉学	准教授	鈴木 孝典	研究方法論Ⅱ、障害者福祉論、精神保健福祉論、社会福祉学課題研究演習
社会福祉学	准教授	西梅 幸治	研究方法論Ⅱ、ソーシャルワーク論
社会福祉学	准教授	福岡 隆康	地域福祉論Ⅰ・Ⅱ
社会福祉学	准教授	三好 弥生	介護福祉論Ⅰ・Ⅱ
文化学	教授	五百蔵 高浩	英語文化論、英語教育学特論Ⅰ・Ⅱ、文化学課題研究演習ほか
文化学	教授	岩倉 秀樹	研究方法論Ⅲ、地域文化論Ⅳ
文化学	教授	大村 誠	地域文化論Ⅱ、文化学課題研究演習
文化学	教授	高西 成介	中国文化論
文化学	教授	橋尾 直和	日本文化論Ⅳ
文化学	教授	東原 伸明	研究方法論Ⅲ、日本文化論Ⅰ、文化学課題研究演習
文化学	教授	三浦 要一	地域文化論Ⅲ、文化学課題研究演習
文化学	教授	ヨース・ジョエル	日本文化論Ⅲ、国際日本学、異文化理解特論、文化学課題研究演習
文化学	准教授	金澤 俊吾	研究方法論Ⅲ、英語学特論Ⅰ・Ⅱ、英語言語文化論特論Ⅰ、英語教育実践研究Ⅰ
文化学	准教授	鳥飼 真人	英語圏文学特論Ⅰ、英語圏文化特論Ⅰ、英語教育実践研究Ⅱ

○人間生活学研究科人間生活学専攻（博士後期課程）

領域	職名	氏名	主たる担当科目
文化学	教授	五百蔵 高浩	言語文化学Ⅱ、特別研究
文化学	教授	東原 伸明	言語文化学Ⅰ、特別研究
文化学	教授	三浦 要一	地域文化学Ⅰ、特別研究
栄養・生活学	教授	大村 誠	地球環境解析学、特別研究
栄養・生活学	教授	村上 尚	健康動態学、特別研究
栄養・生活学	教授	渡邊 浩幸	食品機能学、特別研究
社会福祉学	教授	杉原 俊二	児童・家族福祉学、障害者福祉学、特別研究
社会福祉学	教授	長澤 紀美子	国際福祉政策学、地域福祉学、特別研究
社会福祉学	教授	宮上 多加子	介護福祉学、地域福祉学、特別研究

(3)非常勤講師

(平成31年4月1日現在)

	氏名	専門分野(担当科目)		氏名	専門分野(担当科目)	
文化学部	安藤 麻貴	フランス語基礎Ⅰ、Ⅱ	看護学部	西山 充	病態と治療Ⅱ	
	池 純子	中国語基礎Ⅰ、Ⅱ		沼本 邦彦	病態と治療Ⅱ	
	奥村 訓代	言語教育実践論Ⅰ		東 洋一郎	薬理学	
	北川 修久	書道		日高 千晴	人体の構造Ⅰ、Ⅱ	
	坂本 智香	言語学概論		平野 世紀	病態と治療Ⅱ	
	シュテファン・フーク	ドイツ語基礎Ⅰ、Ⅱ		福井 直樹	病態と治療Ⅰ	
	山口 善成	米文化・文学史、米文化・文学論国際文化専門演習Ⅱ、英語科教育法Ⅳ		藤田 博一	心のしくみ	
	吉田 裕子	英語学概論		松本 務	在宅医療	
	永吉 守	観光まちづくり論Ⅱ		南 晋	母性学	
	渡部 淳	日本文化論		宮澤 真理	小児と疾患	
看護学部	穴山 貴嗣	病態と治療Ⅰ	社会福祉学部	宮野 伊知郎	公衆衛生学	
	家保 英隆	地域保健政策		宮本 寛	在宅医療	
	今井 利	病態と治療Ⅰ		明神 和弘	心のしくみ	
	上野 晃子	助産診断論		森田 聡美	母性学	
	浦田 知之	病態と治療Ⅰ		森田 雅範	病態と治療Ⅱ	
	栄徳 勝光	健康管理論、公衆衛生学		山本 寄人	母性学助産学	
	大上 賢祐	病態と治療Ⅰ		脇川 晃子	助産診断論	
	大西 広志	病態と治療Ⅰ		奥谷 文乃	人体の構造と機能及び疾病	
	岡林 雄大	病態と治療Ⅱ		加藤 誠之	更生保護制度	
	岡谷 恵子	看護と政策		谷口 睦男	人体の構造と機能及び疾病	
	尾崎 和秀	病態と治療Ⅱ	玉里 恵美子	社会理論と社会システム		
	金澤 亜錦	小児と疾患	山崎 正雄	精神医学		
	上村 直人	心のしくみ	健康栄養学部	片山 訓博	運動生理学	
	川添 哲嗣	在宅医療		高野 康夫	人体の構造と機能	
	川原 由佳里	医療史		田村 安興	フードシステム学	
	吉川 清志	小児と疾患		池谷 江理子	基礎ジェンダー学	
	熊田 孝恒	行動科学		荻沼 一男	基礎生物学、土佐の自然と暮らし	
	栗田 佳彦	小児と疾患		片田 一義	英語コミュニケーション	
	小島 優子	生命の科学と倫理		北川 泰生	英語コミュニケーション	
	小松 淳子	母性学助産学		駒井 説夫	健康スポーツ科学Ⅱ	
	小松 利広	微生物学		サイモン・クインラン	英語コミュニケーション	
	是永 正敬	微生物学		塩坪 いく子	心理学	
	齋藤 源顕	薬理学	共通教養教育科目	ショーン・ブルゴワーン	英語コミュニケーション	
	佐々木 潔	小児と疾患		スティーブン・チャー	英語コミュニケーション	
	澤田 健	心のしくみ		竹下 誠一	地域メディア論	
	清水 孝洋	薬理学		常行 泰子	健康スポーツ科学Ⅰ	
	下嶽 ユキ	公衆衛生学		中川 ふさ	英語コミュニケーション	
	菅沼 成文	健康管理論、公衆衛生学		中嶋 紀子	英語コミュニケーション	
	砂田 哲	小児と疾患		福江 等	英語コミュニケーション	
	高橋 美枝	病態と治療Ⅰ		福江 満子	英語コミュニケーション	
	高島 大典	病態と治療Ⅱ		別役 和利	英語コミュニケーション	
	谷口 睦男	人体の機能Ⅰ、Ⅱ		本間 聖康	健康スポーツ科学Ⅰ,Ⅱ	
	看護学部	土本 啓嗣	小児と疾患	課程職	松吉 明子	英語コミュニケーション
		土山 芳徳	病態と治療Ⅱ		宮本 隆信	健康スポーツ科学Ⅱ
		手島 恵	看護学の動向と課題		宮本 祥子	英語コミュニケーション
		土井 彰	病態と治療Ⅰ		谷地森 秀二	土佐の自然と暮らし
		砥谷 和人	病態と治療Ⅰ		吉田 祐子	英語コミュニケーション
		所谷 知穂	小児と疾患		鹿嶋 真弓	特別活動論
		永井 立平	助産学		福石 賢一	教育課程論
		中田 裕生	小児と疾患		山口 善成	英語科教育法Ⅳ
永野 志歩		心のしくみ	山下 文一		教育カリキュラム開発論	
西内 律雄		小児と疾患、病態と治療Ⅱ				

※ 臨床教授

高知医療センター	小野 憲昭
高知医療センター	島田 安博
高知医療センター	杉本 清治
高知医療センター	田鍋 雅子
高知医療センター	西岡 明人
高知医療センター	西田 武司
高知医療センター	林 和俊
高知医療センター	福井 康雄
高知医療センター	森田 莊二郎
高知赤十字病院	吉永 恵子
高知大学医学部附属病院	多田 邦子
高知県健康政策部	中島 信恵

4 教育及び研究

1 学部・大学院の概要

【学部】

○文化学部

人文・社会系諸科学の知識を身につけ、多様な社会や文化を理解し、豊かな共生社会の実現、新たな文化の創造及び自律した自己の成長を追求することを目指し、以下の各項目における能力を身につけた者に学士の学位を授与する。

(知識・理解)

1. 幅広い教養と人文・社会系諸科学の基本的な知識を身につけ、多様な文化に関して多角的な視点から理解することができる。
2. 言語文化系と地域文化創造系を中心とする人文・社会系諸科学の専門的知識を体系的に理解し、その知識体系を自らの問題意識の中に位置づけることができる。

(汎用的・実践的技能)

3. 社会や文化に関する深い洞察に基づいて、日本語や外国語による高度な文章表現能力・他者との円滑なコミュニケーション能力・グローバルな情報発信能力を身につけている。
4. 必要な情報を幅広く収集し、的確に整理・分析することを通じて、その問題を解決できる能力を身につけている。

(態度・志向性)

5. 豊かな共生社会の実現に向けて、能動的かつ自律的に地域社会・国際社会の諸問題の解決に取り組むことができる。
6. 社会や文化に深い関心を持ち、生涯にわたって学び、考えていく意欲を持っている。

(総合的な学習経験と創造的思考力)

7. これまでに体得した知識・技能・態度等を総合的に活用し、自由な発想のもとで新たな文化を創造することに貢献するとともに、自律した個人としての自己の成長を追求することができる。

○看護学部

看護学部は、豊かな人間性と社会の課題に取り組む態度を身につけ、看護の理念や専門的知識・技術、ヒューマニズムを礎として、将来に向かって拓かれた看護を構築し、健康問題を人々と共に解決し、人々の健康生活の創造に貢献ができる豊かな人間性・創造性を獲得することを目指し、以下の能力を身につけた者に学士の学位を授与する。

(知識・理解)

1. 専門的知識、技術、科学的論理性及び倫理的判断に基づいて、保健・医療・福祉などのあらゆる場で看護を実践することのできる能力を有している。

(汎用的・実践的技能)

2. 人間の多様な生き方や価値観を理解し、尊厳と権利を尊重して、コミュニケーションを取りながら他者と関係性を築くことのできる能力を有している。
3. 地域の健康課題を予測し、リーダーシップを発揮して多職種と協働しながら健康課題を解決することのできる能力を有している。

(態度・志向性)

4. 看護専門職者としてのアイデンティティを培い、生涯にわたって専門性を高めることのできる能力を有している。

(総合的な学習経験と創造的思考力)

5. 看護の質の向上に資する研究をすることができる基礎的な能力を有している。
6. 国際的及び学際的見地に立って看護学を理解することのできる能力を有している。
7. 看護の専門性を活かして、地域で生活する人々の健康と安全・安心な社会を創造することのできる基礎的な能力を有している。

○社会福祉学部

共生社会を志向する市民としての素養を基礎に、社会福祉専門職として必要な価値・知識・技術を獲得することを目指し、以下の各項目における能力を身につけた者に学士の学位を授与する。

(知識・理解)

1. 現代社会で暮らす人々のニーズに対応する幅広い教養を基盤として、社会福祉の専門的知識を体系的に理解することができる。
2. 人々の生活を人間と環境の両側面から理解し、個々におかれている状況から普遍的な福祉課題までに対応する実践的な知識を身につけている。

(汎用的・実践的技能)

3. 多様化・複雑化する福祉ニーズを科学的視点で捉え、個人が抱えている課題を社会との関係において把握することができる。
4. コミュニケーションスキルを用いて、福祉課題の解決に必要な情報を収集・分析し、複眼的・論理的に検討したうえで、課題解決の方策を提案することができる。

(態度・志向性)

5. 社会の一員としての意識を持ち、義務と権利を適正に行使しつつ、人々の生活の安寧と質の向上に貢献することができる。
6. ノーマライゼーションを基本的視点として、人権や社会正義の観点から福祉課題に主体的に対応する志向性を身につけている。

(総合的な学習経験と創造的思考力)

7. 個人の尊厳と福祉理念を重視し、権利擁護に向けた支援を創造的・科学的に展開することができる。
8. 総合的な視野を持って、保健・医療・福祉の専門職と連携しながら社会福祉を実践することを通して、専門職としての自己の成長を追求することができる。

○健康栄養学部

豊かな教養と社会の諸問題に取り組む態度を身につけ、人間や健康の本質を理解しながら、生命の源である「食」を探究し、人々が健康に生活できるよう貢献できることを目指し、以下の各項目における能力を身につけた者に学士の学位を授与する。

(知識・理解)

1. 広範な学問領域における教養を身につけることで、グローバル化する現代社会の諸問題や地域社会の特性を理解することができる。
2. 健康の保持増進、傷病の予防・回復のために必要な栄養学的知識と技術、指導方法を修得している。

(汎用的・実践的技能)

3. 地域を取りまく諸問題の解決に必要な情報を収集・分析・整理して、提案することができる。
4. 管理栄養士に必要とされる知識、技能、態度及び考え方の総合的能力を身につけている。

(態度・志向性)

5. 栄養や食生活の専門家として、知識や技術を高めるよう生涯にわたって努力することができる。

(総合的な学習経験と創造的思考力)

6. 公衆衛生を理解し、保健・医療・福祉・介護システムの中で、栄養・給食関連サービスのマネジメントを行うことができる。
7. 健康の保持増進、疾病の一次、二次、三次予防のための栄養教育、食生活指導を行うことができる。

【大 学 院】

看護学研究科の理念

人間の存在と生命の尊厳に基づいて、広い視野に立って精深な学識を授け、看護学の学術基盤を充実・発展させ、さらに革新することに寄与できる高度な教育・研究・実践能力をもつ看護専門職者を養成する。

○看護学研究科看護学専攻（博士前期課程）

博士前期課程は、広い視野に立って精深な学識を授け、高度な専門的実践能力と看護分野における研究能力を養うことを目的とする。

1. 個人-家族-地域を多角的、複眼的視点で捉え、看護専門領域に関する理論、関連領域の知識・技術、高い倫理観を基盤として、エビデンスに基づく高度な看護実践ができる能力を有している。
2. 地域社会や生活環境の中で、人々が自立して健康生活を営むことができるように、地域の人々と協働して、健康を促進する地域文化の形成・発展に貢献できる能力を有している。
3. 社会のニーズや健康に関する課題に積極的に関与し、他の職種の専門性を尊重した上で協働しながら社会状況に対応する方略を開発する能力を有している。
4. 学際的視点をふまえて看護実践の場、教育や政策の場で看護現象を研究的視点でとらえ、論理的思考力、リーダーシップとマネジメント力を発揮して変革者として貢献できる能力を有している。
5. 看護実践を支える科学的・哲学的基盤を理解し、看護研究を通して、看護学の体系化とその発展に貢献できる教育・研究能力を有している。
6. 国際的動向や多様な文化に関する幅広い知識や最新の情報を備えて、看護をグローバルな視点から捉え、看護の普遍性の追求と体系化に貢献できる能力を有している。

○看護学研究科看護学専攻（博士後期課程）

博士後期課程は、看護学の学術的基盤を発展させるために看護学に関する学術と研究を国際的・学際的に推進し、その深奥を究め、創造的に自立して研究活動を行う高度な専門的能力を養うことを目的とする。

1. 看護の学識者としての責務を果たし、看護学の発展の基盤となる普遍性を有する看護哲学を追求し続ける能力を有している。
2. 看護学の学術的な基盤を発展させるために、グローバルスタンダードで看護学の知識や技術を研究開発し、看護学にイノベーションをもたらす能力を有している。
3. 最新の看護学の知識や技術、看護関連分野の知見等を活用し、倫理的・文化的基盤を持って人や社会に貢献するケアの開発に取り組み、人々の安心な生活の実現や QOL の向上を推進していくことのできる能力を有している。
4. 看護学を発展させ新たな知見を創生する研究活動を行い、社会に向けて提言できる能力を有している。
5. 国内外の専門職と連携して、政策開発や意思決定に参加し、健康医療福祉システムの構築や変革をもたらす能力を有している。
6. 科学的・学際的な基盤を持って人々の健康生活や健康文化を創造することに寄与する、次世代の高度実践看護者を養成する高等教育を担う能力を有している。

○看護学研究科共同災害看護学専攻（博士課程）

修了要件は、履修単位を50単位以上修得し、かつ必要な研究指導を受けて、博士論文の審査及び最終試験に合格することを定めています。審査においては、本課程の教育目的に対応した能力について総合的に評価を行い、修了要件を満たす者に博士(看護学)とし、(DNGL:Disaster Nursing Global Leader)を付記した、学位を授与します。

○人間の安全保障を理念として、いかなる災害状況でも「その人らしく健康に生きる」ことを支援することができる能力を有している。

○災害サイクル諸局面において「健康に生きるための政策提案」に取り組むことができる能力を有している。

- グローバルな視点から安全安心社会の実現に向けて、産学官との連携を築き、制度やシステムを変革できる能力を有している。
- 学際的な視点、国際的な視点から災害看護学を構築し、災害看護学を研究開発できる能力を有している。

人間生活学研究科の理念

地域に生きる人々の生活の文化的発展と健康で快適な生活環境の実現を目指し、人間生活学を基盤とした教育・研究を行うことにより、総合的な視野に立って、地域社会の生活課題を解決・調整する高度専門職業人を育成する。

○人間生活学研究科人間生活学専攻（博士前期課程）

博士前期課程では、地域社会の生活課題を解決・調整することのできる高度専門職業人としての能力を養成することを目的とする。

1. 共通ディプロマ・ポリシー

- 1) 専攻領域における研究遂行にとって必要とされる学術的知識を有している。(知識・理解)
- 2) 専攻領域以外の領域にわたる幅広く深い学術的学識を有している。(知識・理解)
- 3) 地域社会の特性を踏まえて追究すべき研究課題を発見することができる。(汎用的技能)
- 4) 地域社会をシステムとして捉えた研究を実践することができる。(汎用的技能)
- 5) 設定した研究課題を科学的視点で捉え、結論を導出することができる。(汎用的技能)
- 6) 研究を通じて得られた知見や技術を口頭または論文の形で共有化することができる。(汎用的技能)
- 7) 対象とする研究課題を自律的に遂行することができる。(態度・志向性)
- 8) 学問の体系化への貢献とあわせて実践的研究を志向し、得られた成果を地域社会に還元することができる。(態度・志向性)
- 9) 研究倫理についての確に理解・遵守し学術研究活動を行うことができる。(態度・志向性)

2. 領域(学位名称)別ディプロマ・ポリシー

(1) 栄養・生活学領域 <修士(生活科学)>

- 1) 生活・栄養の分野における専門的な知識を人間の生活に関して焦点化することができる。(創造的思考力・表現力)
- 2) 地域における生活・栄養分野の課題を複雑系科学の視点で捉えるとともに、課題解決のための具体的な方策を検証することができる。(創造的思考力・表現力)

(2) 社会福祉学領域 <修士(社会福祉学)>

- 1) 社会福祉の分野における専門的な知識と技術を人間の生活に関して焦点化することができる。(創造的思考力・表現力)
- 2) 地域における福祉分野の課題を科学的視点で捉えるとともに、ミクロ・メゾあるいはマクロの観点から課題解決のための具体的な方策を検証することができる。(創造的思考力・表現力)

(3) 文化学領域 <修士(学術)>

- 1) 文化研究における専門的な知識と技術を、人間の生活に関して焦点化することができる。(創造的思考力・表現力)
- 2) 設定した研究課題を人文科学的方法論または社会科学的方法論に則り検証することができる。(創造的思考力・表現力)

○人間生活学研究科人間生活学専攻（博士後期課程）

博士後期課程は、博士前期課程において修得した知識及び技術を基盤とし、自立して継続的な研究活動を遂行できる高度専門職業人としての能力及び高等教育の発展に寄与する教育研究者としての能力を涵養することを目的とする

1. 共通ディプロマ・ポリシー

- 1) 研究分野に関する国内外の動向を俯瞰的に把握し、自己の研究の位置づけを明確にすることができる。(知識・理解)(汎用的技能)
- 2) 既存の知識や技術の応用に新たな視点を加え、知の創造に繋げることができる。(知識・理解)(汎用的技能)
- 3) 人間生活に変革をもたらす政策開発ならびに意思決定への参画に繋がる研究を行うことができる。(知識・理解)(汎用的技能)
- 4) 自己の研究を自立して展開していく態度と能力を有している。(態度・志向性)
- 5) 研究倫理に則り研究を完遂できる態度と能力を有している。(態度・志向性)

2. 領域(学位名称)別ディプロマ・ポリシー

(1) 栄養・生活学領域 <博士(生活科学)>

- 1) 栄養・生活の分野にかかわる課題の中から研究テーマを設定・遂行し、当該分野の発展に寄与する成果を得ることができる。(創造的思考力)(表現力)
- 2) 栄養・生活の分野における研究の発展に寄与できるよう、新たな知見を学会ならびに専門誌等で研究成果を公表する能力を有すると同時に、社会に向けて提言できる能力を有している。(創造的思考力)(表現力)
- 3) 高等教育機関における教授者として次世代の栄養・生活の分野にかかわる専門職教育を担う資質を有している。(態度・志向性)

(2) 社会福祉学領域 <博士(社会福祉学)>

- 1) 社会福祉の分野にかかわる課題の中から研究テーマを設定・遂行し、当該分野の発展に寄与する成果を得ることができる。(創造的思考力)(表現力)
- 2) 社会福祉の分野における研究の発展に寄与できるよう、新たな知見を学会ならびに専門誌等で研究成果を公表する能力を有すると同時に、社会に向けて提言できる能力を有している。(創造的思考力)(表現力)
- 3) 高等教育機関における教授者として次世代の社会福祉の分野にかかわる専門職教育を担う資質を有している。(態度・志向性)

(3) 文化学領域 <博士(学術)>

- 1) 文化の分野にかかわる課題の中から研究テーマを設定・遂行し、当該分野の発展に寄与する成果を得ることができる。(創造的思考力)(表現力)
- 2) 文化の分野における研究の発展に寄与できるよう、新たな知見を学会ならびに専門誌等で研究成果を公表する能力を有すると同時に、社会に向けて提言できる能力を有している。(創造的思考力)(表現力)
- 3) 高等教育機関における教授者として次世代の文化の分野にかかわる専門職教育を担う資質を有している。(態度・志向性)

2 共通教養教育科目及び受講者の状況

(1) 共通教養教育科目

【学部】

リテラシー科目

○文化学部 文化学科

(単位:人)

授業科目	受講者数	授業科目	受講者数
英語コミュニケーション I A	未開講	英語コミュニケーション II 応用エッセーライティング	26
英語コミュニケーション I B	未開講	情報処理概論	116
英語コミュニケーション I C	275	情報リテラシー	64
英語コミュニケーション I D	269	コンピュータリテラシー	156
英語コミュニケーション II 基礎プレゼンテーション	55	ビジネスリテラシー	31
英語コミュニケーション II 応用プレゼンテーション	30	日本語表現法	未開講
英語コミュニケーション II 基礎エッセーライティング	57		

○看護学部 看護学科

(単位:人)

授業科目	受講者数	授業科目	受講者数
英語コミュニケーション I A	未開講	英語コミュニケーション II 応用エッセーライティング	0
英語コミュニケーション I B	未開講	情報処理概論	27
英語コミュニケーション I C	150	情報リテラシー	1
英語コミュニケーション I D	134	コンピュータリテラシー	53
英語コミュニケーション II 基礎プレゼンテーション	13	ビジネスリテラシー	0
英語コミュニケーション II 応用プレゼンテーション	1	日本語表現法	未開講
英語コミュニケーション II 基礎エッセーライティング	12		

○社会福祉学部 社会福祉学科

(単位:人)

授業科目	受講者数	授業科目	受講者数
英語コミュニケーション I A	未開講	英語コミュニケーション II 応用エッセーライティング	0
英語コミュニケーション I B	未開講	情報処理概論	0
英語コミュニケーション I C	141	情報リテラシー	0
英語コミュニケーション I D	142	コンピュータリテラシー	75
英語コミュニケーション II 基礎プレゼンテーション	4	ビジネスリテラシー	0
英語コミュニケーション II 応用プレゼンテーション	0	日本語表現法	未開講
英語コミュニケーション II 基礎エッセーライティング	3		

○健康栄養学部 健康栄養学科

(単位:人)

授業科目	受講者数	授業科目	受講者数
英語コミュニケーション I A	未開講	英語コミュニケーション II 応用エッセーライティング	0
英語コミュニケーション I B	未開講	情報処理概論	27
英語コミュニケーション I C	83	情報リテラシー	24
英語コミュニケーション I D	80	コンピュータリテラシー	43
英語コミュニケーション II 基礎プレゼンテーション	3	ビジネスリテラシー	0
英語コミュニケーション II 応用プレゼンテーション	1	日本語表現法	未開講
英語コミュニケーション II 基礎エッセーライティング	2		

教養基礎科目

(単位:人)

授業科目	受講者数	授業科目	受講者数
科学と人間	50	法学	131
基礎化学	33	政治学	42
基礎生物学	228	経済学	45
物理と自然法則	40	倫理学	129
地球の科学	15	哲学	206
数学入門	10	文学	36
基礎統計学	26	基礎ジェンダー学	119
社会調査基礎論	16	心理学	114
日本国憲法	163		

課題別教養科目

(単位:人)

授業科目	受講者数	授業科目	受講者数
生活と社会福祉	83	ジェンダーとキャリア	未開講
現代生活論	75	労働と人権	15
環境と健康と安全	12	地域とグローバリゼーション	未開講
自然災害と防災の科学	120	家族関係論	85
平和論	未開講	地域メディア論	202
現代人権論	32	異文化理解海外フィールドワーク	9

健康・スポーツ科目

(単位:人)

授業科目	受講者数	授業科目	受講者数
健康スポーツ科学Ⅰ	287	健康とヘルスプロモーション	12
健康スポーツ科学Ⅱ	240	栄養と健康	37
対人関係とメンタルヘルス	184		

域学共生科目

(単位:人)

授業科目	受講者数	授業科目	受講者数
地域学概論	359	専門職連携論	35
土佐の歴史と文化	25	チーム形成論	0
土佐の経済とまちづくり	54	地域学実習Ⅰ	329
土佐の自然と暮らし	132	地域学実習Ⅱ	387
土佐の食と健康	186	域学共生実習	12

(2) 専門教育科目

【学 部】

○文化学部 文化学科

(その1)

(単位:人)

授 業 科 目		受講者数	授 業 科 目		受講者数		
文化学部共通科目	リテラシー科目	基礎演習	162	国際文化領域	比較日本文学Ⅰ(～2018)	73	
		中国語基礎Ⅰ	85		比較日本文学Ⅱ(～2018)	未開講	
		中国語基礎Ⅱ	82		比較日本文学	未開講	
		ドイツ語基礎Ⅰ	18		国際関係論	82	
		ドイツ語基礎Ⅱ	16		国際開発論	68	
		フランス語基礎Ⅰ	41		国際文化専門演習Ⅰ	32	
		フランス語基礎Ⅱ	41		国際文化専門演習Ⅱ	31	
		日本語Ⅰ	5		日本語学領域	日本語史	82
		日本語Ⅱ	5			日本語音声学・音韻論	84
		情報処理演習	161			日本語学講読	80
		文献調査論	155			日本語文章構成論	82
		基礎読書法	101			国語教育学講読Ⅰ	64
	エッセンシャル科目	文化哲学	200	国語教育学講読Ⅱ		15	
		文化人類学	194	日本語教育学概論		37	
		文化と権利	95	日本語教育教材論		15	
		文化と裁判	50	日本語学専門演習Ⅰ		36	
		公共哲学	98	日本語学専門演習Ⅱ		33	
		民俗学	80	日本文学領域	基礎古典	83	
		文化と経済	112		日本文学史(古典)	34	
		日本文学概論	164		日本文学史(近代)	34	
		言語学概論	188		古典文学基礎講読Ⅰ	33	
		日本語学概論	163		古典文学基礎講読Ⅱ	28	
		グローバルスタディー(～2018)	38		古典文学講読Ⅰ	46	
		グローバル平和論	145		古典文学講読Ⅱ	38	
		異文化コミュニケーション(～2018)	31		近代文学講読	84	
		社会調査論	59		現代文学講読	82	
		域学共生フィールドワーク	8		中国文学史	50	
		文化学課題研究ゼミナールⅠ	144	中国文学講読(散文)	40		
		文化学課題研究ゼミナールⅡ	146	中国文学講読(韻文)	36		
		文化学課題研究ゼミナールⅢ	145	日本文学専門演習Ⅰ	33		
	文化学課題研究ゼミナールⅣ	153	日本文学専門演習Ⅱ	35			
	キャリア科目	キャリアデザイン論	140	書道	49		
		キャリア形成論	122	地域文化領域	地域文化論	77	
企業実習		57	日本思想史		15		
文化学部専門科目	英語学領域	英語学概論	60		日本文化論	95	
		比較言語研究	28		土佐地域文化資源論(歴史)(～2018)	50	
		対照言語学	19		土佐地域文化資源論(方言)(～2018)	95	
		言語教育実践論Ⅰ	8		地域文化資源論Ⅰ	55	
		言語教育実践論Ⅱ	7		地域文化資源論Ⅱ	未開講	
		英語文法論	76		文化政策論	92	
		英語ライティングⅠ	20		男女共同参画社会論	39	
		英語ライティングⅡ	14		地域防災論	110	
		英語音声学	65	住文化論	98		
		英語スピーキングⅠ	16	地域文化専門演習Ⅰ	17		
	英語スピーキングⅡ	14	地域文化専門演習Ⅱ	18			
	英語学専門演習Ⅰ	29	地域づくり領域	地域づくり論	108		
	英語学専門演習Ⅱ	31		地域産業論	23		
	国際文化領域	英文化・文学史		62	地域分析論	124	
		英文化・文学論		29	地方自治論	86	
		米文化・文学史		52	NPO論	47	
		米文化・文学論		39	地域づくりフィールドスタディⅠ(～2018)	67	
		異文化理解Ⅰ		未開講	地域づくりフィールドスタディⅡ(～2018)	41	
異文化理解Ⅱ		未開講		地域づくりフィールドスタディ	未開講		
異文化理解Ⅲ		未開講	地域づくり専門演習Ⅰ	16			
国際日本文学Ⅰ(～2018)		6	地域づくり専門演習Ⅱ	18			
国際日本文学Ⅱ(～2018)	19						
国際日本文学	未開講						

(その2)

(単位:人)

授業科目			受講者数	授業科目			受講者数	
文化学部専門科目	地域文化創造系	観光文化系	観光文化論Ⅰ	79	文化学部専門科目	現代法文化領域	文化と人権	未開講
			観光文化論Ⅱ	38			文化と統治システム	142
			景観文化論	130			行政と法文化(～2018)	未開講
			観光と自然環境Ⅰ(～2018)	118			現代法思想論(～2018)	未開講
			観光と自然環境Ⅱ(～2018)	104			社会秩序と法	36
			観光と自然環境	未開講			犯罪と法	未開講
			観光文化フィールドスタディⅠ	46			情報化社会と法文化	63
		観光文化フィールドスタディⅡ	20	地域社会と法文化		114		
		観光フィールド専門演習Ⅰ	37	生命倫理と法(～2018)		未開講		
		観光フィールド専門演習Ⅱ	37	平和構築論(～2018)		未開講		
		観光まちづくり領域	観光学総論	42		現代法文化専門演習Ⅰ	3	
			観光まちづくり論Ⅰ	48		現代法文化専門演習Ⅱ	8	
			観光まちづくり論Ⅱ	未開講		生活法文化領域	生活と法文化	86
			観光産業論(～2018)	81			文化と人権(～2018)	157
	観光産業論Ⅰ		未開講	災害と法	103			
	観光産業論Ⅱ		未開講	ワーク・ライフ・バランスと法	51			
	観光企画論		137	労働契約と法文化	85			
	観光まちづくりフィールドスタディⅠ		13	社会保障と法文化	56			
	観光まちづくりフィールドスタディⅡ		36	家族関係と法文化	17			
	観光産業専門演習(～2018)		39	生活法文化専門演習Ⅰ	2			
	観光企画専門演習(～2018)	37	生活法文化専門演習Ⅱ	8				
	観光まちづくり専門演習Ⅰ	未開講						
	観光まちづくり専門演習Ⅱ	未開講						

○文化学部 文化学科(旧カリキュラム(～2014))

授業科目		受講者数
	卒業研究	2

○看護学部 看護学科

(その1)

(単位:人)

授業科目		受講者数	授業科目		受講者数		
専門基礎科目	医学の世界	81	看護基礎科目	看護援助学	治療援助論Ⅱ	83	
	人体の構造Ⅰ	81		看護援助学	症状と看護	85	
	人体の構造Ⅱ	81		看護援助学	看護援助の動向と課題	2	
	人体の機能Ⅰ	80		看護援助学	ふれあい看護実習	82	
	人体の機能Ⅱ	81		看護援助学	看護基盤実習	82	
	人体のしくみの乱れⅠ	84		看護管理學	看護管理學	看護システム論	82
	人体のしくみの乱れⅡ	83			看護管理學	看護サービス論	82
	心のしくみ	81			看護管理學	看護教育論	未開講
	病態と治療Ⅰ	83			看護管理學	看護管理の動向と課題	未開講
	病態と治療Ⅱ	83			看護管理學	チーム医療実習	82
	診断学	83	看護管理學		看護管理実習	82	
	微生物学	82	急性期看護學		急性期看護學	急性期看護論	83
	栄養学	81			急性期看護學	急性期看護援助論	82
	生化学	80			急性期看護學	回復期看護援助論	83
	薬理学	83			急性期看護學	急性期看護の動向と課題	8
	治療学総論	83		急性期看護學	急性期看護実習	82	
	小児と疾患	82		慢性期看護學	慢性期看護學	慢性期看護論	83
	母性学	83	慢性期看護學		慢性期看護援助論	82	
	保健統計学	82	慢性期看護學		終末期看護援助論	82	
	疫学	82	慢性期看護學		慢性期看護の動向と課題	2	
	健康管理論	82	慢性期看護學		慢性期看護実習	82	
	地域保健政策	82	看護老人學		看護老人學	老人看護学総論	81
	生命の科学と倫理	61		看護老人學	老人の健康と看護	83	
	医療史	4		看護老人學	老人看護援助論	83	
	社会保障と看護	10		看護老人學	老人看護の動向と課題	未開講	
	心理学理論と心理的支援	3	看護臨床科目	精神看護學	精神看護学総論	83	
	行動科学	16		精神看護學	精神の健康と看護	83	
保健行動論	13	精神看護學		精神看護援助論	82		
人間工学	3	精神看護學		精神看護の動向と課題	3		
公衆衛生学	81	精神看護學		精神看護実習	82		
在宅医療	20	小児看護學		小児看護學	小児看護学総論	83	
医療と経営	10		小児看護學	小児の健康と看護	82		
助産学	10		小児看護學	小児看護援助論	82		
助産診断論	10		小児看護學	小児看護の動向と課題	12		
			小児看護學	小児看護実習	82		
看護基礎科目	基礎看護学	看護学総論	81	母性看護學	母性看護學	母性看護学総論	83
		健康と看護	81		母性看護學	母性看護対象論	83
		環境と看護	81		母性看護學	母性看護援助論	82
		人間と看護	81		母性看護學	母性看護の動向と課題	2
		看護研究方法論	82		母性看護學	母性看護実習	82
		看護哲学と倫理	82				
	看護援助学	生活と看護	81	助産看護學	助産看護學	助産看護学総論	8
		生活援助論Ⅰ	81		助産看護學	助産看護診断論	8
		生活援助論Ⅱ	81		助産看護學	助産技術論Ⅰ	8
		生活援助論Ⅲ	83		助産看護學	助産技術論Ⅱ	7
		看護過程論	83		助産看護學	助産看護援助論	7
		援助関係論	81		助産看護學	助産看護管理論	7
		フィジカルアセスメントⅠ	81		助産看護學	助産看護の動向と課題	7
		フィジカルアセスメントⅡ	82		助産看護學	助産看護実習Ⅰ	7
治療援助論Ⅰ	83	助産看護學	助産看護実習Ⅱ	7			

(その2)

(単位:人)

		授業科目	受講者数			授業科目	受講者数
看護 臨床 科目	在宅看護学	在宅看護学総論	84	総合 科目	看護セミナーⅠ	60	
		在宅看護対象論	82		看護セミナーⅡ	22	
		在宅看護援助論	82		看護セミナーⅢ	31	
		在宅看護リエゾン論	39		看護セミナーⅣ	未開講	
		在宅看護の動向と課題	9		看護セミナーⅤ	81	
		在宅看護実習	82		看護セミナーⅥ	81	
	地域看護学	地域看護学総論	82		臨床看護論Ⅰ	2	
		地域の健康と看護	82		臨床看護論Ⅱ	2	
		地域看護援助論	82		臨床看護論Ⅲ	40	
		地域看護の動向と課題	6		臨床看護論Ⅳ	2	
	保健学校	地域看護実習	74		臨床看護論Ⅴ	15	
		学校保健	16		臨床看護論Ⅵ	27	
		養護概説	17		母性・助産看護実践論	7	
	総合 科目	看護研究	82		精神看護実践論	未開講	
看護と政策		82	急性期看護実践論	24			
がん看護論		83	慢性期看護実践論	未開講			
総合看護実習		82	小児看護実践論	10			
看護実践能力開発実習		82	地域看護実践論	4			
バイオロジカルナーシング		4	老人看護実践論	2			
治療と看護		未開講	臨床看護実践論	未開講			
災害と看護Ⅰ		63	医学と看護の統合	81			
災害と看護Ⅱ		14	最新実践看護講座Ⅰ	13			
看護と文化Ⅰ		80	最新実践看護講座Ⅱ	25			
看護と文化Ⅱ		2					
グローバルヘルス		1					
看護学の動向と課題		53					

○社会福祉学部 社会福祉学科

(単位:人)

授業科目		受講者数	授業科目	受講者数	
基本科目	福祉対象入門	75	実相談援助科目	事例研究法	10
	福祉援助入門	75		実践記録法	13
	社会福祉入門演習	75		チームアプローチ	13
	社会福祉基礎演習	75		スーパービジョン	9
	心理学理論と心理的支援	76			
	社会理論と社会システム	76	地域・国際福祉科目	地域福祉論Ⅰ	74
	現代社会と福祉Ⅰ	75		地域福祉論Ⅱ	74
	現代社会と福祉Ⅱ	75		地域福祉活動	1
	社会福祉史	74		国際福祉論	14
	介護技術	16		コミュニティソーシャルワーク	11
		福祉NPO論		29	
		子育て支援論		14	
		虐待防止論	38		
社会福祉制度科目	社会保障論Ⅰ	75	社会支援科目	ケアマネジメント論	22
	社会保障論Ⅱ	75		ケアマネジメント演習	20
	公的扶助論	74		ケアプラン策定法	22
	障害者福祉論	74		就労支援サービス	70
	児童・家庭福祉論	74	精神保健福祉実践科目	精神科リハビリテーション学	34
	高齢者福祉論Ⅰ	75		精神保健福祉援助演習	18
	高齢者福祉論Ⅱ	75		精神保健福祉援助実習指導Ⅰ	22
	精神保健福祉論Ⅰ	37		精神保健福祉援助実習指導Ⅱ	18
	精神保健福祉論Ⅱ	30		精神保健福祉援助実習Ⅰ	18
	福祉行財政と福祉計画	75		精神保健福祉援助実習Ⅱ	18
	福祉サービスの組織と経営	71			
	権利擁護論	72			
	更生保護制度	66			
	保健医療サービス	75			
女性福祉論	32				
医療福祉論	36				
からだとこころの理解科目	人体の構造と機能及び疾病	77	介護福祉理解科目	介護の基本Ⅰ	17
	精神医学Ⅰ	31		介護の基本Ⅱ	23
	精神医学Ⅱ	31		介護の基本Ⅲ	17
	精神保健学Ⅰ	33		コミュニケーション技術	17
	精神保健学Ⅱ	29		生活支援技術Ⅰ	17
	発達と老化の理解Ⅰ	34		生活支援技術Ⅱ	17
	発達と老化の理解Ⅱ	36		生活支援技術Ⅲ	23
	認知症の理解Ⅰ	36		生活支援技術Ⅳ	23
	認知症の理解Ⅱ	31		生活支援技術Ⅴ	17
	障害の理解Ⅰ	21		介護過程Ⅰ	17
	障害の理解Ⅱ	23	介護過程Ⅱ	23	
	こころとからだのしくみⅠ	21	介護過程Ⅲ	23	
	こころとからだのしくみⅡ	20	介護過程Ⅳ	17	
相談援助基礎科目	相談援助の基盤と専門職	77	介護福祉実践科目	介護総合演習Ⅰ	17
	相談援助の理論と方法Ⅰ	75		介護総合演習Ⅱ	23
	相談援助の理論と方法Ⅱ	75		介護総合演習Ⅲ	17
	相談援助の理論と方法Ⅲ	75		介護総合演習Ⅳ	12
	相談援助と理論と方法Ⅳ	74		介護実習Ⅰ	17
	精神保健福祉援助技術総論	41		介護実習Ⅱ	23
	精神保健福祉援助技術各論	33		介護実習Ⅲ	17
	面接技法	49		医療的ケアⅠ	17
	医療ソーシャルワーク論	46	医療的ケアⅡ	12	
相談援助実践科目	相談援助演習Ⅰ	74	総合科目	福祉研究法入門	74
	相談援助演習Ⅱ	73		社会調査の基礎	75
	相談援助演習Ⅲ	73		社会福祉専門演習Ⅰ	71
	相談援助演習Ⅳ	70		社会福祉専門演習Ⅱ	72
	相談援助実習指導Ⅰ	73		社会福祉専門演習Ⅲ	74
	相談援助実習指導Ⅱ	73		社会福祉専門演習Ⅳ	75
	相談援助実習指導Ⅲ	70			
	相談援助実習	70			

○健康栄養学部 健康栄養学科

(単位:人)

授業科目		受講者数	授業科目		受講者数	
科基礎	健康栄養学基礎	43	栄養教育論	栄養教育論Ⅰ	44	
	健康栄養学応用	47		栄養教育論Ⅱ	40	
社会・環境と健康	地域健康論	40		栄養教育論Ⅲ	40	
	介護論	40		栄養教育論実習Ⅰ	40	
	食と介護	40		栄養教育論実習Ⅱ	40	
	保健医療福祉論	40		学校栄養指導論Ⅰ	10	
	地域医療論	24		学校栄養指導論Ⅱ	10	
	公衆衛生学	40		臨床栄養学	臨床栄養学Ⅰ	44
	環境衛生学実習	40			臨床栄養学Ⅱ	40
	健康情報論実習	43			臨床栄養学Ⅲ	40
		臨床実践栄養学	40			
人体の構造と機能及び疾病の成り立ち	生化学Ⅰ	43	臨床栄養学実習Ⅰ	40		
	生化学Ⅱ	43	臨床栄養学実習Ⅱ	40		
	生化学実験	44	栄養学 公衆	公衆栄養学Ⅰ	44	
	人体の構造と機能Ⅰ	43		公衆栄養学Ⅱ	41	
	人体の構造と機能Ⅱ	45		地域公衆栄養学実習	40	
	臨床医科学	29	給食経営管理論	給食経営管理論	44	
	疾病論Ⅰ	44		給食計画論	44	
	疾病論Ⅱ	44		給食経営管理実習Ⅰ	40	
	運動生理学	44		給食経営管理実習Ⅱ	40	
	生体科学実験・実習	44	演習 総合	管理栄養士総合演習Ⅰ	40	
		管理栄養士総合演習Ⅱ		41		
食べ物と健康	食品学	43	臨地実習	給食経営管理臨地実習	40	
	食品学実験Ⅰ	44		臨床栄養学臨地実習Ⅰ	40	
	食品学実験Ⅱ	44		臨床栄養学臨地実習Ⅱ	40	
	食材学	44		地域公衆栄養学臨地実習	40	
	食品の栄養素と機能	44		地域実践栄養学臨地実習	14	
	食品衛生学	44	その他	企業実習	未開講	
	食品衛生学実験	44		研 究 題	卒業研究	41
	フードシステム学	11				
	調理学	43				
	調理学実習Ⅰ	43				
	調理学実習Ⅱ	43				
	調理学実習Ⅲ	32				
	調理科学実験	7				
栄養基礎	基礎栄養学	46				
	基礎栄養学実験	44				
栄養学 応用	応用栄養学Ⅰ	44				
	応用栄養学Ⅱ	44				
	応用栄養学実習	44				
	ライフステージ栄養学	44				

【 大学院 】

○看護学研究科看護学専攻（博士前期課程）

(その1)

(単位:人)

		授 業 科 目	受講者数			授 業 科 目	受講者数
共 通 科 目	大 学 院 共 通 科 目	研究と倫理	3	ク リ テ ィ カ ル ケ ア 看 護 学 領 域	クリティカルケア看護論 I	1	
		教育学特論	1		クリティカルケア看護論 II	1	
		教育心理学特論	未開講		クリティカルケア看護方法論 I	1	
		ジェンダー論	2		クリティカルケア看護方法論 II	3	
		臨床倫理	4		クリティカルケア看護方法論 III	1	
		グローバルヘルス論	0		クリティカルケア看護方法論 IV	3	
		ケア論	3		クリティカルケア診断治療学 I	4	
		看護マネジメント論	4		クリティカルケア診断治療学 II	未開講	
	専 攻 共 通 科 目	看護理論と実践	12		クリティカルケア看護課題研究	3	
		看護学基盤論	4		クリティカルケア看護学実践演習 I	1	
		看護研究と実践	12		クリティカルケア看護学実践演習 II	3	
		看護理論と研究 I	2		クリティカルケア看護学実践演習 III	3	
		看護理論と研究 II	3		クリティカルケア看護学実践演習 IV	1	
		看護倫理	12		クリティカルケア看護学実践演習 V	3	
		看護サービス管理論	11		小 児 看 護 学 領 域	小児看護論	1
		看護コンサルテーション論	11			小児看護対象論	1
		フィジカルアセスメント特論	10			小児看護方法論 I	1
		病態生理学	10			小児看護方法論 II	0
		臨床薬理学	10			小児診断治療学 I	未開講
		こころの発達	2	小児診断治療学 II		1	
		看護教育論 I	8	小児看護課題研究		0	
		看護教育論 II	13	小児看護学実践演習 I		1	
		看護教育学専門演習	1	小児看護学実践演習 II		0	
		看護教育学研究方法 I	0	小児看護学実践演習 III		0	
		看護教育学研究方法 II	0	小児看護学実践演習 IV		1	
		データ分析方法論	12	小児看護学実践演習 V		0	
		疫学研究方法論	3	小児看護学研究方法 I		0	
		保健医療政策と経済 I	9	小児看護学研究方法 II		0	
		保健医療政策と経済 II	12	領 域 専 門 科 目		精神看護論	1
		看護学の動向と展望	11			精神看護対象論	1
		最新専門看護実践講座 I	0			精神看護方法論 I	1
		最新専門看護実践講座 II	4		精神看護方法論 II	1	
		インディペンデントスタディ	1		精神看護展開論 I	0	
領 域 専 門 科 目	が ん 看 護 学 領 域	がん看護論	2		精神看護展開論 II	0	
		緩和ケア特論	2		精神看護展開論 III	1	
		がん看護方法論 I	2		精神看護展開論 IV	0	
		がん看護方法論 II	2		精神診断治療学 I	2	
		がん看護方法論 III	2		精神診断治療学 II	未開講	
		がん病態生理学	2		精神看護課題研究	1	
		がん診断治療学	未開講		精神看護学実践演習 I	1	
		がん薬理学	4		精神看護学実践演習 II	1	
		がん看護課題研究	1		精神看護学実践演習 III	1	
		がん看護学実践演習 I	1		精神看護学実践演習 IV	1	
		がん看護学実践演習 II	2	精神看護学実践演習 V	1		
		がん看護学実践演習 III	2	家 族 看 護 学 領 域	家族看護論	0	
		がん看護学実践演習 IV	2		家族看護対象論	未開講	
		がん看護学実践演習 V	2		家族看護方法論 I	12	
		成人看護学研究方法 I	0		家族看護方法論 II	10	
		成人看護学研究方法 II	0		家族看護実践論 I	1	
		領 域 専 門 科 目	慢 性 看 護 学 領 域		慢性看護論	1	家族看護実践論 II
慢性看護対象論	1				家族療法	未開講	
慢性看護方法論 I	1				家族ケアの開発	2	
慢性看護方法論 II	0				家族看護課題研究	2	
慢性疾患診断治療学 I	未開講				家族看護学実践演習 I	0	
慢性疾患診断治療学 II	1				家族看護学実践演習 II	0	
慢性看護課題研究	0				家族看護学実践演習 III	2	
慢性看護学実践演習 I	1				家族看護学実践演習 IV	2	
慢性看護学実践演習 II	0				家族看護学実践演習 V	2	
慢性看護学実践演習 III	1				家族看護学研究方法 I	0	
慢性看護学実践演習 IV	0			家族看護学研究方法 II	0		
慢性看護学実践演習 V	0						
成人看護学研究方法 I	0						
成人看護学研究方法 II	0						

(その2)

(単位:人)

授業科目		受講者数	授業科目		受講者数		
領域 専門科目	地域看護学領域	地域看護論	1	看護管理学領域	看護管理論	1	
		地域ケアシステム論	0		システム経営管理論	1	
		地域看護展開論	1		看護管理展開論	1	
		地域看護課題研究	0		看護管理の動向と展望	1	
		地域フィールド演習Ⅰ	0		看護管理課題研究	0	
		地域フィールド演習Ⅱ	1		看護管理学実践演習Ⅰ	0	
		地域看護学研究方法Ⅰ	1		看護管理学実践演習Ⅱ	0	
		地域看護学研究方法Ⅱ	1		看護管理学実践演習Ⅲ	0	
	在宅看護学領域	在宅看護論	2		臨床看護学領域	看護管理学研究方法Ⅰ	1
		在宅看護方法論Ⅰ	2			看護管理学研究方法Ⅱ	2
		在宅看護方法論Ⅱ	4	精神看護ケア研究		1	
		在宅看護方法論Ⅲ	0	老人看護ケア研究		2	
		在宅ケアシステム論	0	がん看護ケア研究		4	
		在宅看護展開論Ⅰ	2	小児看護ケア研究		1	
		在宅看護展開論Ⅱ	2	慢性看護ケア研究		1	
		在宅療養診断治療学Ⅰ	未開講	クリティカルケア研究		0	
		在宅療養診断治療学Ⅱ	2	臨床看護管理研究		3	
		在宅看護課題研究	0	臨床看護教育研究		3	
		在宅看護学実践演習Ⅰ	2	母性・助産看護ケア研究	0		
		在宅看護学実践演習Ⅱ	2	臨床看護学専門演習	2		
		在宅看護学実践演習Ⅲ	0	臨床看護学研究方法Ⅰ	1		
		在宅看護学実践演習Ⅳ	0	臨床看護学研究方法Ⅱ	0		
	在宅看護学実践演習Ⅴ	0	地域保健学領域	地域ケア研究	1		
	老人看護学領域	老人看護論		2	学校保健研究	1	
		老人看護対象論		2	家族ケア研究	2	
		老人看護方法論		0	在宅ケア研究	1	
		老人ケアシステム論		0	保健学研究	未開講	
		老人看護展開論Ⅰ		2	地域保健学専門演習	1	
		老人看護展開論Ⅱ		2	地域保健学研究方法Ⅰ	3	
		老年病診断治療学Ⅰ		0	地域保健学研究方法Ⅱ	2	
		老年病診断治療学Ⅱ	2				
		老人看護課題研究	0				
		老人看護学実践演習Ⅰ	2				
		老人看護学実践演習Ⅱ	2				
		老人看護学実践演習Ⅲ	0				
		老人看護学実践演習Ⅳ	0				
		老人看護学実践演習Ⅴ	0				

○看護学研究科看護学専攻（博士後期課程）

(単位:人)

授業科目		受講者数	授業科目		受講者数	
専攻共通科目	理論看護学Ⅰ	3	専攻専門科目	精神看護学Ⅰ	0	
	理論看護学Ⅱ	3		精神看護学Ⅱ	0	
	看護学研究方法Ⅰ	4		家族看護学Ⅰ	0	
	看護学研究方法Ⅱ	3		家族看護学Ⅱ	0	
	看護倫理学	3		地域看護学Ⅰ	0	
	イノベーション看護学	3		地域看護学Ⅱ	0	
	国際看護学	3		在宅看護学Ⅰ	1	
	医学研究方法論	0		在宅看護学Ⅱ	0	
	インディペンデントスタディ	0		学校保健学Ⅰ	0	
専攻専門科目	小児看護学Ⅰ	0		学校保健学Ⅱ	0	
	小児看護学Ⅱ	1		看護病態生理学Ⅰ	0	
	成人看護学Ⅰ	0		看護病態生理学Ⅱ	0	
	成人看護学Ⅱ	0		看護経営管理学Ⅰ	0	
	老人看護学Ⅰ	0		看護経営管理学Ⅱ	0	
	老人看護学Ⅱ	0		科指研究 目導究	看護学特別研究Ⅰ	4
	がん看護学Ⅰ	0			看護学特別研究Ⅱ	2
	がん看護学Ⅱ	0	看護学特別研究Ⅲ		4	

○看護学研究科共同災害看護学専攻（博士課程）

(単位:人)

授業科目		受講者数	授業科目		受講者数
災害看護学の基盤を支える科目群	看護研究	2	イン デ イ ペ ン デ ン ト 学 修 科 目 群	災害看護ゼミナールA	0
	理論看護学	1		災害看護ゼミナールB	10(3)
	危機管理論	未開講		災害看護ゼミナールC	2(1)
	環境防災学Ⅰ	未開講		災害看護ゼミナールD	3
	環境防災学Ⅱ	3(1)		災害看護ゼミナールE	0
	グローバルヘルス	4(2)		インディペンデントスタディⅠ	1(1)
	災害法制度と政策論	未開講		インディペンデントスタディⅡ	0
	専門職連携実践論	3		インディペンデントスタディⅢ	0
	災害時専門職連携演習(災害IP演習)	2		インディペンデントスタディⅣ	0
	災害医療学	未開講		インディペンデントスタディⅤ	0
	災害心理学	未開講	災害看護学 研究支援 科目群	災害看護研究ゼミナール	4
	災害と文化	3(1)		実践課題研究	7(2)
	災害社会福祉学	未開講		災害看護研究デベロップメント	10(3)
	Professional writing	4	旧カリ キュ ラム 科目	博士論文	15(2)
	Proposal writing (Research proposal writing skill)	2		理論看護学Ⅱ	10(3)
	Program writing (Program Proposal writing skill)	未開講		看護倫理	0
災害看護学の専門科目群	災害看護学総論	3(1)		保健学的・疫学的研究法	1
	災害看護活動論Ⅰ(急性期)	3(1)		看護研究方法論Ⅰ(国際比較研究)	0
	災害看護活動論Ⅱ(亜急性期)	4(1)		看護研究方法論Ⅱ(エスノグラフィ)	1
	災害看護活動論Ⅲ(復旧・復興)	5(2)		看護研究補法Ⅲ (ケーススタディ・アクションリサーチ)	1
	災害看護活動論Ⅳ(備え)	3(1)		看護研究方法論Ⅳ(グランデッドセオリー)	2(1)
	災害看護グローバルコーディネーション論	17(4)		看護研究方法論Ⅵ(介入研究・尺度開発含)	2
	災害看護リーダーシップ・管理論	4(2)		危機管理論	1
	災害看護倫理	未開講	グローバルヘルスと政策	5	
	災害看護理論構築	10(3)	災害社会学	10(1)	
	インターンシップⅠ	1	災害看護倫理	10(3)	
インターンシップⅡ	15(3)	災害看護活動論演習Ⅰ	1(1)		
		災害看護活動論演習Ⅱ	1(1)		
		災害看護学実習Ⅰ	7(1)		

()内は本学学生数

○人間生活学研究科人間生活学専攻（博士前期課程）

(単位:人)

授業科目		受講者数	授業科目		受講者数		
共通科目	大学院共通科目	研究と倫理	10	社会福祉学領域科目	介護・高齢者・福祉	介護福祉論Ⅰ	未開講
		教育学特論	2		介護福祉論Ⅱ	5	
		教育心理学特論	未開講		高齢者福祉論	未開講	
		ジェンダー論	5		障害者福祉論	4	
		臨床倫理	0		精神保健福祉論	未開講	
		グローバルヘルス論	0		精神科ソーシャルワーク論	3	
		ケア論	2		福祉・児童・家庭	児童・家庭福祉論Ⅰ	4
		看護マネジメント論	0		児童・家庭福祉論Ⅱ	5	
	人間生活学研究科	研究方法論Ⅰ	8	文化学領域科目	人間総合文化	地域文化論Ⅰ	未開講
		研究方法論Ⅱ	8			地域文化論Ⅱ	0
研究方法論Ⅲ		3	地域文化論Ⅲ			4	
データ解析論		7	地域文化論Ⅳ			未開講	
環境解析論		0	地域文化論Ⅴ			未開講	
地域スポーツ論		4	日本文化		日本文化論Ⅰ	1	
健康リハビリテーション論		未開講			日本文化論Ⅱ	未開講	
栄養・生活学領域科目	食物科学	食品生化学特論	未開講	英語文化	日本文化論Ⅲ	0	
		食品製造学特論	4		日本文化論Ⅳ	未開講	
		食物科学論	未開講		中国文化論	未開講	
		食物科学実践演習	3		英語文化	英語文化論	未開講
	人間栄養学	栄養学特論	3	英語言語文化論特論Ⅰ		0	
		臨床栄養学特論	未開講	英語言語文化論特論Ⅱ		未開講	
		健康動態論	1	国際日本学	未開講		
	生活学・栄養学	栄養学特論	3	科指研究	栄養・生活学課題研究演習	1	
		臨床栄養学特論	未開講		社会福祉学課題研究演習	5	
		健康動態論	1		文化学課題研究演習	1	
社会福祉学領域科目	福祉基礎	栄養疫学論	3	研究指導科目	地域文化論Ⅰ	未開講	
		栄養・生活特論Ⅰ	5		地域文化論Ⅱ	0	
		栄養・生活特論Ⅱ	3		地域文化論Ⅲ	4	
		栄養・生活統計論	1		地域文化論Ⅳ	未開講	
		環境生態論	未開講		地域文化論Ⅴ	未開講	
	国際福祉	社会福祉原論	3		日本文化	日本文化論Ⅰ	1
		福祉リハビリテーション論	7			日本文化論Ⅱ	未開講
		ソーシャルワーク論	9			日本文化論Ⅲ	0
		社会保障論	未開講			日本文化論Ⅳ	未開講
		福祉行財政論	2			中国文化論	未開講
地域・国際福祉	地域福祉論Ⅰ	未開講	英語文化	英語文化論	未開講		
	地域福祉論Ⅱ	9		英語言語文化論特論Ⅰ	0		
	国際福祉論Ⅰ	未開講		英語言語文化論特論Ⅱ	未開講		
	国際福祉論Ⅱ	1		国際日本学	未開講		

○人間生活学研究科人間生活学専攻（博士後期課程）

(単位:人)

授業科目		受講者数	授業科目		受講者数	
科共目通	研究デザイン	0	専門科目	領域文化学	地域文化学Ⅰ	0
	研究倫理	0			地域文化学Ⅱ	0
専門科目	領域・生活学	地球環境解析学	0	研究指導科目	言語文化学Ⅰ	0
		環境生態学	0		言語文化学Ⅱ	0
		居住環境学	0		栄養・生活学特別研究Ⅰ	0
		人間栄養学	0		栄養・生活学特別研究Ⅱ	0
		食品機能学	0		栄養・生活学特別研究Ⅲ	0
		健康動態学	0		社会福祉学特別研究Ⅰ	0
	社会福祉学	介護福祉学	0		社会福祉学特別研究Ⅱ	0
		障害者福祉学	0		社会福祉学特別研究Ⅲ	2
		児童・家族福祉学	0		文化学特別研究Ⅰ	0
		地域福祉学	0		文化学特別研究Ⅱ	0
	国際福祉政策学	0		文化学特別研究Ⅲ	0	
	社会福祉計画論	0				

※「未開講」・・・隔年開講などにより年度当初から未開講科目であったもの
 ※「0」・・・年度当初開講予定科目で、院生がいらないなどの理由で開講されなかったもの

(3)教職に関する専門教育科目

(単位:人)

授 業 科 目		受講者数	授 業 科 目		受講者数
教職に関する専門教育科目	教師論	75	教職に関する専門教育科目	道徳教育論	56
	教育原理	29		特別活動論	37
	発達心理学	43		教育方法論	53
	教育心理学	27		生徒指導論	51
	教育社会学	36		教育相談論	58
	人権教育に関する科目	46		教育基礎理論	26
	教育課程論	37		教育カリキュラム開発論	16
	国語科教育法Ⅰ	15		教育実習Ⅰ	17
	国語科教育法Ⅱ	14		教育実習Ⅱ	17
	国語科教育法Ⅲ	9		養護実習	14
	国語科教育法Ⅳ	9		学校栄養教育実習	10
	英語科教育法Ⅰ	10		教職実践演習(中・高)	17
	英語科教育法Ⅱ	10		教職実践演習(養護)	14
	英語科教育法Ⅲ	8		教職実践演習(栄養)	10
英語科教育法Ⅳ	9				

3 教員免許状取得等及び国家資格取得の状況

(1) 教員免許状取得状況等(過去3年間分)

(単位:人)

学部・学科	区 分		平成29年度	平成30年度	平成31年度
文化学部 文化学科	免許状取得者数	実人数	16	23	16
		中一種免(英語)	10	11	9
		高一種免(英語)	10	11	9
		中一種免(国語)	6	12	7
		高一種免(国語)	6	12	7
	教員就職者数		11	12	10
看護学部 看護学科	免許状取得者数	実人数	16	11	14
		一種免(養護)	16	11	14
	教員就職者数		6	3	8
健康栄養学部 健康栄養学科	免許状取得者数	実人数	6	6	10
		中一種免(家庭)	4		
		高一種免(家庭)	4		
		一種免(栄養)	2	6	10
	教員就職者数		4	5	7
合 計	免許状取得者数(実人数)		38	40	40
	教員就職者数		21	20	25

※教員就職者数は正規採用者と臨時的任用者との合計

(2) 国家試験合格状況

(単位:人)

国家資格	受 験 日	区 分	受 験 者 数	合 格 者 数	合 格 率
保 健 師	令和2年2月14日	新 卒	75	73	97.3%
		既 卒	4	3	75.0%
看 護 師	令和2年2月16日	新 卒	82	82	100.0%
		既 卒	0	0	
助 産 師	令和2年2月13日	新 卒	7	7	100.0%
		既 卒	0	0	
社会福祉士	令和2年2月2日	新 卒	70	55	78.6%
		既 卒	27	4	14.8%
精神保健福祉士	令和2年2月1日	新 卒	16	15	93.8%
	令和2年2月2日	既 卒	1	1	100.0%
介護福祉士	令和2年1月26日	新 卒	12	12	100.0%
		既 卒	0	0	
管理栄養士	令和2年3月1日	新 卒	40	39	97.5%
		既 卒	2	0	0.0%

4 学位及び大学賞・学長賞等の授与状況

(1) 学位授与状況

○博士

(単位:人)

研究科名	博士	
	令和元年度	累計
看護学研究科(博士後期課程)	6	33
看護学研究科(博士課程)	2	3
人間生活学研究科(博士後期課程)	2	9
健康生活科学研究科健康生活科学専攻(博士後期課程)	0	50
合計	10	95

○修士

(単位:人)

研究科名	修士	
	令和元年度	累計
看護学研究科(博士前期課程)	11	273
人間生活学研究科(博士前期課程)	7	172
合計	18	445

【学位授与者一覧】

○博士

授与年月日	学位の種類	氏名	論文名
令和元年9月24日	博士(看護学)	高山 良子	がんサバイバーと家族員のパートナーシップ –夫婦に焦点をあてて–
令和元年9月24日	博士(看護学)	田代 真理	がん患者のアドバンスケアプランニングへの看護支援と影響要因
令和元年9月24日	博士(社会福祉学)	宮崎 正宇	児童養護施設におけるリービングケアとアフターケアに関する研究 –レジデンシャル・ソーシャルワークを中心として–
令和2年3月19日	博士(看護学)	野村 美紀	生活習慣病予防に焦点をあてた保健師のヘルスコーチングの構造
令和2年3月19日	博士(看護学)	青木 早苗	遺伝性乳がん卵巣がん症候群である乳がん女性のセルフ・トランセンデンス
令和2年3月19日	博士(看護学)	嶋岡 暢希	乳児期の子どもを育てる親のMasteryに関する研究
令和2年3月19日	博士(看護学)	土岐 弘美	軽度認知症の診断を受けた人のとらえる自己に関する研究
令和2年3月19日	博士(看護学)	HASTORO DWINANTOAJI	Analysis of Factors Influencing the Community Health Cadres' Participation in Flood Disaster Risk Reduction in Indonesia
令和2年3月19日	博士(看護学)	野島 真美	大規模交通事故(JR福知山線脱線事故)に遭遇した人々が生きてきた軌跡 –健康・生活とケアに焦点をあてて–
令和2年3月19日	博士(社会福祉学)	野村 修	死生と看取りケアに関する介護職員の認識と実践の構造 –ユニット型介護老人福祉施設のリーダー層介護職員を対象者として–

○修 士

授与年月日	学位の種類	氏 名	論 文 名
令和2年3月19日	修士(看護学)	岩田 明日香	胎児異常を告知された家族が告知から出産までの過程で形成する家族コミットメント
令和2年3月19日	修士(看護学)	馬屋原 健裕	集中治療室看護師のせん妄ケアにおける臨床判断
令和2年3月19日	修士(看護学)	江村 優	自殺未遂患者をケアする救急部門の看護師の構え
令和2年3月19日	修士(看護学)	岡野 直人	看護組織の安全マネジメントに関する研究 ー臨床における看護師のレジリエントな行動とそれに影響する要因ー
令和2年3月19日	修士(看護学)	北野 百合	生活困窮者における保健行動実践
令和2年3月19日	修士(看護学)	坂野 真美	救急外来に配置転換した救急看護師の成長
令和2年3月19日	修士(看護学)	田部 由佳	食物アレルギーをもつ学童期の子どものセルフケアエージェンシーを育む養護教諭の支援活動
令和2年3月19日	修士(看護学)	寺尾 香里	病棟看護管理システムのインテグレーション
令和2年3月19日	修士(看護学)	原 ちなみ	緊急で人工呼吸器を装着した患者のセルフケア
令和2年3月19日	修士(看護学)	松石 由美子	集中治療室で関わりが難しいと感じる家族に関わる看護者の体験
令和2年3月19日	修士(看護学)	松山 円	外来化学療法を継続して受ける再発・転移がん患者の心理的体験
令和2年3月19日	修士(学術)	大黒 久美子	婚姻における若衆の役割と村落構造との関連についての研究 ー宿毛市山奈町と室戸市佐喜浜町を事例としてー
令和2年3月19日	修士(社会福祉学)	安 東	生活習慣と生活環境の変化が認知症高齢者に及ぼす影響 ー施設入所後のリロケーションダメージに着目してー
令和2年3月19日	修士(社会福祉学)	倪 子婷	中山間地域における要介護高齢者への生活支援に関する研究 ー地域包括支援センターを拠点とした取り組みの検討をもとにー
令和2年3月19日	修士(社会福祉学)	高濱 恵	レジリエンス概念の研究 ーソーシャルワーク実践に向けてー
令和2年3月19日	修士(生活科学)	山中 遼平	自閉症スペクトラム障がい児の食に関する感覚応答が食行動における予測符号化に及ぼす影響
令和2年3月19日	修士(社会福祉学)	楊 天謀	日本と中国での少子化を軽減するための社会支援とは何か ー子育て支援について日中比較からー
令和2年3月19日	修士(社会福祉学)	和食 沙紀	歯科衛生士が気づく「気になる親子」の着目点 ー歯科診療所における子ども虐待の早期発見に向けてー

(2)大学賞・学長賞授与状況

【大学賞】

学部・研究科	学科・専攻	学年	受賞者数	功 績
看護学部	看護学科	4	1	入学時より一貫して高い目標を持ち、主体的に行動する力を発揮しながら学業に真摯に取り組んだ。物事を成し遂げる強い意志と責任感を持ち、看護実践、看護研究に取り組み、特に優秀な成績を修めた。
看護学研究科	看護学専攻 博士後期課程	5	1	研究に真摯に取り組み、アドバンスケアプランニングの看護学研究の深化・発展に寄与した。

【学長賞】

学 部	学 科	学年	受賞者数	功 績
文化学部	文化学科	4	2	第70回四国地区大学総合体育大会においてフットサルの部で優勝し、他のサークル活動の模範となる大変優秀な成績をおさめ、高知県立大学の存在を大きくアピールした。
		2	1	
看護学部	看護学科	4	2	
		3	5	
		2	1	
健康栄養学部	健康栄養学科	1	1	
		3	1	
		2	1	
		1	1	
文化学部	文化学科	4	3	
文化学部	文化学科	4	3	現在、奏者のみならず製造数も減少している「箏」を学内だけでなく地域でのイベント等で演奏し、演奏を通じて古き良き日本の文化の魅力を伝える活動を行った。
文化学部	文化学科	4	2	学校や地域からの要請に応え、県内学校等を訪問し、自らで作成した子供たちにもわかりやすい教材を用いて、禁止薬物乱用の弊害や危険性についての啓発活動を行った。
看護学部	看護学科	4	2	
文化学部	文化学科	4	1	3回生在学中に日本モーターボート競走会のボートレーサー養成所の試験に合格し、プロの競艇選手となった。その後は選手としての活動と並行して大学へ通い、卒業のために必要となる単位を計画的に取得した。プロ競艇選手と学業の文武両道を実現させ、高い目標を定めて取り組む姿勢が同級生や後輩の学生の模範となった。
看護学部	看護学科	4	4	合同災害訓練において、避難所での生活体験ができる企画を実施・運営することにより、町内会と共催した災害訓練を実現させた。また、第63回四国公衆衛生学会において、四国内の公衆衛生に関連する専門職に向け、学生と地域住民で取り組む地域づくりを発信し、看護学を学ぶ学生が地域の健康づくりにどのように貢献できるか、役割と力を示した。
看護学部	看護学科	4	8	熱中症予防の知識普及を目的としたよさこい祭りでのうちわ配布や香美市物部町神池地区における健康寿命延伸の活動、AED使用の普及活動など、看護学の専門知識を分かりやすく県民に伝え、知識の普及と健康文化を醸成させた。
文化学部	文化学科	4	3	第6期幹部と主要な活動の代表として、精力的に活動し「かつおオリンピック」の開催や「学生ボランティアセンター模擬運営」、「DoNabenet(土鍋ネット)in高知」の開催など活動を新たに発展させた。
看護学部	看護学科	4	3	
社会福祉学部	社会福祉学科	4	4	
社会福祉学部	社会福祉学科	4	1	かんきもんの代表として、「傾聴」「タウンモビリティ」「学習支援」「YCPK」「シグマ」「援農」の6つの部門の全体会議や企画・立案などのコミュニケーションを図り、全体のとりまとめを行うなど、優れたリーダーシップを発揮し活動に大きく貢献した。
社会福祉学部	社会福祉学科	4	3	「高知家地方創生アイデアコンテスト2018」でアイデア賞を受賞し、「地方創生政策アイデアコンテスト2018」の大学生以上一般の部において地方予選を突破した。

学 部	学 科	学年	受賞者数	功 績
健康栄養学部	健康栄養学科	4	5	ローソン高知と連携し、高知家健康パスポートの基準を満たす519キロカロリー、食塩相当量2.0グラムの健康弁当の開発に成功し、実際に店頭で販売された。
健康栄養学部	健康栄養学科	4	5	高知県赤十字血液センターと連携して、高知県学生献血クロス倶楽部および中国四国学生献血推進協議会代表委員会として献血の普及、啓発活動に貢献した。
健康栄養学部	健康栄養学科	4	18	4期生として、先輩や地域の方々の思いを継続しながら大野見での農作業体験や地域イベントへの参加等を行い、また、知事訪問や中土佐町へ受賞の報告に参加し、おのおみエコロジーファーマーズをはじめ、関係者との交流や学生の企画について報告することにより、さらなるPRにつなげた。後輩が定食屋に挑戦した際には、作業や衛生面での指導を行い、南国市十市小学校6年生らが取り組んでいる「学校給食献立作成」にも活動の経験からアドバイスをを行い、好評を得た。
健康栄養学部	健康栄養学科	4	3	公益社団法人日本糖尿病協会が主催する小児糖尿病サマーキャンプに参画し、企画・運営のサポートを積極的に行った。また、キャンプの事前学習として自主的に勉強会を行い、医療スタッフ主催のミーティングに参加し、血糖測定器の使い方やインスリンの打ち方等についても積極的に学んだ。

(3)サーティフィケーション授与状況

協定校	氏名	内容	招聘者
北京聯合大学旅游学院 (中国)	王 琦然	2019年4月1日～2020年3月31日 協定校間の交換留学を修了	高知県立大学 (国際交流センター)
	呂 雯		
文藻外語大学 (台湾)	陳 瑋瑋	2019年4月1日～2020年3月31日 協定校間の交換留学を修了	高知県立大学 (国際交流センター)
	葉 真如		
慶南科学技術大學校 (韓国)	徐 裕珍	2019年10月1日～2020年3月31日 協定校間の交換留学を修了	高知県立大学 (国際交流センター)
ヴェネチア カ・フォスカリ大学 (イタリア)	Tronchin Marco	2019年4月1日～6月14日 「国際日本学プログラム」を修了	高知県立大学 (国際交流センター)
	Aita Elisa		
	Zorzan Giorgia		
	De Martini Di Valle Aperta Francesca		
	Arena Rossella Maria		
	Daris Chiara		
	Fagioli Chiara		
	Chu Xin		
Giannone Codiglione Eleonora			
エルムズカレッジ (アメリカ)	Abigail Smith	2019年5月25日～6月7日 短期受入プログラムを修了	高知県立大学 (国際交流センター)
	Maicherish Harris		
	Eleanor Hinchliffe		
	Joshua Whitman		
	Youyi Liang		
	Amanda Rooke		
	Joshua Leoncini		
	Erin Keith		
Alyssa Barnes			
サバ大学 (マレーシア)	Elaine Kong	2019年7月8日～8月2日 短期受入プログラムを修了	高知県立大学 (健康栄養学部)
	Sally Thien Kai Ping		
	Eddy Chin Cheng Kwang		
	Lim Beng Hooi		
	Nur Aqilah Bt Abdullah		
	Nurul Najihah Bt Adb Karim		
Tan Zin Wen			
慶南科学技術大學校 (韓国)	Lee Hyeonseung	2019年7月16日～8月7日 「夏期日本語集中プログラム」を修了	高知県立大学 (国際交流センター)
	Heo Jaeyong		
	You Reana		
	Oh Jeongmin		
	Hong Hyo Rim		
ガジャマダ大学 (インドネシア)	Adinda Septianingtyas	2019年11月2日～11月9日 短期受入プログラムを修了	高知県立大学 (看護学部)
	Dayana Pangestu Fajri Javasutra		
	Luthfi Azizah		
	Mutiara Anisha Zahra		
	Penta Akhirul Awal		
	Siska Indriani		
	Syara Khairunnisa Heryanto		
Vicky Octavia Putri			
慶南科学技術大學校 (韓国)	Heo Jaeyong	2020年1月28日～2月5日 「日本語・日本文化短期プログラム」を修了	高知県立大学 (国際交流センター)
	Jeong Jaehoon		
	Kim Dongnyeok		
	Kim Junho		
	Kim Youngjin		
	Lee Chaeun		
	Lee Hyejin		
	Park Jongsang		
	Sim Minah		
	Oh Jeongmin		
木浦大學校 (韓国)	パク・サイジン	2020年1月28日～2月5日 「日本語・日本文化短期プログラム」を修了	高知県立大学 (国際交流センター)
	ボン・ハンセム		
	キム・ミンハ		
	イ・ジヒェ		
	キム・ジョンムン		
	パク・ジンジュ		
	キム・ナヨン		
	カン・ジス		
	カン・ダヨン		
	キム・ギョンホ		

5 SD・FD活動実施状況

(1) 全学SD・FD

区分	内容	講師・担当者	年月日	参加者数	主催	共催
S D	教育の質保証と教学マネジメントの確立 ー「2040年に向けた高等教育のグランドデザイン」答申を踏まえてー	山梨県立大学 理事長・学長 清水一彦 氏	R1.7.11	本学教員:47名 本学事務職員:32名 他大学 事務職員:1名	高知県立大学	
F D	第5回越境シリーズ講座 異分野から学ぶ Future Earthー科学の統合的貢献による持続 可能な世界を目指してー	国立環境研究所 特任フェロー 春日文子 氏	R1.6.24	41名	学術研究戦略 委員会	高知県立大学 FD委員会
	第10回学際的交流サロン 「研究能力を高める戦略的研究推進プロジェクトの報告会Ⅰ」 ①看護学研究科博士前期課程:教育イノベーション事業Ⅰ ②中山間地域における生活圏の確保に向けてー土佐郡大川村における地域創造 ③高知県の血管病ハイリスク群への重症化予防推進モデルの開発ー慢性疾患看護専門看護師による病院と地域の看看連携を中心にー ④須崎市医療救護病院におけるBCP策定支援を基盤とした災害対策	①看護学部 長戸和子 教授 ②文化学部 飯高伸五 准教授 ③看護学部 内田雅子 教授 ④看護学部 久保田聡美 教授	R1.7.22	65名	学術研究戦略 委員会	高知県立大学 FD委員会
	第11回学際的交流サロン 「研究能力を高める戦略的研究推進プロジェクトの報告会Ⅱ」 ①大川村における栄養教育表示地場産物を通じた健康長寿システムの構築 ②看護学研究科博士前期課程:教育イノベーション事業 ③高知県の現任教育における新任期待保健師支援プログラムの再構築 ④地域減災とプライマリヘルスケアをつなぐ地域参加型プラットフォームの構築	①健康栄養学部 稲井玲子 教授 ②看護学部 畦地博子 准教授 ③看護学部 時長美希 教授 ④看護学研究科 神原咲子 教授	R1.9.9	39名	学術研究戦略 委員会	高知県立大学 FD委員会
	第12回学際的交流サロン ①平成30年西日本豪雨での栄養支援活動について ②栄養士による支援活動	①健康栄養学部 廣内智子 講師 ②健康栄養学部 島田郁子 講師	R1.10.28	32名	学術研究戦略 委員会	高知県立大学 FD委員会
	全学FD研修会 ファシリテーションが拓く新たな大学教育～対話と学びあいの空間づくり～	鈴木まり子ファシリテーター事務所 代表 鈴木まり子 氏	R1.11.6	49名	高知県立大学 FD委員会	
	第13回学際的交流サロン 三島由紀夫『仮面の告白』の射程ー戦後社会と文学との関係性から考えるー	文化学部 田中裕也 講師	R1.11.14	21名	学術研究戦略 委員会	高知県立大学 FD委員会
	第14回学際的交流サロン 地域福祉(活動)計画と住民主体のまちづくりーその持続性に関するー考察ー	社会福祉学部 田中きよむ 教授	R1.12.18	40名	学術研究戦略 委員会	高知県立大学 FD委員会
	実践的FDプログラム 「教育方法論Ⅴ」～学生授業評価の性質と授業への活用～	立命館大学 安岡高志 氏	R1.12.23	25名	高知県立大学 FD委員会	
	実践的FDプログラム 「授業設計論Ⅰ」～大学の授業の設計～	立命館大学 沖裕貴 氏	R2.1.10	10名	高知県立大学 FD委員会	
	実践的FDプログラム 「教育評価論Ⅰ」～成績評価の意味と方法～	立命館大学 鳥居居子 氏	R2.1.16	11名	高知県立大学 FD委員会	
	実践的FDプログラム 「教育評価論Ⅱ」～目標準拠測定に基づく評価～	早稲田大学 野嶋栄一郎 氏	R2.1.20	9名	高知県立大学 FD委員会	
	第15回学際的交流サロン 災害準備期における看護の取り組み ～災害に具体的に備えることを促すために～	看護学部 渡邊聡子 准教授	R2.1.22	25名	学術研究戦略 委員会	高知県立大学 FD委員会
	実践的FDプログラム 「教育評価論Ⅲ」～ティーチングポートフォリオとは～	大学評価・学位授与機構 栗田佳代子 氏	R2.1.27	13名	高知県立大学 FD委員会	
第6回越境シリーズ講座 異分野から学ぶ 少子高齢化社会における地域の医療・防災・ICTの活用	津田塾大学総合政策学部 森田朗 教授	R2.2.14	35名	学術研究戦略 委員会	高知県立大学 FD委員会	

(2)部局別SD・FD

部 署	内 容	講師・担当者	年月日	参加者数	主催	共催
文 化 学 部	基礎演習に関する情報の共有と意見交換	「基礎演習」担当教員計9名	R1.7.8	22名	文化学部FD 委員会	
	実践的FDプログラム(ディプロマ・ポリシー) ②「FD概論Ⅰ」	①立命館大学 沖裕貴 氏 ②大阪大学 佐藤浩章 氏	R1.12.9	22名	文化学部FD 委員会	
	なくそう・防ごう・気づこう アカデミック・ハラスメ ント		R2.2.10	16名	文化学部 人権委員会	文化学部 FD委員会
看 護 学 部	南海地震に備える	看護学部 竹崎久美子 教授	H31.4.10	50名	看護学部 FD委員会	
	AI時代における看護について	高知工科大学情報学群 敷田幹文 教授	R1.6.29	7名	高知看護教育 研究会	
	FDマザーマップ「教育」について	看護学部 内田雅子 教授	R1.7.11	4名	マザーマップを 活用した新任教 員の主体的な学 びの支援	
	実践的FDプログラム 「教育評価論Ⅰ」～成績評価の意味と方法～	立命館大学 鳥居朋子 氏	R1.9～ R2.1 3回開催	5名	看護学部 FD委員会	
	実践的FDプログラム 「教育評価論Ⅱ」～目標準拠測定に基づく評 価～	早稲田大学 野嶋栄一郎 氏	R1.9～ R2.1 4回開催	8名	看護学部 FD委員会	
	実践的FDプログラム 「教授学習理論Ⅲ」～アクティブラーニングを 促す教授法～	愛媛大学 中井俊樹 氏	R1.9～ R2.1 3回開催	3名	看護学部 FD委員会	
	実践的FDプログラム 「大学管理運営Ⅲ」～リスクマネジメント～	東京ゆまにて法律事務所 井口博 氏	R1.9～ R2.1 2回開催	8名	看護学部 FD委員会	
	実践的FDプログラム 「研究のアウトリーチ活動Ⅰ」～研究者にでき る多様なアウトリーチ活動の紹介～	滋賀大学 加納圭 氏	R1.9～ R2.1 2回開催	3名	看護学部 FD委員会	
	FDマザーマップ「研究」について	アドバイザー 看護学部 畦地博子 教授	R1.11.12	7名	看護学部 FD委員会	
	レポート作成の指導	看護学部 大川宣容 教授 看護学部 瓜生浩子 教授	R1.12.6	3名	看護学部 FD委員会	
	看護・教育・セルフケアに活かせる認知行動療 法	細木病院 公認心理士 池田貴美 氏	R1.12.14	3名	高知看護教育 研究会	
	看護を語る会		看護学部教員	R2.3.9	43名	看護学部 FD委員会
R2.3.11				42名		
社 会 福 祉 部	第49回全国社会福祉セミナー報告	社会福祉学部 西内章 教授 社会福祉学部 加藤由衣 講師	R1.12.23	17名	社会福祉学部 FD委員会	
	シリーズ：研究と社会正義 第1回 障害者の超短時間雇用の事例から 社会の在り方を考える	東京大学先端科学技術 研究センター 近藤武夫 准教授	R2.1.16	社会福祉学部 教員:21名 他部局教員:1名 学生:100名	社会福祉学部 FD委員会	
	学習教材作成における著作権等の理解	常磐大学 坂井知志 氏	R2.1.27	19名	社会福祉学部 総務	社会福祉学部 FD委員会
健 康 学 部	合同災害訓練を振り返り	健康栄養学部 廣内智子 講師 高知医療センター栄養局 坂本一美 氏	R1.12.23	13名	健康栄養学部 FD委員会	高知医療セン ター栄養局
研 究 科	英語論文作成上のピットフォール	看護学部 池田光徳 教授	R2.2.12	看護学研究科 教員:5名 他部局教員:19名	看護学研究科 FD委員会	
地 域 教 育 研 究	実践的FDプログラムの活用について	地域教育研究センター 鈴木康郎 准教授	R2.2.25	4名	地域教育研究 センター FD委員会	

(3) 全学人権研修会

部署	内容	講師・担当者	年月日	参加者数	主催	共催
全学	ハラスメント防止のためのアサーティブ・コミュニケーション	特定非営利活動法人アサーティブジャパン 専属講師・事務局長 牛島のり子 氏	R1.11.12	教員:48名 事務:38名	高知県立大学 人権委員会	

(4) 部局別人権研修会

部署	内容	講師・担当者	年月日	参加者数	主催	共催
学文部化	なくそう・防ごう・気づこう アカデミック・ハラスメント(再掲)		R2.2.10	16名	文化学部 人権委員会	文化学部 FD委員会
看護学部	高知県立大学看護学部におけるハラスメント防止に関するガイドライン		R1.5.29	39名	看護学部 人権委員会	
	アカデミック・ハラスメントの解決ー大学の常識を問い直すー		R1.12.18	31名	看護学部 人権委員会	
社会学部福祉	無意識の偏見が招くパワーハラスメント		R2.3.23	19名	社会学部福祉学部 人権委員会	
健康学部	無意識の偏見が招くパワーハラスメント		R2.1.27	15名	健康栄養学部 人権委員会	
地域センター教育研究	なくそうパワーハラスメント 管理職のためのパワーハラを起こさない職場づくり		R2.2.25	5名	地域教育研究センター 人権委員会	
事務局	わからないから、確かめ合うーコミュニケーションー		R2.3.6 R2.3.9	51名	事務局	

(5) 学外研修

部署	内容	期間	参加者数	主催
看護学部	すぐ使える90分セミナー 教育研究	R1.5.24	1名	四国地区教職員 能力開発ネットワーク
	はじめてみよう！アクティブ・ラーニング	R1.9.5	1名	四国地区教職員 能力開発ネットワーク
	講義に小グループ・ペア学習を取り入れた授業デザインー考え方と進め方ー	R1.9.5	1名	四国地区教職員 能力開発ネットワーク
	グループワークの技法	R1.9.6	2名	四国地区教職員 能力開発ネットワーク
社会学部福祉	大人数講義法の基本	R1.9.10	1名	四国地区教職員 能力開発ネットワーク
	eラーニング活用(入門編)ー学習支援システムMoodleソフトを活用してきめ細やかな学習支援を実現しようー	R1.9.12	1名	四国地区教職員 能力開発ネットワーク
健康学部	障がいをもつ学生の理解と支援	R1.6.26	1名	四国地区教職員 能力開発ネットワーク
事務局	大学人・社会人としての基礎力養成プログラム(レベルⅠ)【新任職員研修】	R1.5.13~5.15	1名	四国地区教職員 能力開発ネットワーク
	「次世代リーダー養成ゼミナール(第1回)」開放講義	R1.5.23~5.24	2名	四国地区教職員 能力開発ネットワーク
	クレーム対応実践	R1.7.5	1名	四国地区教職員 能力開発ネットワーク
	「次世代リーダー養成ゼミナール(第2回)」開放講義	R1.7.19~7.20	4名	四国地区教職員 能力開発ネットワーク

部署	内容	期間	参加者数	主催
事務局	SPODフォーラム2019	R1.8.28～8.30	10名	四国地区教職員 能力開発ネットワーク
	公立大学法人会計セミナー	R1.9.11～9.13	1名	一般社団法人 公立大学協会
	大学人・社会人としての基礎力養成プログラム 研修(レベルⅢ)	R1.9.25～9.27	1名	四国地区教職員 能力開発ネットワーク
	「次世代リーダー養成ゼミナール(第3回)」	R1.10.24～10.26	1名	四国地区教職員 能力開発ネットワーク
	「次世代リーダー養成ゼミナール(第4回)」	R2.1.23～1.24	1名	四国地区教職員 能力開発ネットワーク

5 学 生

1 行事实績

平成31年

4月 4日(木)	入学式
4月 5日(金)	(1)新入生ガイダンス (2)在学生ガイダンス (3)学生健康診断 場所(池キャンパス) [午前:池キャンパス4回生] [午後:池キャンパス1回生]
4月 8日(月)	(1)新入生ガイダンス (2)在学生ガイダンス (3)学生健康診断 場所(池キャンパス) [午前:池キャンパス2回生] [午後:池キャンパス3回生]
4月 9日(火)	(1)新入生ガイダンス (2)学生健康診断 場所(永国寺キャンパス) [午前:文化学部1・2回生、夜間主] [午後:文化学部3・4回生、夜間主] (3)池キャンパス2・3・4回生 前期授業開始(専門教育科目のみ)
4月10日(水)	前期授業開始
4月16日(火)	受講登録締切
4月20日(土)	バスハイク
4月21日(日)	創立記念日
4月24日(水)～ 5月7日(火)	前期受講登録変更期間

令和元年

5月 6日(月)	月曜日授業日(振替休日)
5月15日(水)	定例学生大会(午後)
5月27日(月)～ 5月31日(金)	前期履修中止届出期間
7月15日(月)	月曜日授業日(海の日)
7月28日(日)	オープンキャンパス
8月 1日(木)～ 8月 9日(金)	補講・試験期間(9日(金)午前まで)
8月 9日(金)～ 9月14日(土)	夏季休業期間(9日(金)午後から)
8月31日(土)～ 9月 1日(日)	大学院第1次入学試験
9月 2日(月)	前期成績提出締切(集中講義を除く)
9月15日(日)～ 9月30日(月)	集中講義期間
9月24日(火)	9月卒業式・学位授与式
10月 1日(火)	後期授業開始
10月 8日(火)～10月15日(火)	後期受講登録変更期間
10月26日(土)～10月27日(日)	大学祭
10月31日(木)	月曜日授業日、前期集中講義成績提出締切
11月16日(土)～11月17日(日)	推薦入学試験・社会人入学試験・3年次編入学試験
11月25日(月)～11月29日(金)	後期履修中止届出期間
12月17日(火)～12月24日(火)	集中講義期間
12月25日(水)～ 1月 5日(日)	冬季休業期間

令和2年

1月 6日(月)	授業開始
1月17日(金)	休講(大学入試センター試験準備のため)
1月18日(土)～ 1月19日(日)	大学入試センター試験
1月25日(土)	大学院第2次入学試験
1月26日(日)	私費外国人留学生入学試験
2月12日(水)～ 2月20日(木)	補講・試験期間
2月21日(金)～ 3月19日(木)	集中講義期間
2月25日(火)～ 2月26日(水)	一般入学試験(前期日程)
2月26日(水)	後期成績提出締切(4回生)
3月 4日(水)	後期成績提出締切(1～3回生) (集中講義を除く)
3月 5日(木)	卒業判定会議
3月12日(木)	一般入学試験(後期日程)・社会人入学試験
3月19日(木)	卒業式・修了式
3月21日(土)～ 3月31日(火)	春季休業期間
3月24日(火)	後期集中講義成績提出締切(1～3回生)

2 入学の状況

(1) 入学の状況

(単位:人)

学部・学科名	区分	募集人員	志願者数		志願倍率 b/a	受験者数		受験倍率 c/a	合格者数		合格倍率 c/d	追加合格者数		入学者数		
			全体	(県内)		全体	(県内)		全体	(県内)		全体	(県内)	全体	(県内)	
文化学部	文化学科 [言語文化系/ 地域文化創造系]	推薦	県内	30	41 (41)	1.4	41	(41)	1.4	31	(31)	1.3			31	(31)
			全国	8	21 (2)	2.6	21	(2)	2.6	9	(2)	2.3			9	(2)
		個別	前期	72	170 (54)	2.4	152	(53)	2.1	86	(21)	1.8	0	(0)	72	(19)
			後期	10	240 (57)	24.0	68	(24)	6.8	15	(1)	4.5	0	(0)	13	(1)
		社会人	若干名	0	(0)	-	0	(0)	-	0	(0)	-	0	(0)	0	(0)
		私費外国人留学生	若干名	3		-	1		-	0		-			0	
		1年次計	120	475 (154)	4.0	283	(120)	2.4	141	(55)	2.0	0	(0)	125	(53)	
		3年次編入	5	6 (0)	1.2	4	(0)	0.8	0	(0)	-	0	(0)	0	(0)	
	合計	125	481 (154)	3.8	287	(120)	2.3	141	(55)	2.0	0	(0)	125	(53)		
	文化学科 [文化総合系 (夜間主コース)]	推薦	県内	10	9 (9)	0.9	9	(9)	0.9	8	(8)	1.1			8	(8)
		社会人A	10	19 (9)	1.9	19	(9)	1.9	11	(3)	1.7	0	(0)	10	(3)	
		社会人B	10	35 (16)	3.5	27	(14)	2.7	17	(8)	1.6	0	(0)	16	(7)	
		1年次計	30	63 (34)	2.1	55	(32)	1.8	36	(19)	1.5	0	(0)	34	(18)	
		3年次編入	3	6 (1)	2.0	4	(1)	1.3	2	(0)	2.0	0	(0)	2	(0)	
合計		33	69 (35)	2.1	59	(33)	1.8	38	(19)	1.6	0	(0)	36	(18)		
看護学部	看護学科	推薦	県内	22	47 (47)	2.1	47	(47)	2.1	22	(22)	2.1			22	(22)
		個別	前期	52	187 (33)	3.6	176	(32)	3.4	58	(10)	3.0	0	(0)	56	(10)
			後期	6	148 (34)	24.7	76	(19)	12.7	6	(1)	12.7	0	(0)	5	(1)
		社会人	若干名	1	(1)	-	1	(1)	-	0	(0)	-	0	(0)	0	(0)
		私費外国人留学生	若干名	1		-	1		-	0		-			0	
		合計 (1年次計)	80	384 (115)	4.8	301	(99)	3.8	86	(33)	3.5	0	(0)	83	(33)	
社会福祉学部	社会福祉学科	推薦	県内	20	22 (22)	1.1	22	(22)	1.1	21	(21)	1.0			21	(21)
		全国	10	32 (3)	3.2	32	(3)	3.2	10	(3)	3.2			9	(2)	
		個別	前期	35	164 (27)	4.7	151	(27)	4.3	43	(7)	3.5	0	(0)	41	(6)
			後期	5	135 (23)	27.0	67	(14)	13.4	5	(0)	13.4	0	(0)	5	(0)
		社会人	若干名	0	(0)	-	0	(0)	-	0	(0)	-	0	(0)	0	(0)
		私費外国人留学生	若干名	3		-	3		-	2		-			2	
合計 (1年次計)	70	356 (75)	5.1	275	(66)	3.9	81	(31)	3.4	0	(0)	78	(29)			
健康栄養学部	健康栄養学科	推薦	県内	10	25 (25)	2.5	25	(25)	2.5	10	(10)	2.5			10	(10)
		全国	5	21 (2)	4.2	21	(2)	4.2	5	(0)	4.2			5	(0)	
		個別	前期	25	47 (12)	1.9	44	(12)	1.8	29	(8)	1.5	1	(0)	25	(8)
			後期													
		社会人	若干名	0	(0)	-	0	(0)	-	0	(0)	-	0	(0)	0	(0)
		私費外国人留学生	若干名	2		-	2		-	0		-			0	
合計 (1年次計)	40	95 (39)	2.4	92	(39)	2.3	44	(18)	2.1	1	(0)	40	(18)			
学部計 (夜間主を除く)	推薦	県内	82	135 (135)	1.6	135	(135)	1.6	84	(84)	1.6			84	(84)	
		全国	23	74 (7)	3.2	74	(7)	3.2	24	(5)	3.1			23	(4)	
	個別	前期	184	568 (126)	3.1	523	(124)	2.8	216	(46)	2.4	1	(0)	194	(43)	
		後期	21	523 (114)	24.9	211	(57)	10.0	26	(2)	8.1	0	(0)	23	(2)	
	社会人	若干名	1	(1)	-	1	(1)	-	0	(0)	-	0	(0)	0	(0)	
	私費外国人留学生	若干名	9		-	7		-	2		3.5			2		
	1年次計	310	1,310 (383)	4.2	951	(324)	3.1	352	(137)	2.7	1	(0)	326	(133)		
	3年次編入計	5	6 (0)	1.2	4	(0)	0.8	0	(0)	-	0	(0)	0	(0)		
総合計	315	1,316 (383)	4.2	955	(324)	3.0	352	(137)	2.7	1	(0)	326	(133)			
学部総合計 (夜間主も含む)	1年次総合計	340	1,373 (417)	4.0	1,006	(356)	3.0	388	(156)	2.6	1	(0)	360	(151)		
	3年次編入総合計	8	12 (1)	1.5	8	(1)	1.0	2	(0)	4.0	0	(0)	2	(0)		
	総合計	348	1,385 (418)	4.0	1,014	(357)	2.9	390	(156)	2.6	1	(0)	362	(151)		
看護学研究科		20	26 (14)	1.3	26	(14)	1.3	22	(12)	1.2	0	(0)	22	(12)		
人間生活学研究科		21	14 (14)	0.7	14	(14)	0.7	14	(14)	1.0	0	(0)	14	(14)		
研究科計		41	40 (28)	1.0	40	(28)	1.0	36	(26)	1.1	0	(0)	36	(26)		

(2) 出身地別入学状況

【学部】

○一般

(単位:人)

学部	文化学部		看護学部		社会福祉学部		健康栄養学部	合計		
学科	文化		看護		社会福祉		健康 栄養			
区分	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	前期	後期	計
北海道	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
青森	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
岩手	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
宮城	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
秋田	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1
山形	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
福島	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
茨城	0	1	0	0	0	0	0	0	1	1
栃木	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
群馬	0	0	0	0	0	0	1	1	0	1
埼玉	0	0	1	0	0	0	0	1	0	1
千葉	0	0	0	0	1	0	0	1	0	1
東京	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
神奈川	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
新潟	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1
富山	1	0	1	0	2	1	0	4	1	5
石川	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
福井	0	0	0	0	0	0	1	1	0	1
山梨	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
長野	0	0	1	0	0	0	0	1	0	1
岐阜	0	0	0	1	0	0	0	0	1	1
静岡	1	2	1	1	1	0	0	3	3	6
愛知	2	2	3	0	0	0	1	6	2	8
三重	2	0	0	0	0	0	0	2	0	2
滋賀	0	1	0	0	0	0	0	0	1	1
京都	1	1	2	0	0	0	1	4	1	5
大阪	3	1	3	0	2	0	3	11	1	12
兵庫	8	0	11	0	1	0	2	22	0	22
奈良	2	0	1	0	0	0	0	3	0	3
和歌山	2	0	2	0	0	1	0	4	1	5
鳥取	3	0	4	0	3	0	0	10	0	10
島根	4	2	1	0	1	0	0	6	2	8
岡山	3	0	2	1	1	0	2	8	1	9
広島	2	0	1	0	0	0	1	4	0	4
山口	0	0	1	0	0	0	0	1	0	1
徳島	5	1	2	0	4	0	2	13	1	14
香川	2	0	1	0	7	1	0	10	1	11
愛媛	5	1	4	1	2	0	2	13	2	15
高知	19	1	11	1	6	0	8	44	2	46
福岡	0	0	1	0	1	0	0	2	0	2
佐賀	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1
長崎	0	0	0	0	2	0	0	2	0	2
熊本	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
大分	1	0	1	0	1	2	1	4	2	6
宮崎	2	0	0	0	2	0	0	4	0	4
鹿児島	0	0	0	0	3	0	0	3	0	3
沖縄	1	0	1	0	1	0	0	3	0	3
合計	72	13	56	5	41	5	25	194	23	217

○推 薦

(単位:人)

学部	文 化		看 護	社会福祉	健康栄養	合 計
学科	文化学科 言語文化系/地 域文化創造系	文化学科 文化総合系 (夜間主コース)	看 護	社会 福祉	健康 栄養	
兵庫	1	0	0	0	0	1
和歌山	1	0	0	0	0	1
岡山	1	0	0	0	0	1
広島	0	0	0	0	1	1
徳島	0	0	0	3	2	5
香川	0	0	0	0	1	1
愛媛	4	0	0	4	1	9
高知	33	8	22	23	10	96
合計	40	8	22	30	15	115

【大 学 院】

(単位:人)

研究科	看護学研究科			人間生活学研究科	
	看護学専攻		共同災害看護学専攻	人間生活学専攻	人間生活学専攻
	博士前期課程	博士後期課程		博士前期課程	博士後期課程
神奈川	2	1	0	0	0
岡山	1	0	0	0	0
徳島	2	0	0	0	0
香川	2	0	0	0	0
愛媛	0	1	0	0	0
宮崎	0	1	0	0	0
高知	10	2	0	10	4
合計	17	5	0	10	4

3 学生数(令和元年5月1日現在)

(単位:人)

学部・学科・専攻		1回生			2回生			3回生			4回生			5回生			合計		
		県内	県外	計	県内	県外	計	県内	県外	計	県内	県外	計	県内	県外	計	県内	県外	計
文化学部 (昼)	文化学科	47	77	124	50	82	132	40	82	122	59	86	145	/	/	/	196	327	523
	編入生	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	/	/	/	1	0	1
	小計	47	77	124	50	82	132	40	82	122	60	86	146	/	/	/	197	327	524
文化学部 (夜間主)	文化学科	20	10	30	18	13	31	13	14	27	21	6	27	/	/	/	72	43	115
	編入生	0	0	0	0	0	0	0	2	2	4	1	5	/	/	/	4	3	7
	小計	20	10	30	18	13	31	13	16	29	25	7	32	/	/	/	76	46	122
看護学部	看護学科	32	50	82	34	50	84	38	44	82	41	43	84	/	/	/	145	187	332
	編入生	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	/	/	/	0	0	0
	小計	32	50	82	34	50	84	38	44	82	41	43	84	/	/	/	145	187	332
社会福祉学部	社会福祉学科	32	44	76	32	41	73	35	38	73	31	44	75	/	/	/	130	167	297
	編入生	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	/	/	/	0	0	0
	小計	32	44	76	32	41	73	35	38	73	31	44	75	/	/	/	130	167	297
健康栄養学部	健康栄養学科	13	30	43	14	31	45	11	29	40	15	26	41	/	/	/	53	116	169
	編入生	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	/	/	/	0	0	0
	小計	13	30	43	14	31	45	11	29	40	15	26	41	/	/	/	53	116	169
学部合計	学部合計	144	211	355	148	217	365	137	207	344	167	205	372	/	/	/	596	840	1,436
	編入生合計	0	0	0	0	0	0	0	2	2	5	1	6	/	/	/	5	3	8
	合計	144	211	355	148	217	365	137	209	346	172	206	378	/	/	/	601	843	1,444
大学院	看護学研究科看護学専攻(博士前期)	11	6	17	9	6	15	/	/	/	/	/	/	/	/	/	20	12	32
	看護学研究科看護学専攻(博士後期)	0	3	3	2	1	3	8	6	14	/	/	/	/	/	/	10	10	20
	看護学研究科共同災害看護学専攻(博士)	0	1	1	2	0	2	0	3	3	0	1	1	1	2	3	3	7	10
	人間生活学研究科(博士前期)	8	0	8	6	1	7	/	/	/	/	/	/	/	/	/	14	1	15
	人間生活学研究科(博士後期)	0	0	0	0	0	0	1	1	2	/	/	/	/	/	/	1	1	2
大学院合計	合計	19	10	29	19	8	27	9	10	19	0	1	1	1	2	3	48	31	79
総計		163	221	384	167	225	392	146	219	365	172	207	379	1	2	3	649	874	1,523

4 休学・退学・修業年限を超えて在籍する学生数及び単位互換の状況

(1) 年次別休学者数

(単位:人)

区 分		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	
文化学部	文化学科	9	15	19	13	24	
看護学部	看護学科	0	1	2	3	4	
社会福祉学部	社会福祉学科	2	2	1	3	3	
健康栄養学部	健康栄養学科	0	0	0	0	2	
学 部 合 計		11	18	22	19	33	
大 学 院	看護学研究科	看護学専攻(博士前期)	1	0	1	0	2
		看護学専攻(博士後期)	2	6	0	2	2
		共同災害看護学専攻(博士)	0	0	1	1	1
	人間生活学研究科	人間生活学専攻(博士前期)	4	4	1	2	0
		人間生活学専攻(博士後期)	5	3	1	0	0
大 学 院 合 計		12	13	4	5	5	
合 計		23	31	26	24	38	

(2) 年次別退学者数

(単位:人)

区 分		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	
文化学部	文化学科	11	21	14	13	13	
看護学部	看護学科	0	0	3	1	1	
社会福祉学部	社会福祉学科	3	2	4	2	1	
健康栄養学部	健康栄養学科	1	0	0	0	2	
学 部 合 計		15	23	21	16	17	
大 学 院	看護学研究科	看護学専攻(博士前期)	1	0	2	0	1
		看護学専攻(博士後期)	3	1	0	0	0
		共同災害看護学専攻(博士)	0	0	0	0	0
	人間生活学研究科	人間生活学専攻(博士前期)	5	4	1	1	0
		人間生活学専攻(博士後期)	2	2	0	3	0
大 学 院 合 計		11	7	3	4	1	
合 計		26	30	24	20	18	

(3) 修業年限を超えて在籍する学生数(平成31年4月1日現在)

(単位:人)

区 分		5年	6年	7年	8年以上	計
文化学部	文化学科	22	6	0	0	28
看護学部	看護学科	2	0	0	0	2
社会福祉学部	社会福祉学科	4	0	0	0	4
健康栄養学部	健康栄養学科	0	0	0	0	0
学 部 合 計		28	6	0	0	34

(単位:人)

区 分			3年	4年	5年	6年以上	計
大 学 院	看護学研究科	看護学専攻(博士前期)	0	0	0	0	0
		看護学専攻(博士後期)		2	3	2	7
		共同災害看護学専攻(博士)				1	1
	人間生活学研究科	人間生活学専攻(博士前期)	1	0	0	0	1
		人間生活学専攻(博士後期)		1	0	0	1
大 学 院 合 計			1	3	3	3	10

(4) 単位互換の状況

(単位:人)

大 学 名	派 遣		受 入	
	人数	科目数(延べ)	人数	科目数(延べ)
高知大学	5	11	0	0
高知短期大学	0	0	1	2
高知学園短期大学	0	0	0	0
高知工科大学	4	6	0	0
名古屋市立大学	0	0	1	1
放送大学	0	0	0	0
合 計	9	17	2	3

5 課外活動

(単位:人)

文化系 (令和2年3月31日現在)		体育系 (令和2年3月31日現在)		
団体名	部員数	団体名	部員数	
1	Sun-fes	38	FCソフィア	39
2	COME☆RISH	67	合気道部	3
3	CUBE	4	弓道部	10
4	news paper's	5	剣道部	4
5	people plus+	4	柔道部	6
6	Society For Everyone	22	準硬式野球部	31
7	イケあい地域災害学生ボランティアセンター	39	女子ソフトボール部	13
8	いけいけサロン活動	15	水泳部	8
9	いけとべ!	8	ソフトテニス部	2
10	裏千家茶道部(池)	9	ソフトバレーサークル	28
11	裏千家茶道部(永国寺)	12	太鼓部	11
12	映像研究会	4	バスケットボール部	29
13	エスコーターズ	11	バドミントン部	48
14	オーテピアンズ	17	バレーボールサークル	12
15	学祭実行委員会	74	バレーボール部(男子)	18
16	学生子ども保健室「ゆい」	16	バレーボール部(女子)	16
17	活輝創生実行委員会	18	陸上競技部	11
18	華道部	5		
19	雅楽サークル	3		
20	かるた部	5		
21	かんきもん	69		
22	グローカルクラブ	15		
23	軽音楽部RiOT	40		
24	国際交流クラブ	32		
25	こどもみらい塾	28		
26	こめっ娘。	54		
27	手話サークル	9		
28	吹奏楽部(池)	16		
29	吹奏楽部(永国寺)	18		
30	生協学生委員会n.a.s	6		
31	箏曲部	5		
32	図書館サークルLibe	6		
33	ハモ☆イケ	30		
34	美術部	5		
35	文芸部	7		
36	漫画研究部	18		
37	マンドリンクラブ	15		
38	薬物乱用防止啓発サークル「ダメ。ゼッタイ。」	14		
39	うーぐるconnect	5		
40	JELIE	7		
41	Aine Kline	9		
42	Squid ink	8		
43	Harmony of Music	6		
	43団体	798	17団体	289
60 団体		1087 人		

6 授業料等の納入状況

(1) 入学料・授業料

(単位:円)

区 分		入学検定料の額	入学料の額		授業料の額	
			県内生	県外生		
学 生	学 部	17,000 夜間主コース:10,000	141,000 夜間主コース:70,500	282,000 夜間主コース:141,000	年 額	535,800 夜間主コース:267,900
		編入:30,000 編入夜間主コース:18,000				
	大学院	30,000				
科目等履修生		4,900	14,100 夜間主コース:7,500	28,200 夜間主コース:14,100	1単位	14,800 夜間主コース:7,400
研 究 生		4,900	42,300	84,600	月 額 ※半期のみ負担	29,700

(2) 授業料免除状況①(経済的理由による免除、家計急変等特別な事情による免除)

区 分		学 部			大 学 院			合 計		
		半額免除	全額免除	合計	半額免除	全額免除	合計	半額免除	全額免除	合計
平成26 年度	免除者(人)	56	41	97	0	0	0	56	41	97
	免除額(円)	15,002,400	21,967,800	36,970,200	0	0	0	15,002,400	21,967,800	36,970,200
平成27 年度	免除者(人)	46	108	154	1	1	2	47	109	156
	免除額(円)	12,323,400	57,330,600	69,654,000	267,900	535,800	803,700	12,591,300	57,866,400	70,457,700
平成28 年度	免除者(人)	63	123	186	2	1	3	65	124	189
	免除額(円)	16,609,800	64,563,900	81,173,700	535,800	535,800	1,071,600	17,145,600	65,099,700	82,245,300
平成29 年度	免除者(人)	52	92	144	4	1	5	56	93	149
	免除額(円)	13,930,800	48,445,250	62,376,050	1,071,600	535,800	1,607,400	15,002,400	48,981,050	63,983,450
平成30 年度	免除者(人)	63	105	168	6	0	6	69	105	174
	免除額(円)	16,877,700	53,580,000	70,457,700	1,607,400	0	1,607,400	18,485,100	53,580,000	72,065,100
令和元 (平成31) 年度	免除者(人)	75	89	164	7	4	11	82	93	175
	免除額(円)	20,047,850	46,569,950	66,617,800	1,875,300	1,964,600	3,839,900	21,923,150	48,534,550	70,457,700

(3) 授業料免除状況②(成績優秀者に対する免除)

区 分		学 部			大 学 院			合 計		
		半額免除	全額免除	合計	半額免除	全額免除	合計	半額免除	全額免除	合計
平成28 年度	免除者(人)	10	12	22	-	-	0	10	12	22
	免除額(円)	2,679,000	6,161,700	8,840,700	-	-	0	2,679,000	6,161,700	8,840,700
平成29 年度	免除者(人)	11	12	23	-	-	0	11	12	23
	免除額(円)	2,946,900	5,893,800	8,840,700	-	-	0	2,946,900	5,893,800	8,840,700
平成30 年度	免除者(人)	12	12	24	-	-	0	12	12	24
	免除額(円)	3,036,200	5,893,800	8,930,000	-	-	0	3,036,200	5,893,800	8,930,000
令和元 (平成31) 年度	免除者(人)	12	12	24	-	-	0	12	12	24
	免除額(円)	2,812,950	6,429,600	9,242,550	-	-	0	2,812,950	6,429,600	9,242,550

※平成28年度制度開始、成績優秀による免除は平成31年度まで(令和2年度制度変更)

7 日本学生支援機構奨学金受給状況（令和2年3月1日現在）

【学部】

（単位：人、％）

区 分		文化学部	看護学部	社会福祉学部	健康栄養学部	合計
全学年	1種	195	104	114	56	469
	2種	101	79	48	32	260
	合計	296	183	162	88	729
	併用	23	16	10	8	57
	学生数	646	332	297	169	1444
	貸与率(%)	42.3	50.3	51.2	47.3	46.5
	他奨学金	1	11	24	2	38
1回生	1種	45	25	26	11	107
	2種	31	20	15	10	76
	合計	76	45	41	21	183
	併用	8	4	3	2	17
	他奨学金	0	2	7	1	10
2回生	1種	48	26	28	20	122
	2種	22	29	10	9	70
	合計	70	55	38	29	192
	併用	7	6	3	4	20
	他奨学金	0	2	9	1	12
3回生	1種	50	28	30	14	122
	2種	22	14	13	7	56
	合計	72	42	43	21	178
	併用	4	1	2	1	8
	他奨学金	0	3	6	0	9
4回生	1種	52	25	30	11	118
	2種	26	16	10	6	58
	合計	78	41	40	17	176
	併用	4	5	2	1	12
	他奨学金	1	4	2	0	7

※ 貸与率(%) = [(合計-併用)] / 学生数 * 100 ※※ 他奨学金：日本学生支援機構以外

【大学院】

（単位：人、％）

区 分		看護学研究科	人間生活学研究科	合計
全学年	1種	8	1	9
	2種	5	0	5
	合計	13	1	14
	併用	5	0	5
	学生数	62	17	79
	貸与率(%)	12.9	5.9	11.4
	他奨学金	0	0	0

8 卒業(修了)者状況

(1) 年次別卒業(修了)者数

(単位:人)

区 分		年 度	H27	H28	H29	H30	R1
学部	文化学部	文化学科	83	83	91	137	138
	看護学部	看護学科	85	82	80	82	82
	社会福祉学部	社会福祉学科	71	71	68	70	71
	健康栄養学部	健康栄養学部	40	41	41	42	41
	学 部 計		279	277	280	331	332
大学院	看護学研究科看護学専攻(博士前期)		14	14	10	16	11
	看護学研究科看護学専攻(博士後期)		3	1	3	1	6
	看護学研究科共同災害看護学専攻(博士)		/	/	/	1	2
	人間生活学研究科人間生活学専攻(博士前期)		12	15	5	13	7
	人間生活学研究科人間生活学専攻(博士後期)		4	10	2	0	2
	健康生活科学研究科健康生活科学専攻(博士後期)		1	/	/	/	/
	大 学 院 計		34	40	20	31	28
合 計		313	317	300	362	360	

(2) 令和元年度卒業生 就職状況

学科別産業別就職状況(令和2年5月末日現在)

(単位:人)

区 分	文化学部	看護学部	社会福祉学部	健康栄養学部	合計
	文化	看護	社会福祉	健康栄養	
卒業者数	138	82	71	41	332
進学・留学決定者数	3	3	0	3	9
就職希望なし	16	0	8	0	24
就職希望者数(A)	119	79	63	38	299
就職決定者数(B)	116	79	63	38	296
就職決定率(B)/(A)%	97.5%	100.0%	100.0%	100.0%	99.0%
農林水産業・鉱業					0 (0)
建設業	6 (1)				6 (1)
製造業	9 (4)			2	11 (4)
電気・ガス・水道業	1 (1)				1 (1)
情報通信業	9 (4)		1 (1)		10 (5)
運輸業、郵便業	5 (1)		1 (1)		6 (2)
卸売業、小売業	26 (7)		1 (1)	9 (7)	36 (15)
金融業、保険業	13 (12)				13 (12)
不動産業、物品賃貸業	2 (2)				2 (2)
学術研究、専門・技術サービス業	1				1 (0)
宿泊業、飲食サービス業	4			3 (1)	7 (1)
生活関連サービス業、娯楽業	6 (3)				6 (3)
教育、 学習支援業	学校教育	16 (5)	8 (4)	7 (2)	31 (11)
	学習支援				0 (0)
医療・福祉	医療・保健	1	59 (21)	23 (10)	94 (36)
	福祉・介護			26 (11)	26 (11)
複合サービス事業	6 (2)	1		2	9 (2)
サービス業 (他に分類されないもの)				1	1 (0)
公務	11 (7)	11 (3)	11 (5)	3	36 (15)
上記以外					0 (0)
合 計	116 (49)	79 (28)	63 (29)	38 (15)	296 (121)

注 ()内の数値は高知県内に就職した者
分類は日本標準産業分類による分類

6 総合情報センター

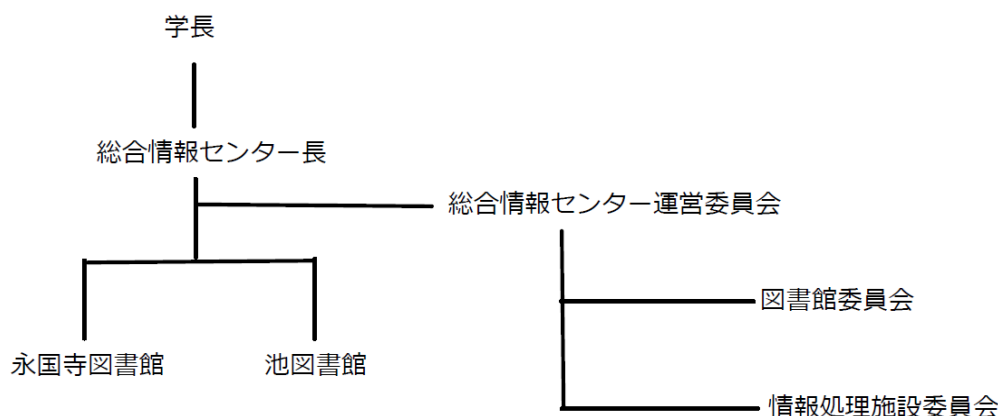
1 概要

総合情報センターがめざすもの

高知県立大学総合情報センター図書館及び高知短期大学総合情報センター図書館の管理、運営、図書館資料の収集、整理、保存、閲覧、調査及び情報処理施設の管理、運営を行い、教職員及び学生の情報処理に関する教育、研究の支援を行うとともに、地域社会の図書館活動及び学術情報システムの確立に協力し、地域の発展に寄与する。

2 組織・委員会

(1) 組織



(2) 委員会

ア 図書館委員会

委員会は、次の各号に掲げる事項を審議する。(図書館委員会細則第2条)

1. 図書館の整備計画及び維持管理に関すること。
2. 図書館の図書館資料の収集、利用、管理及び調査等に関すること。
3. 学術情報の電子化及び情報発信等に関すること。
4. 図書館の利用者教育に関すること。
5. 他の図書館等との連携に関すること。
6. その他図書館の運営に関し必要な事項。

イ 情報処理施設委員会

委員会は、次の各号に掲げる事項を審議する。(情報処理施設委員会細則第2条)

1. 情報処理施設及び設備(以下「情報処理施設等」という。)の整備計画及び維持管理に関すること。
2. 情報処理施設等の利用及び運用等に関すること。
3. 情報処理施設等の利用者教育に関すること。
4. 他の情報システムとの連携に関すること。
5. その他情報処理施設等の運営に関し必要な事項。

3 図書等受入状況

(単位:冊)

図書		永国寺	池	合計
和漢書	令和元(平成31) 年度受入数	907	1,047	1,954
	令和元(平成31) 年度除却等	0	-6	-6
	蔵書数 (R2年3/31現在)	132,479	84,946	217,425
洋書	令和元(平成31) 年度受入数	25	121	146
	令和元(平成31) 年度除却等	0	0	0
	蔵書数 (R2年3/31現在)	19,486	13,119	32,605
合計	令和元(平成31) 年度受入数	932	1,168	2,100
	令和元(平成31) 年度除却等	0	-6	-6
	蔵書数 (R2年3/31現在)	151,965	98,065	250,030

(単位:タイトル)

雑誌		永国寺	池	合計
和雑誌	令和元(平成31) 年度受入数	106	238	344
	令和元(平成31) 年度受入開始数	1	2	3
	令和元(平成31) 年度除却等	0	0	0
	蔵書数 (R2年3/31現在)	934	971	1,905
洋雑誌	令和元(平成31) 年度受入数	9	47	56
	令和元(平成31) 年度受入開始数	0	0	0
	令和元(平成31) 年度除却等	0	0	0
	蔵書数 (R2年3/31現在)	234	249	483
合計	令和元(平成31) 年度受入数	115	285	400
	令和元(平成31) 年度受入開始数	1	2	3
	令和元(平成31) 年度除却等	0	0	0
	蔵書数 (R2年3/31現在)	1,168	1,220	2,388

4 図書館利用状況

(単位:人、冊)

	永国寺	池	合計
入館者数	55,172	52,992	108,164
貸出人数	5,342	5,643	10,985
貸出冊数	8,898	12,726	21,624

5 学内 LAN 状況

(1) サーバ、ネットワークシステムの概要

ア サーバ

基幹サーバとして池・永国寺キャンパス及びデータセンターに仮想サーバ(3台)を運用している。

イ ネットワークシステム

池・永国寺キャンパスともにデータセンターからインターネットに繋がっており、永国寺キャンパスと池キャンパスは1Gbpsで接続されている。

両キャンパスともに有線・無線LAN環境が整備されている。

(2) 登録ID(教職員、学生、大学院生ごとの内訳)及び接続端末の総数

ア 登録ID総数 1,641名

教職員236名(教員 133名、事務職員 103名)

学生1,405名(学部 1,326名、大学院 79名)

イ 接続端末総数 約690台

永国寺キャンパス 約320台

池キャンパス 約370台

7 地域教育研究センター

地域教育研究センターは、本学が、社会に貢献する大学として、地域コミュニティに根ざし、また、未来を拓く「知の拠点」としての役割の強化並びに本学の教育理念である「地域社会志向教育」を実現するために、平成24年4月に設置された。

平成30年4月には、地域教育研究センターの部会を5部会から2部会へと再編し、共通教養教育及び、生涯学習を含む地域との連携事業の充実に取り組んでいる。

(1) 共通教育部会：共通教養教育の企画運営を行う。

(2) 地域連携部会：「知の拠点」としての役割の強化や「域学共生」の推進を図ることを目的に、高知県や市町村、地域団体との連携体制の強化を図り、県民の知の探究への支援事業及び地域の教育力向上のための活動を行う。

事業実施状況

【履修証明プログラム】

平成26年度から「履修証明プログラム」を開始している。6年目となる令和元年度は、高知県に関する歴史、文化、環境などについての知識や教養を高めいただくために「地域学プログラム」を実施し、2名の受講生が修了した。また平成28年度から、高齢者ケアのための職業実践力育成プログラム「多職種連携による保健福祉医療従事者の力量アップのための講座」も開始し、4年目の令和元年度は2名の受講生が修了した。

(1) 「地域学プログラム」科目一覧

授業科目	授業科目
必修科目	選択科目
地域学概論	土佐の歴史と文化
選択科目	土佐の経済とまちづくり
土佐学ゼミナール	文化政策論
土佐学フィールドワーク	災害と法
土佐の自然と暮らし	観光産業論
土佐の食と健康	観光企画論
自然災害と防災の科学	地域文化資源論Ⅰ
地方自治論	地域づくり論
地域社会と法文化	

(2) 「多職種連携による保健福祉医療従事者の力量アップのための講座」科目一覧

授業科目	授業科目
高齢者への福祉支援	生活習慣病の治療と予防チームアプローチⅠ
介護過程実践演習	チームアプローチⅡ
高齢者のフィジカルアセスメント	最新看護知識の実践への活用
認知症患者と家族への支援	高齢者福祉の現状と実践のための講座
高齢者の食生活と住環境	

【高知県立大学県民開放授業】

県民開放授業は、平成14年度後期から、文化学部の公開講座の一つとして始まった。平成25年度には、地域教育研究センターが「AERU県民公開授業」を開始した。

平成26年度からは、上記2つの事業を統合し、「高知県立大学県民開放授業」を実施している。

(1) 令和元年前期

延べ受講者数:50名

提供科目:17科目(文化学部専門科目 5科目、共通教養教育科目 12科目)

授業科目	受講者数	授業科目	受講者数
古典文学講読Ⅰ(永国寺)	3	法学(池)	1
古典文学基礎講読Ⅰ(永国寺)	3	科学と人間(永国寺)	3
日本文学概論(永国寺)	5	科学と人間(永国寺)	1
中国文学講読(散文)(永国寺)	5	基礎化学(池)	0
比較言語研究(永国寺)	5	地球の科学(永国寺)	4
社会秩序と法(永国寺)	3	環境と健康と安全(池)	2
NPO論(永国寺)	5	ビジネスリテラシー(永国寺)	0
対人関係とメンタルヘルス(永国寺)	4	情報リテラシー(永国寺)	3
法学(永国寺)	3		

(2) 令和元年後期

延べ受講者数:46名

提供科目:17科目(文化学部専門科目 7科目、共通教養教育科目 10科目)

授業科目	受講者数	授業科目	受講者数
近代文学講読(永国寺)	6	経済学(永国寺)	1
現代文学講読(永国寺)	6	環境と健康と安全(永国寺)	2
中国文学史(永国寺)	5	情報処理概論(永国寺)	4
文化と裁判(永国寺)	3	情報処理概論(池)	1
古典文学講読Ⅱ(永国寺)	3	健康とヘルスプロモーション(池)	1
古典文学基礎講読Ⅱ(永国寺)	3	対人関係とメンタルヘルス(池)	3
対照言語学(永国寺)	3	政治学(永国寺)	0
現代人権論(永国寺)	3	情報リテラシー(池)	1
現代人権論(池)	1		

【高大連携事業】

(1) 小、中、高等学校への出前講座

学問に対する興味・関心を高め、大学で学ぶことの魅力や楽しさについて知っていただくことを目的に、高知県内の小・中・高等学校の児童、生徒を対象に、出前講座を実施している。

延べ受講者数:839名

実施校名	実施日	対象者	受講者数
土佐女子中学高等学校	6/19	高校1・2年生	192
香南市立夜須小学校	6/22	4年生	27
高知県立中村高等学校	7/31	1～3年生	24
高知商業高等学校	8/26	2年生	36
高知県立山田高等学校	10/2	2年生	36
高知県立安芸高等学校	10/17	2年生	41
高知県立高知北高等学校	10/17	1年生	12
高知学芸高等学校	10/25	1年生	40
高知市立三里中学校	11/8	全校生徒	241
高知県立宿毛高等学校	12/18	2年生	34
土佐女子中学高等学校	2/19	中学3年生	156

(2) 高校生のための公開講座

高校生が、大学の教育・研究に触れ、学問に対する興味・関心を深め、学びの楽しさについて知っていただくことを目的に実施している。

延べ受講者数:395名

	内容	実施日	対象者	受講者数
県大立志塾 2019	第1回「高知県の地域課題をどう認識するか」	6/8	高校生	116
	第2回「災害時の避難所運営について」	7/20		69
	第3回「平成の龍馬求む！『高知県の課題解決へむけた福祉の取組を土佐の山間から発信』」	9/21		53
	第4回「小さな社会の生活圏－中山間と島嶼から考える」	10/19		60
	第5回「地域福祉とデザイン」	12/7		27
	第6回「人生100年時代がやってくる！人生会議ってなに？」	2/1		60
環境を化学的視点から捉える実験講座	「手を動かして見て測って考える化学実験講座」 第1回「マイクロスケール化学実験入門」	8/24	高校1・2年生	2
	「手を動かして見て測って考える化学実験講座」 第2回「電池のしくみと起電力」	8/25		2
	「溶ける？溶けない？を調べる化学実験講座」 第3回「金・銀・銅を溶かす」	8/31		3
	「溶ける？溶けない？を調べる化学実験講座」 第4回「金属を溶かしたり沈殿させて分離する」	9/1		3
	「光と色の理科実験講座」 第5回「簡易分光器の制作といろいろな光源の分光観察」	1/10		-
	「光と色の理科実験講座」 第6回「周期的に色変化する化学反応」	1/11		-

【地域教育研究センター主催公開講座】

「知の拠点」として、県民を対象とした公開講座を随時開催している。

延べ受講者数:153名

内容・講師	実施日	対象者	受講者数
シンポジウム「新元号『令和』の典拠を考える －万葉集の散文学－ 奈良大学 教授 上野 誠 氏	10/26	一般	91 (※1)
「人間の欲求・欲望から考える観光的価値と地域づくり」 跡見学園女子大学観光コミュニティ学科 教授 安島 博幸 氏	11/23	一般	62

【第36回「本山町・高知県立大学・高知短期大学公開講座」協定書に基づく公開講座】

平成26年度までは高知短期大学と本山町で開催されていた生涯学習事業に、平成27年度からは本学が加わり、高知短期大学、本山町との三者協定により開催している。

延べ受講者数:218名(第7回講座除く)

	「夜學」全12回 講座内容	実施日	対象者	受講者数
1	開校式 中山間地域の訪問看護-地域でのしまい方-	5/28	本山町民 他	24
2	老いと日常生活	6/20	本山町民 他	27
3	認知症を知り、地域づくりをはじめよう	7/18	本山町民 他	29
4	住み慣れた嶺北で最期まで暮らすために ～在宅看護の視点から～	8/23	本山町民 他	27
5	出産・子育てと健康	9/17	本山町民 他	20
6	ことばの楽しさ、面白さ －日本語から見た英語、英語から見た日本語－	10/10	本山町民 他	27
7	「新元号『令和』の典拠を考える －万葉集の散文学－」 (人数は地域教育研究センター主催公開講座(※1)に含む)	10/26	本山町民 他	-
8	生活の中の法律	11/22	本山町民 他	13
9	心理学ワールド	12/12	本山町民 他	16
10	食物アレルギー～一生食べられないの？	1/8	本山町民 他	17
11	体内時計と食事	2/7	本山町民 他	18
12	閉校式 高知にある良いコト・モノ	3/19	本山町民 他	中止

【立志社中】

平成25年度から、地域の課題解決に主体的に取り組む学生を大学として支援する「立志社中」をスタートさせている、令和元年度は、8件のプロジェクトを採択し支援した。

また、次年度に立志社中を目指すグループへの支援として、新規事業「立志のたまご」を創設し、3件のプロジェクトを採択し支援した。

(1) 令和元年度採択プロジェクト「立志社中」

プロジェクト名	チーム名	交付額(利息含) [執行額]
健援隊プロデュース緊急時対応プロジェクト	Alfaチーム健援隊	61,144 円 [17,353 円]
健援隊プロデュース神池プロジェクト	Bravoチーム健援隊	2,562円 [2,562円]※1
健援隊プロデュース小児健康推進プロジェクト	Charlieチーム健援隊	0円 [0円]※2
池地域まるごとサロン活動	いけいけサロン活動	104,256円 [56,288円]
それいけ！大野見エコ米～No Rice, No Life～	COME☆RISH	299,066円 [191,398円]
子どもの居場所づくり	☆こどもみらい塾☆	113,944円 [19,432円]
地域住民の「やりたい」を応援する	Pシスターズ	199,396円 [53,555円]
みんなで支えあう「共生社会」を目指して	かんきもん	170,000円 [164,087円]

(2) 令和元年度採択プロジェクト「立志のたまご」

プロジェクト名	チーム名	交付額(利息含) [執行額]
鵜来島を無人島にしない可能性を探る	うーぐるconnect	50,000 円 [50,000 円]
われらの希望 しこくの理想	Aine kleine	44,540円 [22,056円]
在留外国人と交流を通して、課題を一緒に解決のため取り組む	グローバルクラブ	40,340円 [3,447円]

(3) 外部資金獲得状況(令和元年度採択プロジェクト※1・※2の活動費として採択)

補助金名／補助団体名	プロジェクト名／チーム名	交付決定額 [実績額]
香美市学生地域活動支援 事業費補助金／香美市	健援隊プロデュース神池プロジェクト ／Bravoチーム健援隊	444,204 円 [327,600 円]
南国市学生まちづくり協働 事業費補助金／南国市	健援隊プロデュース小児健康推進プロジェクト ／Charlieチーム健援隊	246,141円 [181,999円]

(4)その他実施事業

事業名		実施時期	詳細
プレゼンテーション 及び審査会	立志社中	5/26	応募のあった8件のプロジェクトについて、プレゼンテーション及び審査会を実施し、採択プロジェクトを決定した。
	立志のたまご	前期 6/8 後期10/21	応募のあった3件のプロジェクトについて、書面及び面接審査を実施し、採択プロジェクトを決定した。
中間報告会		11/10	各チームがプロジェクトの進捗状況を発表し、審査委員からの助言を得たり、や他チームの活動を知ることで、後半の活動のレベルアップを図る機会として実施した。
交流会		11/10	中間報告会後に、学生・卒業生・教職員、を交え開催。卒業生による特別講演も開催し、情報共有や意見交換を行った。
第1回スキルアップセミナー 「プレゼン力向上講座 -未来に必要なプレゼン力とは」 ファシリテーター:川村 晶子 氏		10/6	急速に変化している社会を意識した伝え方や論理的なプレゼンの設計など学び、ワークショップを行って理解を深めた。
第2回スキルアップセミナー 「地域と学生『志』立ちゅう？」 ファシリテーター:和田 剛 氏		2/21	各グループが取り組んできたこれまでの活動内容を振り返り、ワークショップを行って次年度の活動計画を検討した。
活動成果報告会・ポスターセッション		3/8 (中止)	各プロジェクトの活動を評価し、成果や課題を共有することを目的として開催。

【令和元年度全国公立大学学生大会 LINKtopos 2019 in Kochiへの参加】

公立大学学生ネットワーク主催の「LINKtopos 2019 in Kochi」が高知県黒潮町で開催された。今年度で7回目となるLINKtoposは、「防災・減災」をテーマに、高知県黒潮町の高知県立幡多青少年の家や大方あかつき館等を会場に、全国の30公立大学から141名の学生・教職員が参加し、本学の立志社中グループ等からも6名が参加した。

テーマ:「共創～それぞれの一步先に～」

日時:令和元年9月3日(火)～5日(木)

場所:高知県立幡多青少年の家ほか

【コミュニティサービスラーニング(CSL)サポートデスク】

地域の抱える課題を認識し、課題解決への関心を高めた学生が、専門的な知識や技術など大学での学びの成果を活かして、域学共生の理念に基づき、ボランティア活動を行うコミュニティサービスラーニングを支援することを目的とするための窓口として、平成28年度に設置された。

延べ参加者数:50名

概要	受入先	件数	参加学生数
小・中学校での学習支援	津野町教育委員会(夏季・春季)	2	19
〃	安芸市・安芸市教育委員会(夏季・春季)	2	8
〃	三原村教育委員会(夏季)	1	5
小津高校SSH事業課題研究TA	高知県立高知小津高等学校	1	10
しらいしスクール(夏休み編)	白石地区活性化検討委員会	1	2
児童クラブ出前授業	こうち生活共同組合	1	3
ボランティアガイダンス2019	高知県ボランティア・NPOセンター 高知市市民活動サポートセンター	1	1
中学3年生への学習支援	須崎市立朝ヶ丘中学校	1	2

【包括連携協定】

(1) 新規連携協定

令和元年度は、新たに公立大学と包括連携協定を締結し、連携事業を行った。

① 締結団体

令和2年2月14日 協定締結 名桜大学

② 連携協定における連携事項

- ・教職員の交流に関すること
- ・学生の教育・交流に関すること
- ・教職員間の研修・研究協力に関すること
- ・その他、両大学の協議により有益と認められる諸活動に関すること

(2) 継続団体との連携

団体名	事業名	期間	概要	参加者等
香美市	香美市学生地域活動 支援事業費補助金	交付日 ～3/6	香美市で地域活動をしている学生団体に対して、補助金を交付し、学生の地域活動を支援する	健援隊 Bravoチーム
安芸市	学習支援 ボランティア	9/2～6 9/9～9/13 2/19～2/28	CSLサポートデスク (再掲)	
津野町	学習支援 ボランティア	8/26～8/30 9/2～9/6 2/25～2/28	CSLサポートデスク (再掲)	
津野町	津野町町民運動会 学生ボランティア	10/13	運動会当日の準備、競技参加等の学生ボランティア	
三原村	学習支援 ボランティア	8/26～8/30	CSLサポートデスク (再掲)	

【協力団体との連携強化に向けた取り組み】

連携の強化に向けて、高知県や市町村、学生受入団体等との情報交換を定期的に行っている。

内 容	開催時期
連携推進会議(包括連携協定の締結自治体・高知県立大学)	11/28
域学共生連携拡大会議 (県内地方公共団体及び関係団体・企業等・高知県立大学)	9/12

8 健康長寿センター

健康長寿センターは、本学の学部が連携して、地域の人々の健康長寿の推進および健康長寿社会の構築に貢献する専門職者の最新の知識や技術の向上に努めることを目的として、平成22年4月に設置された。

センターは、平成30年度に改めて活動ポリシー(次表)をまとめ、5つの活動を行っている。

【活動状況】

活動ポリシー	内 容	回数	実施時期	参加数 (人)	対象者・参加者
高知県民の皆様 に対し健康長寿を 啓発する活動 (域学共生)	高知県立大学健康長寿センター開設10周年記念事業 「認知症になっても安心して住み続けられる高知家づくり」	1	11/2	195	一般県民
	健康長寿体験型セミナー in 大川村 「災害時に生きてくる日常生活の工夫～食事と運動～」	1	6/12	60	大川村住民
	健康長寿体験型セミナー in 馬路村 「認知症になっても住み慣れた地域でいきいきと暮らせる村づくり」	1	10/23	28	馬路村住民
	健康長寿体験型セミナー in 田野町 「認知症になっても安心して暮らし続けられる町づくり」	1	11/8	48	田野町住民
	健康長寿体験型セミナー in いの町 「つながりの大切さ～認知症予防と防災の事例から～」	1	12/2	30	いの町住民
	土佐市連携事業 「とさっ子健診プロジェクト」	5	通年	164	土佐市の小学5年 生、中学2年生
	土佐市連携事業 「土佐市地域ケア会議推進プロジェクト」	13	通年		土佐市職員・土佐市 保健医療福祉関係者
	土佐市連携事業 「子育て支援事業 土佐市両親学級」	1	2/2	22	土佐市在住の初産婦 とその家族
	「第11回みさとフェア」への参画	1	11/17	150以上	三里地区住民
	健康長寿文庫(令和元年度128冊収蔵)		通年		一般県民
高知県の医療・健 康・福祉政策課題 を解決する活動	高知県中山間地域等訪問看護師育成講座 ～令和元年度訪問看護スタートアップ研修～		通年	20	訪問看護ステーション に勤務する新任・ 新卒訪問看護師及び 病院などに勤務する 看護師
	高知県介護職員略痰吸引等研修事業	5	7/18-7/19 10/19-10/20 12/7-12/8 2/13-2/14 3/9	19	介護福祉士、介護職 員、特別支援学校教 員、保育士等、特定 の者に対してたんの 吸引等の行為を行う 必要がある者
	入退院支援事業		通年	1,316	県内病院・施設・福 祉保健所・地域包括 支援センター・居宅 支援事業所等
	高知県キャリア教育推進事業 集合型研修「県大生と行く職場見学ツアー」	1	7/27	50	高校生と保護者
	高知県キャリア教育推進事業 集合型研修「卒業生と行く職場見学ツアー」	1	9/29	32	高校生と保護者
	高知県キャリア教育推進事業 集合型研修「高校生と保護者のための公開講座」	1	10/26	114	高校生と保護者
	高知県キャリア教育推進事業 集合型研修「新2・3年生のための入門講座」	-	3/23	コロナ 中止	高校生と保護者及び 高校教員
	高知県キャリア教育推進事業 訪問型講座	7	10/21(3校)・10/23・ 10/24・10/28(2校)	99	高校生・高校教員
糖尿病保健指導連携体制構築事業		通年	265	モデル基幹病院の看 護師	

活動ポリシー	内 容	回数	実施時期	参加数 (人)	対象者・参加者	
高知医療センターとの包括的連携を推進する活動	医療コンフリクト・マネジメント研修 ～苦情発生時における初期対応のヒント～	1	9/28	42	高知医療センター職員・高知県立大学教職員・大学院生	
	高知医療センター地域医療連携研修会の合同開催 「人生の最終段階における医療について」	1	2/9	75	一般県民・医療介護従事者・行政・学生	
	子育て支援事業 「赤ちゃん同窓会」	1	10/20	86	NICUに入院経験のある子どもとその家族	
	教員による若手看護師のキャリア・サポート 「専門職としてのキャリア・デザイン」	1	11/12	16	高知医療センターの看護基礎教育卒業後10年未満程度の看護師	
	病院前妊産婦救護に関するシミュレーションコース BLSO in 高知	3	9/29・2/8・2/9	99	高知県内の救急隊員、医師、看護師	
	専門職者のキャリアサポート 「認知症高齢者の理解に基づく急性期看護ケアの実際～アセスメントから効果ありのケアを導こう！～」	3	9/27・10/30・2/7	51	看護師、修了生、大学院生、高知県立大学教員他	
	慢性疾患を有する患者対象の料理教室	1	12/7	23	慢性腎臓病治療中患者及びその家族等	
	高知医療センター連携先医療機関における診療情報一覧作成		通年	6	高知医療センター登録医	
高知県内の医療・健康・福祉専門職者のスキルアップに資する活動	専門職者対象の公開講座 第1回 新人・復職間もない看護職者の方々への 「基本から学ぶフィジカルアセスメント」	1	10/5	9	新人・復職間もない看護職者	
	専門職者対象の公開講座 第2回 「妊娠期から始める児童虐待予防～事例を用いて、社会的ハイリスク妊婦への対応を一緒に考えよう～」	1	11/9	16	医療・保健・福祉関係者	
	リカレント教育講座 看護学部精神看護リカレント教育 (高知県西部地区精神科看護研修会) 「行動制限最小化に向けて私たちができること」	1	6/22	54	高知県西部地区の精神科医療従事者	
	リカレント教育講座 社会福祉学部リカレント教育講座 「知のフィールドへの招待2019」 第1回「ピアサポートとは～宝物としてのがん体験から～」	1	10/26	12	社会福祉従事者・医療従事者、事務職員、一般の方	
	リカレント教育講座 社会福祉学部リカレント教育講座 「知のフィールドへの招待2019」 第2回「高知県における権利擁護支援の現状」	1	11/30	14	社会福祉従事者、一般の方	
	リカレント教育講座 社会福祉学部リカレント教育講座 「知のフィールドへの招待2019」 第3回「介護現場でのコミュニケーションを考える～チームケアの向上に向けて～」	1	12/7	25	介護福祉従事者、医療従事者	
	リカレント教育講座 社会福祉学部リカレント教育講座 「知のフィールドへの招待2019」 第4回「「変えられない」は変えられる!? ～「諦め」の先にある可能性を求めて～」	1	12/21	15	社会福祉従事者、一般の方	
	新任保健師採血技能向上研修	1	5/20	15	これから採血業務を担当する福祉保健所保健師	
	高知県新任保健師研修会	プリセプター能力育成研修	1	5/7	271	高知県・県内市町村に所属する1～4年目の保健師
		1年目研修	2	8/6・11/7		
2年目研修		2	6/14・12/20			
3年目研修		2	7/25・12/17			
4年目研修		2	6/24・2/7			
新任期行政栄養士研修	2	7/12・12/6	8	高知県・県内市町村に所属する1年目の管理栄養士		

活動ポリシー	内 容	回数	実施時期	参加数 (人)	対象者・参加者
高知県の健康長寿 を研究する活動	「シミュレーション教育事例検討会」	2	10/20・12/14	34	高知県立大教員、高知医療センター職員、医療者教育に従事する方
	災害に強い専門職育成事業 ～地域特性に対応した災害対策研修プログラム開発～		通年	306	県内救護病院のBCP策定委員及び病棟・外来スタッフ
	地域ケア会議 コンサルテーション事業	2	9/17・12/17		市町村の介護保険担当課、地域包括支援センター及び地域ケア会議参加者
	とこずれ相談	2	通年		医療従事者

9 健康管理センター

【健康管理センター利用状況】

(単位:件、人)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
池キャンパス	内科	22	33	12	36	17	2	22	31	19	36	10	2	242
	外科	6	18	24	22	5	1	10	11	2	4	6	0	109
	婦人科	1	11	12	16	0	8	18	10	3	1	0	0	80
	メンタルヘルス	78	115	136	186	55	59	121	115	77	94	75	29	1,140
	健診フォロー	116	16	46	9	4	9	0	5	0	0	1	0	206
	その他	129	130	94	51	13	17	53	68	23	47	35	48	708
	合計件数	352	323	324	320	94	96	224	240	124	182	127	79	2,485
	合計人数	274	229	231	227	54	71	163	188	92	141	96	72	1,838
永国寺キャンパス	内科	1	11	8	7	1	4	9	10	2	13	4	1	71
	外科	2	4	5	11	1	2	1	1	2	3	2	0	34
	婦人科	2	3	20	2	6	2	2	45	2	6	5	0	95
	メンタルヘルス	52	62	55	96	43	49	110	90	73	94	54	47	825
	健診フォロー	91	278	239	71	22	2	22	1	1	0	0	0	727
	その他	151	116	77	87	26	10	134	45	16	35	31	26	754
	合計件数	299	474	404	274	99	69	278	192	96	151	96	74	2,506
	合計人数	257	386	372	246	84	50	234	154	72	109	73	48	2,085
総計	合計件数	651	797	728	594	193	165	502	432	220	333	223	153	4,991
	合計人数	531	615	603	473	138	121	397	342	164	250	169	120	3,923

【精神科医師によるメンタルヘルス相談】

(単位:件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
池キャンパス	3	2	5	4	/	2	4	6	4	2	5	1	38
永国寺キャンパス	0	1	0	1	/	2	2	2	2	1	2	/	13
合計件数	3	3	5	5	0	4	6	8	6	3	7	1	51

【カウンセラーによるメンタルヘルス相談】

(単位:件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
池キャンパス	2	7	6	8	3	6	11	12	7	9	9	2	82
永国寺キャンパス	6	7	9	9	5	4	7	8	10	7	7	4	83
合計件数	8	14	15	17	8	10	18	20	17	16	16	6	165

【産婦人科医師及び助産師による婦人科相談】

(単位:件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
池キャンパス	/	1	1	2	/	/	1	1	/	/	/	/	6
永国寺キャンパス	/	/	2	/	/	/	/	3	/	/	1	/	6
合計件数	/	1	3	2	/	/	1	4	/	/	1	/	12

【健康教育講座】

	テーマ	講師	日時	場所	参加者数 (参加率)	主な対象学年
1	大学生のメンタルヘルス について	高知大学保健管理 センター医学部分室 精神科医師 澁谷 恵子先生	6月19日	池 キャンパス	149名 (42.1%)	1回生
			6月28日	永国寺 キャンパス		
2	女性の健康とからだについて ～自分やパートナーのからだ をまもるために～	独立行政法人国立 病院機構 高知病院 婦人科医師 木下 宏実先生	11月7日	池 キャンパス	68名 (19.3%)	
			11月21日	永国寺 キャンパス		

【定期健康診断】

①実施内容一覧

月日	4月5日(金)	月日	4月8日(月)
場所 (時間)	池キャンパス (8時50分～16時30分)	場所 (時間)	池キャンパス (8時50分～16時30分)
対象者	看護学部1、4回生 社会福祉学部1、4回生 健康栄養学部1、4回生 人間生活学研究科	対象者	看護学部2、3回生 社会福祉学部2、3回生 健康栄養学部2、3回生 看護学研究科
健診項目	胸部レントゲン撮影 検尿 身体計測 医師の診察 貧血検査 <感染症血液検査:一部学生> ※B型肝炎抗原抗体検査 看護学部1回生 社会福祉学部1回生、4回生の一部 健康栄養学部1回生 ※4種感染症 ^{※1} 抗体検査 ^{※1} 麻疹、風疹、水痘、流行性耳下腺炎 看護学部1回生 社会福祉学部1回生、4回生の一部 健康栄養学部1回生	健診項目	胸部レントゲン撮影 検尿 身体計測 医師の診察 貧血検査 <感染症血液検査:一部学生> ※B型肝炎抗体検査 看護学部2、3回生の一部 看護学研究科3回生の一部 ※B型肝炎抗原抗体検査 健康栄養学部2回生 看護学研究科1回生 ※4種感染症 ^{※1} 抗体検査 ^{※1} 麻疹、風疹、水痘、流行性耳下腺炎 看護学研究科1回生
		月日	4月9日(火)
		場所 (時間)	永国寺キャンパス (8時50分～16時30分)
		対象者	文化学部1～4回生(夜間主を含む) 人間生活学研究科
健診項目	胸部レントゲン撮影 検尿 身体計測 医師の診察 貧血検査 <感染症血液検査:一部学生> ※4種感染症 ^{※1} 抗体検査 ^{※1} 麻疹、風疹、水痘、流行性耳下腺炎 文化学部3回生の一部		

※印の内容は、施設実習のために必要な項目であり、健康診断時に併せて実施した。

上記実施日に健診できなかった学生に対しては、委託施設にて実施した。

②学年・学科別学部生 健康診断受診状況

学年	学 科	対象者数	胸部間接撮影		内科診察		尿検査		貧血検査	
			受検者数	受検率(%)	受検者数	受検率(%)	受検者数	受検率(%)	受検者数	受検率(%)
1	文 化	158	156	98.7%	156	98.7%	156	98.7%	156	98.7%
	昼(再掲)	128	128	100.0%	128	100.0%	128	100.0%	128	100.0%
	夜(再掲)	30	28	93.3%	28	93.3%	28	93.3%	28	93.3%
	看 護	82	82	100.0%	82	100.0%	82	100.0%	82	100.0%
	社会福祉	75	75	100.0%	75	100.0%	75	100.0%	75	100.0%
	健康栄養	43	43	100.0%	43	100.0%	43	100.0%	43	100.0%
2	文 化	160	152	95.0%	152	95.0%	151	94.4%	152	95.0%
	昼(再掲)	132	129	97.7%	129	97.7%	128	97.0%	129	97.7%
	夜(再掲)	28	23	82.1%	23	82.1%	23	82.1%	23	82.1%
	看 護	83	83	100.0%	83	100.0%	83	100.0%	83	100.0%
	社会福祉	74	73	98.6%	73	98.6%	73	98.6%	73	98.6%
	健康栄養	44	44	100.0%	44	100.0%	44	100.0%	44	100.0%
3	文 化	142	136	95.8%	136	95.8%	136	95.8%	136	95.8%
	昼(再掲)	114	110	96.5%	110	96.5%	110	96.5%	110	96.5%
	夜(再掲)	28	26	92.9%	26	92.9%	26	92.9%	26	92.9%
	看 護	82	82	100.0%	82	100.0%	82	100.0%	82	100.0%
	社会福祉	71	71	100.0%	71	100.0%	71	100.0%	71	100.0%
	健康栄養	40	40	100.0%	40	100.0%	40	100.0%	40	100.0%
4	文 化	164	154	93.9%	154	93.9%	154	93.9%	154	93.9%
	昼(再掲)	140	133	95.0%	133	95.0%	133	95.0%	133	95.0%
	夜(再掲)	24	21	87.5%	21	87.5%	21	87.5%	21	87.5%
	看 護	82	82	100.0%	82	100.0%	82	100.0%	82	100.0%
	社会福祉	75	74	98.7%	74	98.7%	74	98.7%	74	98.7%
	健康栄養	41	41	100.0%	41	100.0%	41	100.0%	41	100.0%
合 計		1,416	1,388	98.0%	1,388	98.0%	1,387	98.0%	1,388	98.0%
前年度		1,403	1,382	98.5%	1,382	98.5%	1,382	98.5%	1,382	98.5%

※受検率は、在籍数から休学者・留学中・中途退学者および健診免除者を除いた人数(対象者)を分母としたものである。

※3か月以内に医療機関等で胸部レントゲン撮影をしている学生は、撮影済みとみなした。

③大学院生 健康診断受診状況

学年	研究科	対象者数	胸部間接撮影		内科診察		尿検査		貧血検査		
			受検者数	受検率(%)	受検者数	受検率(%)	受検者数	受検率(%)	受検者数	受検率(%)	
1	看護学	14	13	92.9%	14	100.0%	14	100.0%	14	100.0%	
	(再掲)	前期課程	13	12	92.3%	13	100.0%	13	100.0%	13	100.0%
		後期課程	0								
		DNGL	1	1	100.0%	1	100.0%	1	100.0%	1	100.0%
	人間生活学	3	3	100.0%	3	100.0%	3	100.0%	3	100.0%	
	(再掲)	前期課程	3	3	100.0%	3	100.0%	3	100.0%	3	100.0%
後期課程		0									
2	看護学	15	14	93.3%	14	93.3%	14	93.3%	14	93.3%	
	(再掲)	前期課程	13	12	92.3%	12	92.3%	12	92.3%	12	92.3%
		後期課程	0								
		DNGL	2	2	100.0%	2	100.0%	2	100.0%	2	100.0%
	人間生活学	4	4	100.0%	4	100.0%	4	100.0%	4	100.0%	
	(再掲)	前期課程	4	4	100.0%	4	100.0%	4	100.0%	4	100.0%
後期課程		0									
3	看護学	8	3	37.5%	3	37.5%	3	37.5%	3	37.5%	
	(再掲)	後期課程	5	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
		DNGL	3	3	100.0%	3	100.0%	3	100.0%	3	100.0%
	人間生活学(後期課程)	0									
4	看護学(DNGL)	1	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
5	看護学(DNGL)	3	3	100.0%	3	100.0%	3	100.0%	3	100.0%	
合計		48	40	83.3%	41	85.4%	41	85.4%	41	85.4%	
前年度		56	43	76.8%	44	78.6%	44	78.6%	44	78.6%	

※受検率は、在籍数から休学者および健診免除者を除いた人数(対象者)を分母としたものである。

※3か月以内に医療機関等で胸部レントゲン撮影をしている学生は、撮影済みとみなした。

【学生精神的健康調査(UPI調査)】

- ・ 対象者 : 全学部生(文化学部編入生を含む)
ただし、休学中の学生及び科目履修生、外国人留学生(1年未満)、特別聴講学生、委託生、研究員、留学中の学生は除く。
- ・ 調査実施期間 : 平成31年4月5日(金)～4月9日(火)
- ・ 実施方法 : 1回生はガイダンス時に、文化夜間主1回生と2～4回生は定期健康診断時に実施。
健康診断未受診者は健康管理センター来所時に実施。

学部	学年	学生数	実施数	実施率
看護学部	1	82	82	97.6%
	2	83	82	98.8%
	3	82	82	100.0%
	4	83	82	98.8%
社会福祉学科部	1	73	73	100.0%
	2	73	71	97.3%
	3	75	75	100.0%
	4	72	71	98.6%
健康栄養学部	1	45	45	100.0%
	2	40	40	100.0%
	3	41	40	97.6%
	4	42	42	100.0%
池キャンパス小計		793	785	99.0%
文化学部	1	137	137	100.0%
	2	125	119	95.2%
	3	130	127	97.7%
	4	131	118	90.1%
文化学部 (夜間主)	1	31	27	87.1%
	2	29	25	86.2%
	3	26	21	80.8%
	4	34	21	61.8%
永国寺キャンパス小計		643	595	92.5%
合計		1,436	1,380	96.1%

10 国際交流

1 正規学生(留学生)数の推移

区分	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)
大学院	0	1	3	6	7
学部	4	7	10	9	9
計	4	8	13	15	16

2 協定校数の推移

年	～2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)
協定校数	8	12	12	14	16

3 協定校一覧

大学名	国名	締結年月
開南大學	台湾	2019年11月
弘光科技大學	台湾	2019年 4月
ワシントン大学継続教育部	アメリカ	2018年10月
インドネシア大学	インドネシア	2018年 9月
アンダラス大学	インドネシア	2017年 2月
ウボンラーチャタニ大学	タイ	2016年12月
慶南科學技術大學校	韓国	2016年11月
木浦大學校	韓国	2016年10月
ガジャマダ	インドネシア	2013年11月
カリフォルニア大学サンフランシスコ校	アメリカ	2012年11月
ヴェネチア カ・フォスカリ大学	イタリア	2011年12月
カリフォルニア州立大学ノースリッジ校	アメリカ	2008年 7月
文藻外語大學	台湾	2007年 1月
北京聯合大学旅游学院	中国	2006年11月
エルムズカレッジ	アメリカ	1998年10月

4 協定大学への派績実績

協定大学	2016(平成28)年度			2017(平成29年度)			2018(平成30)年度			2019(令和元)年度		
	短期	長期	教職員	短期	長期	教職員	短期	長期	教職員	短期	長期	教職員
エルムズカレッジ	9	1	1	10	1	3	15	2	3	8	0	1
北京聯合大学旅游学院	0	1	0	0	0	0	0	2	0	0	2	0
文藻外語大學	0	2	0	3	2	1	4	2	1	6	2	1
ヴェネチア カ・フォスカリ大学	4	0	1	4	0	1	3	0	1	6	0	1
ガジャマダ大学	2	0	3	6	0	2	5	0	2	0	0	0
インドネシア大学	0	0	0	0	0	0	5	0	2	0	0	0
サバ大学	9	0	1	12	0	5	2	0	1	0	0	0
慶南科學技術大學校				4	0	1	3	0	1	2	2	1
木浦大學校				7	0	1	0	1	2	7	2	1
弘光科技大學										2	0	1
アンダラス大学				0	0	0	0	0	0	0	0	1
ウボンラーチャタニ大学				4	0	0	0	0	0	0	0	0
計	24	4	6	50	3	14	37	7	13	31	8	7

5 協定大学からの受入実績

協定大学	2016(平成28)年度			2017(平成29年度)			2018(平成30)年度			2019(令和元)年度		
	短期	長期	教職員	短期	長期	教職員	短期	長期	教職員	短期	長期	教職員
エルムズカレッジ	0	1	0	6	0	2	/	/	/	9	0	2
北京聯合大学旅游学院	0	1	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0
文藻外語大學	0	2	0	0	2	1	0	2	0	0	2	0
ヴェネチア カ・フォスカリ大学	9	0	0	10	0	0	9	0	0	9	0	0
ガジヤマダ大学	6	0	4	5	0	3	0	0	0	8	0	1
インドネシア大学	/	/	/	/	/	/	0	0	0	0	0	0
サバ大学	5	0	1	0	0	0	5	0	1	7	0	0
慶南科學技術大學校	/	/	/	10	0	2	14	1	4	15	1	2
木浦大學校	/	/	/	7	0	0	0	0	0	10	0	1
弘光科技大學	/	/	/	/	/	/	/	/	/	17	0	2
アンダラス大学	/	/	/	2	0	2	0	0	0	0	0	0
計	20	4	5	40	4	10	28	5	5	75	5	8

6 外国人学生に対するプログラム

(1) 協定校からの受入

プログラム名	対象大学	受入数(人)
国際日本学プログラム	ヴェネチア カ・フォスカリ大学	9
エルムズカレッジ短期プログラム	エルムズカレッジ	9
夏期日本語集中プログラム	慶南科學技術大學校	5
冬期日本語・日本文化プログラム	慶南科學技術大學校	10
木浦大學校日本語学科受入プログラム	木浦大學校	10

(2) 協定校以外からの受入

事業名	機関	実施期間	受入数(人)
JICA日系社会研修 「言語と文化の継承と教育技術向上実践」	独立行政法人 国際協力機構	2019年5月17日～6月12日	1 (ペルー)

7 海外機関との共同研究・教育事業支援

講義名	講師	実施日	対象者	参加数(人)
大学院特別講義 Diversity and Culultural Competency for Health Care and Social Work Professionals	Prof. Joyce Hampton, Ed.D. (Dean of Student Success and Strategic Initiatives) Alaina Macaulay, PhD. (Director of Diversity and Inclusion)	5/29	大学院・教職員	45
国際理解・学術交流懇話会 「江戸時代の挑戦通信使と日本学 士の交流-水足安直『航海献酬録』 を中心に-」	朴 賛基 教授 木浦大學校日本語日本文学科長	1/30	関係教職員	7
国際理解・学術交流懇話会 English Learning Motivation for Korean University Students wirh Conscientiousness and Tolerance	裴 大權 国際交流センター長 慶南科學技術大學校	2/4	関係教職員	7

8 本学学生への留学・奨学金等の支援

第12期トビタテ！留学JAPAN 日本代表プログラム	採択 1名 (文化学部)	テーマ： 貧困者の支援とフードロス対策としてのフードバンク
公益財団法人 ロータリー米山記念奨学金	2019学年度： 1名採択 (人間生活学研究科) 2020学年度： 2名採択 (看護学研究科)	

11 開かれた大学

1 公開講座等実施状況

○公開講座

区分	内 容	回数	実施時期	参加数 (人)	対象者
文化学部	国際日本学レクチャーシリーズ 「May I Call You North Korean?—脱北者のアイデンティティ」	1	5/17	102	学生・教職員・ 一般市民
	国際日本学レクチャーシリーズ 「Bringing Internationalization Home—カナダ人の挑戦」	1	6/28	62	学生・教職員・ 一般市民
	高校生のための文化学講座 「日本語の比較から見える文化」 「入門！観光地域社会論—観光客とまちづくりの関係—」	1	6/29	63	高校生
	『大学的高知ガイド』出版記念/ 文化学部設置60周年・学部改組20周年記念シンポジウム 「高知の地域文化資源の再発見」	1	7/20	132	一般
	国際日本学レクチャーシリーズ 「国際交流と外国人との共生—中国駐在員の目線」	1	7/26	67	学生・教職員・ 一般市民
	2019年度オープンキャンパス 「フィールドワークの魅力—異文化体験と自己形成」 「洋楽で知ろう国際文化学」	1	7/28		高校生、保護者
	国際日本学レクチャーシリーズ 「眼差しの暴力:アラブ女性と難民の事例から」	1	10/25	56	学生・教職員・ 一般市民
	シンポジウム 「新元号令和の典拠を考える—万葉集の散文学—」	1	10/26	96	一般
	国際日本学レクチャーシリーズ 「パリ、ブリュッセル、日本—まちづくりの視点」	1	11/22	48	学生・教職員・ 一般市民
	「戦略的研究プロジェクト成果報告」講演・シンポジウム 「民話について考える 言語文化の視座から」	1	11/30	80	学生・一般
	国際日本学レクチャーシリーズ 「はるばるニッポンへ—青い目が見たZEN」	1	12/13	83	学生・教職員・ 一般市民
	戦略的研究推進プロジェクト 「永国寺キャンパスを拠点とした地域文化資源の保存・整備と利活用に関する実践的研究」公開講演会 「中島敦と〈南洋行〉」(講師:杉岡歩美)	1	2/1	20	学生・教職員・ 一般市民
看護学部	第1回公開講座 新人・復職間もない看護職者の方々への「基本から学ぶフィジカルアセスメント」	1	10/5	9	専門職者
	第2回公開講座 妊娠期から始める児童虐待予防～事例を用いて、 社会的ハイリスク妊婦への対応を一緒に考えよう～	1	11/9	16	専門職者
	がん高度実践看護師WG講演会 in Kochi 働く世代のがん患者を支えるがん看護	1	12/14	25	専門職者
	高校生のための看護学を学ぶ公開講座2019 「複眼的思考」 「複眼的思考(主に県外生対象)」 「看護に関するさまざまな職業」 「災害看護学」	4	6/22 7/28 12/14 12/15	38	高校生

○リカレント講座

区分	内 容	回数	実施時期	参加数 (人)	対象者
文化学部	もう一度論語	1	7/29	3	県下の国・公・私立小学校、中学校、高等学校および特別支援学校の教員
	企業城下町とは何か	1	8/2	5	
	「民権自由論」精読〔植木枝盛とその時代(6)〕	1	8/5	2	
	英語音声の理解と教材開発－中学校英語教科書を素材として－	1	8/7	2	
	民主主義について考える	1	8/8	2	
看護学部	新任期保健師・プリセプター能力育成研修会	1	5/7	49	専門職者
	須崎福祉保健所管内新任期保健師・プリセプターフォローアップ研修会	1	9/30	29	専門職者
	小児看護学領域事例検討会 「話題提供:石浦光世氏(小児看護専門看護師 関西医科大学看護学部看護学科)」 「話題提供:笹山睦美氏((小児看護専門看護師 高知県・高知市病院企業団立高知医療センター)」 「話題提供:山崎麻朱氏(小児看護専門看護師 高知大学医学部附属病院)」	3	7/21 11/11 2/9	48	専門職者
	家族看護学ケア検討会 「壮年期のがん患者家族が緩和ケアへの移行時の子どもへの病状の伝え方」	1	12/12	29	専門職者
	精神看護学ケア検討会 「不安が強く他者との関係の維持が困難なケースへの支援」 「難病を併存し他者へ攻撃性がみられるケースへの支援」 「クリティカルケア領域における精神看護研修の取り組みについて」	3	6/20 9/19 12/19	25	専門職者
	がん看護学ケア検討会 「第1回質の高いがん看護実践を検討する会」 「第2回質の高いがん看護実践を検討する会」 「第3回質の高いがん看護実践を検討する会」	2	6/15 10/22 2/15	86	専門職者
	地域看護学ケア検討会 「新任期保健師研修会(4年目対象)(PDCA②)」 「新任期保健師人材育成研修会(3年目)(PDCA①)」 「新任期保健師人材育成研修会(3年目)(PDCA①)」	3	6/24 7/25 12/17	74	専門職者
	在宅看護学ケア検討会 「残存能力を維持、活用しながら在宅生活を続けていくための支援」 「医療用麻薬使用への強い不安がある場合の支援」 「病院外来から地域へつなぐ認知症支援」	3	6/12 9/11 12/11	36	専門職者
	老人看護学ケア検討会 「急性期から高齢者のフレイルを予防する」 「高齢者の満足のいく治療と最期を見据えた人生会議(ACP)」	2	6/11 11/12	23	専門職者
	クリティカルケア看護学ケア検討会 「見通す力1」 「見通す力2」	2	6/1 11/2	29	専門職者
	家族看護領域リカレント教育 「術後合併症を十分に説明されないまま手術の準備が進められた高齢がん患者家族の倫理的な課題への支援」 「患者の意思が尊重されず家族の希望で病状説明を受けていない患者家族への支援」 「透析導入に関する患者家族の代理意思決定への支援」 「がん患者の一時退院をめぐる患者家族への合意形成への支援」 「複数の家族員が病気を持っている家族への退院支援」 「患者の検査を拒否した家族への支援」	6	5/17 6/21 7/19 10/18 12/20 2/17	53	専門職者
	精神看護学領域リカレント教育 「行動制限最小化に向けて私たちができること」	1	6/22	56	専門職者
	がん看護学リカレント教育 「アストラル学習会」 「アストラル学習会」	2	9/28 11/23	33	専門職者

区分	内 容	回数	実施時期	参加数 (人)	対象者
看護学部	母性・助産看護学領域リカレント教育 「周産期にみられる症状・兆候を見逃さないアセスメント力を身につけよう！」	1	11/8	3	専門職者
	看護管理学リカレント教育	1	11/9	11	専門職者
	クリティカルケア看護学リカレント教育 「日本クリティカルケア看護学会学術集会」 「急性・重症患者看護専門看護師に求められるコーディネーション機能」	2	6/15 9/23	22	専門職者
社会福祉学部	健康長寿センター事業高知県立大学社会福祉学部リカレント教育講座 「知のフィールドへの招待2019」 「ピアサポートとはー宝物としてのがん体験からー」	1	10/26	12	一般
	健康長寿センター事業高知県立大学社会福祉学部リカレント教育講座 「知のフィールドへの招待2019」 「高知県における権利擁護支援の現状」	1	11/30	14	一般
	健康長寿センター事業高知県立大学社会福祉学部リカレント教育講座 「知のフィールドへの招待2019」 「介護現場でのコミュニケーションを考えるーチームケアの向上にむけてー」	1	12/7	25	一般
	健康長寿センター事業高知県立大学社会福祉学部リカレント教育講座 「知のフィールドへの招待2019」 「「変えられない」は変えられる!?ー「諦め」の先にある可能性を求めてー」	1	12/21	15	一般
学栄健康部	Vascular Surgery in the US. ～アメリカにおける血管外科の現状～	1	1/20	80	専門職者

2 学会役員等の状況

(1) 全国・国際学会の理事・幹事

学部	職名	氏名	学会名	理事・幹事の別
文化学部	教授	五百藏 高浩	全国英語教育学会	理事
			四国英語教育学会	副会長
			大学英語教育学会中国・四国支部	役員
			The Korean Association of English for Specific Purposes	International Cooperation Director # Editor
	教授	大村 誠	日本測地学会	広報委員長
	教授	橋尾 直和	流域圏学会	理事
			土佐民俗学会	常任理事
			物部庄谷相・拓の歴史と文化を考える会	副会長
			土佐民俗文化研究会	世話人
			土佐歴史資料研究会	会長
	教授	東原 伸明	中古文学会	年度委員
			学術団体物語研究会	委員
	教授	三浦 要一	日本建築学会民家小委員会	主査
	准教授	飯高 伸五	日本オセアニア学会	評議員
	准教授	金澤 俊吾	英語コーパス学会	理事・大会企画委員長
			英語語法文法学会	運営委員
	准教授	菊池 直人	総合法政策研究会	理事
			日本保険学会	関西部会委員
	准教授	鳥飼 真人	英語英文学会片平会	幹事
			日本ロレンス協会	評議員
准教授	根岸 忠	日本社会保障法学会	企画委員会委員	
		アジア法学会理事	理事	
		総合法政策研究会	副会長	
准教授	吉川 孝	日本現象学会	委員・企画実行委員長	
講師	梶原 太一	日本簿記学会	簿記教育研究部会委員	
		日本会計教育学会	全国大会準備委員	
		日本国際経済学会	春季大会準備委員	
看護学部	教授	畦地 博子	日本精神保健看護学会	理事・評議員
			日本看護科学学会	代議員
	教授	池添 志乃	日本養護教諭養成大学協議会	理事
			日本看護科学学会	代議員
			日本看護倫理学会	評議員
			日本家族看護学会	評議員
			日本学校保健学会	理事
	教授	池田 光徳	日本皮膚科学会高知地方会	幹事
	教授	内田 雅子	日本慢性看護学会	評議員
	教授	瓜生 浩子	日本家族看護学会	評議員
教授	大川 宣容	日本医療教授システム学会中四国支部	副代表理事	

学部	職名	氏名	学会名	理事・幹事の別
看護学部	教授	久保田 聡美	日本禁煙学会	理事、資格制度委員会委員、 ナース委員会委員長
			日本クリニカルパス学会	評議員、資格認定委員会副委員長、 学術・出版委員
			日本看護管理学会	評議員
	教授	竹崎 久美子	日本老年看護学会	評議員
			日本災害看護学会	指名理事
	教授	時長 美希	日本看護科学学会	評議委員
	教授	長戸 和子	日本看護科学学会	代議員
	教授	中野 綾美	日本看護系大学協議会	理事
			日本看護科学学会	代議員
			日本小児看護学会	理事
			日本家族看護学会	理事
			日本看護倫理学会	評議員
	教授	藤田 佐和	日本がん看護学会	理事
			日本緩和医療学会	代議員
			日本慢性看護学会	評議員
			日本看護倫理学会	評議員
			日本看護科学学会	代議員
	教授	森下 安子	日本災害看護学会	指名理事・評議員
	教授	森本 悦子	日本がん看護学会	評議員
	教授	山田 覚	日本災害看護学会	理事・評議員
日本看護科学学会			代議員	
日本医療・病院管理学会			評議員	
日本看護管理学会			評議員	
講師	有田 直子	日本小児看護学会	評議員	
助教	高樽 由美	日本糖尿病教育・看護学会	評議員	
		日本慢性看護学会	評議員	
社会福祉学部	教授	杉原 俊二	KJ法学会	運営委員・編集委員
			日本社会福祉学会	中国四国地区ブロック運営委員(監事)、 高知大会実行委員長
			日本人間科学研究会	理事
	教授	田中 きよむ	社会政策学会	幹事・第138回大会実行委員長
	准教授	鈴木 孝典	日本精神保健福祉学会	理事、機関誌査読委員
			日本精神保健福祉士協会	学会誌投稿論文等査読小委員会委員
	助教	雑賀 正彦	日本地域福祉学会	地方委員
助教	福田 敏秀	日本認知症予防学会	代議員	
		日本認知症ケア学会	代議員	

学 部	職 名	氏 名	学 会 名	理事・幹事の別
健康栄養学部	教授	稲井 玲子	日本食育学会	理事長
			日本栄養改善学会	評議員
			日本機能性食品医科学会	評議員
			日本栄養・食糧学会	参与
	教授	村上 尚	日本肥満学会	評議員
	教授	渡邊 浩幸	日本栄養・食糧学会	代議員、第52回中国・四国支部大会長
			日本脂質栄養学会	評議員
	准教授	荒牧 礼子	日本未病システム学会	評議員
			日本公衆衛生学会	学術委員
	准教授	鈴木 麻希子	日本栄養・食糧学会	参与
	講 師	竹井 悠一郎	日本栄養改善学会	評議員
日本栄養・食糧学会			参与	
講 師	島田 郁子	日本家政学会中国・四国支部	機関幹事	
研究地域教育センター	教授	石山 貴章	日本職業リハビリテーション学会	理事
	教授	一色 健司	日本分析化学会	常任幹事
			流域圏学会	理事・第9回学術研究発表会実行委員長
			高知地区分析技術懇談会	会長

(2) 教員が受託した審議会・委員会の委員等

学部	職名	氏名	審議会・委員会名等	発令者
文化学部	教授	五百藏 高浩	高知県国際交流協会幹事	高知県国際交流協会代表理事
			高知広域連携中枢都市圏ビジョン推進懇談会委員	高知市長
			平成30年度高校生の基礎学力の定着に向けた学習改善のための調査研究事業(議長)	高知県教育長
			平成30年度『外国語教育コア・エリア実践研究指定事業』(講師)	高知県安芸郡安田町教育長
			平成30年度『外国語教育コア・エリア実践研究指定事業』(講師)	高知県安芸郡馬路村教育長
	教授	井上 次夫	全国高等学校総合文化祭(2020こうち総文)弁論部門プレ大会審査委員長	高知県教育委員会
	教授	岩倉 秀樹	高知県公文書開示審査会委員(会長)	高知県知事
			高知県後期高齢者医療広域連合情報公開・個人情報保護審査会(会長)	高知県後期高齢者医療広域連合長
			高知市放置自動車廃物判定委員会委員	高知市長
			高知市議会情報公開・個人情報保護審査会委員	高知市議会議長
			高知弁護士会懲戒委員会委員	高知弁護士会会長
	こうち人づくり広域連合情報公開・個人情報保護審査会委員	こうち人づくり広域連合長		
	教授	大井 方子	高知地方労働審議会委員	高知労働局長
			高知地方最低賃金審議会委員	高知労働局長
			高知県職業能力開発審議会委員	高知県知事
			高知県立都市公園等指定管理者審査委員	高知県知事
			高知市廃棄物処理運営審議会委員	高知市長
			高齢・障害・求職者雇用支援機構運営協議会委員	高齢・障害・求職者雇用支援機構高知支部高知職業能力開発促進センター所長
	教授	大村 誠	学校防災アドバイザー	高知県教育長
			スーパーサイエンスハイスクール岡山県立津山高等学校運営指導委員会委員	岡山県教育委員会教育長
	教授	小長谷 悠紀	高知県住宅宿泊事業法に基づく条例検討委員会会長	高知県知事
			三原村ヒメノボタンの里公園整備検討委員会委員	三原村長
			高知県COC+観光人材育成事業検討会委員	観光人材育成事業検討会座長
			高知市文化振興事業団理事	高知市文化振興事業団
			カツオ文化日本遺産認定推進ワーキンググループメンバー	高知カツオ県民会議事務局長
	教授	高西 成介	高知県出版文化賞選考委員	高知県文教協会理事長
			大原富枝文学賞審査員	本山町立大原富枝文学館館長
	教授	橋尾 直和	高知市文化財保護審議会委員	高知市教育長
南国市後川流域のエンコウ祭調査委員会副委員長			南国市教育長	
みづき防災会委員			みづき防災会会長	
北部連絡協議会委員			北部連絡協議会会長	
カーニバル00 in高知実行委員会			カーニバル00 in高知実行委員会事務局長	
豊永郷民俗資料館建設委員会委員			NPO豊永郷民俗資料保存会理事長	

学部	職名	氏名	審議会・委員会名等	発令者
文化学部	教授	三浦 要一	高知県文化財保護審議会委員	高知県教育長
			高知県文化財専門委員	高知県教育長
			土佐遍路道・札所寺院保存検討委員会委員長	高知県教育長
			高知市文化財保護審議会副会長	高知市教育長
			高知市文化財保護審議会 第一部会(建造物部門) 重要文化財旧関川家住宅保存活用計画検討会委員	高知市文化財保護審議会会長
			史跡高松城跡建造物整備会議委員	高松市長
			日本学術振興会審査委員候補者	日本学術振興会理事長
	教授	ヨース・ ジョエル	高知県英文公文書アドバイザー	高知県知事
			高知市文化振興事業団出版学術賞審査委員会(委員)	高知市長
	准教授	宇都宮 千穂	高知港長期構想検討委員会委員	高知県知事
			高知市自由民権記念館運営協議会委員	高知市長
			市民と行政のパートナーシップのまちづくり条例 見守り委員会委員	高知市長
			高知市住宅審議会委員	高知市長
			安芸市少子化対策強化基本計画等策定委員会委員長	安芸市長
	准教授	菊池 直人	高知県消費生活審議会委員	高知県知事
			高知県公文書開示審査会委員	高知県知事
			高知県公文書管理委員会委員	高知県知事
			高知市消費生活審議会委員	高知市長
			土佐市個人情報保護運営審議会	土佐市長
			こうち生活協同組合理事	
	准教授	根岸 忠	高知県個人情報保護審査会	高知県知事
介護労働安定センター雇用管理改善促進事業 啓発実践推進委員会委員長			介護労働安定センター高知支部長	
准教授	吉川 孝	特別研究員等審査会専門委員	日本学術振興会理事長	
講師	梶原 太一	高知県社会貢献活動支援推進会議委員	高知県知事	
		高知市雇用創出促進協議会構成員	高知市雇用創出促進協議会長	
		高知県ボランティア・NPOセンター運営委員	高知県社会福祉協議会長	
看護学部	教授	畦地 博子	精神保健看護学会編集委員会委員長	日本精神保健看護学会理事長
	教授	池添 志乃	高知県衛生研究所疫学倫理審査委員会委員	高知県衛生研究所長
			大学設置・学校法人審議会(大学設置分科会)専門委員	文部科学省高等教育局長
			南国市調査専門委員	南国市教育長
			平成29年度高知県公立学校教員採用候補者選考審査 筆記審査問題の調査研究員	高知県教育長
			平成29年度高知県スクールヘルスリーダー 連絡協議会委員	高知県教育委員会事務局 保健体育課長
	教授	池田 光徳	相模女子大学・相模女子大学短期大学部ヒトを対象とする 研究倫理委員会外部委員	相模女子大学 相模女子大学短期大学部・学長
			高知県健康づくり推進協議会及び各部会委員	高知県健康政策部長
			高知県地方薬事審議会委員	高知県健康政策部長
			土佐市子どもの健康づくり支援委員会委員	土佐市長
			土佐市健康増進計画策定委員会委員	土佐市長

学部	職名	氏名	審議会・委員会名等	発令者
看護学部	教授	瓜生 浩子	日本家族看護学会第25回学術集会の企画委員	日本家族看護学会第25回学術集会会長
	教授	大川 宣容	日本がん看護学会編集委員会委員	日本がん看護学会理事長
	教授	久保田 聡美	筆山保育園理事(外部理事)	筆山保育園理事長
			日本医療機能評価機構評価調査者	日本医療機能評価機構代表理事 理事長
	教授	竹崎 久美子	災害看護委員会・ 保健師助産師看護師実習指導者講習検討会委員	高知県看護協会会長
	教授	時長 美希	国保・後期高齢者ヘルスサポート事業運営委員会委員	高知県国民健康保険団体連合会理事長
			高知県人材育成ガイドライン評価検討会委員	高知県健康政策部健康長寿政策課長
			高知市建築審査会委員	高知市長
			高知市地域保健活動委員会委員	高知市長
	教授	長戸 和子	平成29年度高知県公立学校教員採用候補者選考審査 筆記審査問題の調査研究員	高知県教育長
			日本看護系大学協議会高度実践看護師教育課程認定 委員会 家族看護専門分科会委員	日本看護系大学協議会高度実践看護師 教育課程認定委員会委員長
			新人看護職員研修検討会委員	高知県看護協会会長
			専門看護師認定実行委員会(家族支援)委員	日本看護協会会長
	教授	中野 綾美	専門看護師制度委員会委員	日本看護協会会長
			高知医療センター地域医療支援病院運営委員会委員	高知県・高知市病院企業団立 高知医療センター病院長
			日本看護系大学協議会高度実践看護師教育課程 認定委員会委員	日本看護系大学協議会代表理事
			高知県の看護を考える検討委員会委員	高知県健康政策部医療政策課長
			特別免許状授与に係る教育職員検定審査会委員	高知県教育長
	教授	藤田 佐和	日本看護系大学協議会高度実践看護師教育課程 認定委員会 がん看護専門分科会委員	日本看護系大学協議会高度実践看護師 教育課程認定委員会委員長
			大学改革・学位授与機構大学機関別 認証評価委員会専門委員	大学改革支援・学位授与機構長
			専門看護師認定実行委員会委員(がん看護)委員	日本看護協会会長
			高知県の看護を考える検討委員会委員	高知県健康政策部長
			高知県国民健康保険運営協議会委員	高知県健康政策部長
			高知県がん教育推進協議会	高知県教育委員会保健体育課長
			高知県・高知市病院企業団高知医療センター 地域医療支援病院運営委員会委員	高知県・高知市病院企業団立 高知医療センター病院長
			高知県・高知市病院企業団高知医療センター 治験審査委員会委員	高知県・高知市病院企業団立 高知医療センター病院長
			高知県ナースセンター運営協議会委員	高知県看護協会会長
高知がん診療連携協議会委員			高知大学医学部附属病院長	
日本緩和医療学会中国・四国運営委員会委員	日本緩和医療学会理事長			
教授	森下 安子	日本看護系大学協議会高度実践看護師教育課程 認定委員会委員	日本看護系大学協議会代表理事	
		高知市在宅医療・介護連携推進委員会委員	高知市長	
		高知市地域密着型サービスの運営に関する委員会委員	高知市長	
		高知市地域高齢者支援センター運営協議会委員	高知市長	
		介護認定審査会委員会委員	仁淀川広域市町村圏事務組合	

学部	職名	氏名	審議会・委員会名等	発令者
看護学部	教授	森下 安子	在宅ケア領域看護師研修検討会	高知県看護協会会長
			高知県訪問看護推進協議会委員	高知県健康政策部医療政策課長
	教授	森本 悦子	実習指導者講習検討会委員	高知県看護協会会長
	教授	山田 覚	高知市防災会議幹事会委員	高知市長
			認定看護管理者教育運営委員会委員	高知県看護協会
	准教授	内川 洋子	第48回(平成29年度)日本看護学会 —看護管理—論文選考委員会	日本看護協会看護研修学校校長
	准教授	高谷 恭子	高知県小児救急電話相談事業運営協議会委員	高知県看護協会会長
			第48回(平成29年度)日本看護学会 —在宅看護—論文選考委員会	日本看護協会看護研修学校校長
			日本小児看護学会倫理委員会委員	日本小児看護学会理事長
	助教	川本 美香	保健師職能委員会委員	高知県看護協会会長
	助教	高樽 由美	日本専門看護師協議会委員	日本専門看護師協議会代表
			第48回(平成29年度)日本看護学会 —慢性期看護—論文選考委員会委員	日本看護協会看護研修学校校長
	助教	西内 舞里	看護研究論理審査委員会委員	高知県看護協会会長
	教授	神原 咲子	土佐市災害時要配慮者支援体制連絡協議会委員	土佐市長
日本災害看護学会第20回年次大会企画委員会委員			日本災害看護学会第20回年次大会長	
南海トラフ地震対策啓発テレビCM制作放送委託業務 プロポーザル審査委員会委員			高知県危機管理部 南海トラフ地震対策課長	
高知コアセンター評議員会委員			高知大学海洋コア総合研究センター長	
特任助教	門田 麻里	第48回(平成29年度)日本看護学会 —慢性期看護—論文選考委員	日本看護協会看護研修学校校長	
社会福祉学部	教授	杉原 俊二	高知県スクールソーシャルワーカー活用事業 スーパーバイザー(高知県教育委員会)	高知県教育長
			高知県いじめ問題調査委員(高知県教育委員会)	高知県教育長
			高知県社会福祉協議会理事選考委員	高知県社会福祉協議会会長
	教授	田中 きよむ	高知県青年農業士認定委員会委員長	高知県知事
			運営適正化委員会委員	高知県社会福祉協議会会長
			高知市生活困窮者支援運営委員会委員長、 セーフティネット連絡会委員	高知市社会福祉協議会会長
			高知県内各市町村地域福祉(活動)計画アドバイザー	各市町村社会福祉協議会会長
			高知市社会福祉審議会民生委員審査専門分科会会長	高知市長
			高知市国民健康保険運営協議会委員	高知市長
			高知市福祉有償運送運営協議会委員	高知市長
			高知市まち・ひと・しごと創生有識者会議委員	高知市長
			高知県地域年金事業運営調整会議委員長	高知東年金事務所長
			高知弁護士会綱紀委員会委員・ 高知弁護士会資格審査会予備委員	高知弁護士会会長
			ひかり協会高知県支部森永ヒ素ミルク中毒 救済対策委員会委員長	ひかり協会
			第三者委員	高知福祉会・すずめ福祉会・ファミーユ高知
			高知県老人クラブ連合会理事	高知県老人クラブ連合会

学部	職名	氏名	審議会・委員会名等	発令者
社会福祉学部	教授	田中 きよむ	高知県介護ケア研究会会長	発令者なし (任意の会のため。代表は会員の互選)
			全国障害者問題研究会高知支部長	発令者なし (任意の会のため。代表は会員の互選)
			高知県社会保障推進協議会会長	発令者なし (任意の会のため。代表は会員の互選)
			高知県保育運動連絡会会長	発令者なし (任意の会のため。代表は会員の互選)
			「ホームレス支援と貧困問題を考えるこうちの会」代表	発令者なし (任意の会のため。代表は会員の互選)
	教授	長澤 紀美子	高知県人権尊重の社会づくり協議会委員	高知県知事
			高知市行政改革推進委員会委員会委員長	高知市長
			高知市指定管理者業務評価委員会委員	高知市長
			高知市人権尊重のまちづくり審議会委員	高知市長
			高知県社会福祉協議会地域密着型サービス外部評価事業評価審査委員	高知県社会福祉協議会会長
	教授	西内 章	高知県行政不服審査会委員	高知県知事
			高知県スクールソーシャルワーカー活用事業スーパーバイザー(高知県教育委員会)	高知県教育長
			高知市高齢者虐待予防ネットワーク会議会長	高知市長
			高知県高齢者・障害者権利擁護センター運営協議会副委員長	高知県社会福祉協議会会長
			高知市社会福祉協議会評議員	高知市社会福祉協議会会長
			高知市成年後見サポートセンター運営委員会委員長	高知市社会福祉協議会会長
			高知市社会福祉協議会 これからあんしんサポート事業審査会委員長	高知市社会福祉協議会会長
			津野町地域包括支援センター・ 地域密着型サービス運営協議会委員	津野町長
			津野町認知症初期集中支援チーム検討委員会委員	津野町長
			高知県共同募金会評議員・配分委員会委員	高知県共同募金会
	教授	丸山 裕子	高知県スクールソーシャルワーカー活用事業スーパーバイザー(高知県教育委員会)	高知県教育長
	教授	宮上 多加子	高知県医療提供体制推進事業等評価委員会委員	高知県知事
			高知県社会福祉審議会委員	高知県知事
			高知県福祉活動支援基金運営委員会委員	高知県社会福祉協議会会長
			日常生活自立支援事業契約締結審査会委員長	高知県社会福祉協議会会長
			高知県社会福祉協議会理事	高知県社会福祉協議会会長
			高知市民生委員推薦会委員	高知市長
准教授	鈴木 孝典	全国精神医療審査会連絡協議会理事	全国精神医療審査会連絡協議会会長	
		障害のある人もない人も安心して暮らせる高知県づくり条例(仮称)検討委員会委員長	高知県知事	
		高知県精神医療審査会委員	高知県知事	
		高知県障害者施策推進協議会委員	高知県知事	
		高知県障害者差別解消支援地域協議会委員	高知県知事	
		高知県障害者介護給付費等不服審査会委員	高知県知事	

学部	職名	氏名	審議会・委員会名等	発令者
社会福祉学部	准教授	鈴木 孝典	高知県福祉人材センター・高知県福祉研修センター 運営委員会委員(副委員長)	高知県社会福祉協議会会長
			高知県自立支援協議会委員(副会長)	高知県地域福祉部長
			高知県自立支援協議会人材育成部会委員(部会長)	高知県障害福祉課長
			高知市障害者計画等推進協議会委員長	高知市長
			高知大学研究拠点プロジェクト中間評価委員会委員	高知大学長
			精神保健福祉士試験委員	社会福祉振興・試験センター理事長
			土佐あけぼの会評議員及び第三者委員	土佐あけぼの会理事長
	ファミリーユ高知評議員	ファミリーユ高知理事長		
	准教授	西梅 幸治	高知県スクールソーシャルワーカー活用事業 スーパーバイザー(高知県教育委員会)	高知県教育委員会
	准教授	福岡 隆康	大阪障害者雇用支援ネットワーク地域連携事業部委員	大阪障害者雇用支援ネットワーク理事長
			南国市社会福祉協議会南国ネットワーク連絡会委員	南国市社会福祉協議会会長
			南国市社会福祉協議会あつたかにんにん運営委員会委員	南国市社会福祉協議会会長
	講師	加藤 由衣	南少再発防止委員	南少理事長
	講師	河内 康文	南国市高齢者及び障害者虐待防止ネットワーク委員会 委員	南国市長
			高知市障害者計画等推進協議会委員福会長	高知市長
			高知県福祉人材センター・福祉研究センター運営委員会 委員	高知県社会福祉協議会会長
			いの町社会福祉協議会法人成年後見制度運営会委員	いの町社会福祉協議会会長
	講師	辻 真美	日本介護福祉学会評議員	日本介護福祉学会会長
			第25回日本在宅ケア学会学術集会企画委員	日本在宅ケア学会第25回学術集会会長
	講師	遠山 真世	高知県社会福祉士会理事(国家試験対策委員会)	高知県社会福祉士会会長
			第28回日本社会福祉士会全国大会・ 社会福祉士学会(高知大会)実行委員	高知県社会福祉士会会長
	助教	稲垣 佳代	日本精神保健福祉士会 「就労・雇用支援のあり方検討委員会」委員	日本精神保健福祉士協会会長
	助教	大熊 絵理奈	高知県医療ソーシャルワーカー協会理事	高知県医療ソーシャルワーカー協会会長
			高知県医療ソーシャルワーカー協会月例部会担当理事	高知県医療ソーシャルワーカー協会会長
			高知県医療ソーシャルワーカー協会生涯研修部会 担当理事	高知県医療ソーシャルワーカー協会会長
	助教	雑賀 正彦	高知県地域福祉活動支援計画策定委員副委員長	高知県社会福祉協議会会長
			日本社会福祉士会近畿ブロック研究・ 研修教徒大会査読委員	近畿ブロック大会実行委員長
和歌山県介護支援専門員指導者、 法定研修運営委員会委員			和歌山県介護支援専門員協会会長	
和歌山県介護支援専門委員会研修部企画員			和歌山県介護支援専門員協会会長	
和歌山県社会福祉士会監事			和歌山県社会福祉士会会長	
助教	田中 眞希	高知県地域救済対策委員会委員	ひかり協会理事長	
		介護福祉士実習指導者講習会研修企画委員会委員	高知県介護福祉士会会長	
		ミレニアム 障害者支援施設 アドレス高知・第三者委員	ミレニアム理事長	
助教	玉利 麻紀	高知県精神保健福祉協会 研修部委員	高知県精神保健福祉協会 会長	

学部	職名	氏名	審議会・委員会名等	発令者
社会福祉学部	助教	福田 敏秀	高知市介護保険施設等整備事業者審査委員会委員長	高知市長
			津野町高齢者施設検討会アドバイザー	津野町長
			鳥取県介護支援専門員連絡協議会西部支部理事	鳥取県介護支援専門員連絡協議会西部支部長
			初任段階介護支援専門員向けマニュアル編集委員会委員	鳥取県介護支援専門員連絡協議会会長
健康栄養学部	教授	稲井 玲子	高知県食育推進委員	高知県知事
			平成30年度高知県公立学校教員採用候補者選考審査筆記試験審査問題・委員	高知県教育委員会委員長
			高知県アルコール健康障害対策連絡協議会	高知県地域福祉部障害支援課長
	教授	渡邊 浩幸	高知県事業審査アドバイザー委員長	高知県知事
			高知県食の安全・安心推進審議会委員	高知県知事
			高知県産学連携会議委員	高知県知事
			高知県農林業基本対策審議会特別委員	高知県知事
			こうち産業振興基金等事業審査会委員	高知県産業振興センター長
			高知県産学官民連携センターコーディネーター	高知県産学官民連携センター長
			IoTプロジェクト研究推進部会委員高付加価値グループリーダー	IoTプロジェクト研究推進部会長
			安芸市学校給食運営委員	安芸市教育長
			越知町まち・ひと・しごと創生推進会議(委員)	
	土佐フードビジネススクリエーター(FBC)人材創出 講義担当			
	准教授	荒牧 礼子	土佐市プロジェクトメンバー	
			第3次南国市食育推進会議委員	南国市長
			高知県行政栄養士新任研修講義担当	高知県健康政策部健康長寿政策課長
	准教授	鈴木 麻希子	高知県小・中・高・大家庭科教育連合会会長	高知県小・中・高・大家庭科教育連合会会長
	講師	島田 郁子	高知市学校給食調理業務に係るプロポーザル選定委員会委員	高知市長
			土佐市社会福祉事業団理事	土佐市長
			土佐市立学校給食センター運営審議会委員	土佐市教育長
南国市学校給食センター運営委員会委員			南国市教育長	
安芸市学校給食運営委員			安芸市教育長	
日本スポーツ栄養学会国際交流委員会委員(翻訳チーム)			日本スポーツ栄養学会会長	
JDA-DATリーダー研修運営委員			日本栄養士会会長	
日本家政学会中国・四国支部機関幹事			日本栄養士会会長	
高知県栄養士会研究教育事業部理事			高知県栄養士会会長	
講師	竹井 悠一郎	高知県産学官連携会議運営委員	高知県商工労働部産業創造課長	
		IoTプロジェクト研究推進部会委員	高知大学研究国際部研究推進課長	
		高知県栄養士会生涯教育委員会委員	高知県栄養士会会長	
講師	廣内 智子	JDA-DATスタッフ養成研修運営委員		
助教	隅田 有公子	高知県栄養士会はちきん編集委員	高知県栄養士会会長	

学部	職名	氏名	審議会・委員会名等	発令者
健康栄養学部	助教	沼田 聡	高知県栄養士会研究教育事業部代表理事	
	助手	彼末 富貴	農林水産省「地域の食文化の保護・継承事業」 高知県地域検討委員会委員	農林水産省
高知市春野郷土資料館運営審議会委員			高知市教育委員会	
地域教育研究センター	教授	石山 貴章	教師教育コンソーシアム高知運営協議会・事業部会委員	高知県立大学・学長
			障害福祉サービス事業所 あさひ共同作業所・理事	あさひ会
	教授	一色 健司	仁淀川流域学識者会議	国土交通省四国地方整備局長・ 高知県知事
			物部川流域学識者会議	国土交通省四国地方整備局長・ 高知県知事
			高知県環境影響評価技術審査会	高知県知事
			高知県廃棄物処理施設設置審査会	高知県知事
			高知県環境審議会	高知県知事
			高知みらい科学館協議会	高知県教育長・高知市教育長
			高知市産業廃棄物処理施設設置審査会	高知市長
			高知市学校支援地域本部事業推進委員会	高知市教育長
			高知市民の大学運営委員会	高知市民の大学運営委員長
			新宇治川放水路地下水監視委員会	いの町長
	教授	清原 泰治	高知県地域活性化雇用創造プロジェクト推進協議会委員	高知県知事
			高知県おもてなし県民会議委員	高知県観光振興部長
			高知縣市町村図書館等振興協議会委員	高知県教育委員会
			高知市スポーツ推進審議会副委員長	高知市教育委員会
			土佐市創生有識者会議委員	土佐市長
			佐川町まち・ひと・しごと創生推進会議委員	佐川町長
			佐川町道の駅基本計画策定委員長	佐川町長
			津野町まち・ひと・しごと創生有識者会議会長	津野町長
津野町まちづくり計画審議会会長			津野町長	
香美市まち・ひと・しごと創生総合戦略審議会会長			香美市長	
高知放送番組審議会委員			高知放送社長	
公立大学協会の学生交流に関するワーキンググループ 主査	公立大学協会会長			
准教授	鈴木 康郎	教師教育コンソーシアム高知運営協議会・事業部会委員 〃 ・共同研究事業部会委員	高知県立大学・学長	
		高知大学・教員免許状更新講習担当講師	高知大学・学長	
健康長寿センター	特任 准教授	森下 幸子	高知県訪問看護推進協議会委員	高知県知事
			訪問看護ステーション運営委員会委員	高知県看護協会会長
			在宅ケア領域看護師研修検討会委員	高知県看護協会会長
			中山間地域等訪問看護サービス確保事業運営会 外部アドバイザー	高知県訪問看護連絡協議会長
			安芸市在宅医療・介護連携推進プロジェクト会議 アドバイザー	安芸市長

3 学外提供用刊行物作成状況

作成元	担当部署	名 称
文化学部	文化学科	高知県立大学文化学部 思索と実践(改訂版)
		高知県立大学 文化論叢
		文化の力 Vol.04
		高知の文化を知るための100冊(小冊子)
		越境する人々 移住・移民を考えるための50冊—人文・社会科学からのアプローチ—(小冊子)
		高知パルプ生コン事件をめぐる100冊—高知の過去・現在・未来—(小冊子)
		2018・2019年度高知県立大学「戦略的研究推進プロジェクト」成果報告 講演・シンポジウム 民話について考える—言語文化の視座から—
		安芸市 奈比賀文化史
看護学部	看護学科	高知県立大学看護学部・看護学研究科活動報告書
		高知県立大学看護学部・看護学研究科年報
		看護実習要項
		看護学部パンフレット(受験生向けPR誌)
		看護学部ニューズレター—学生生活通信『fure-fure』
社会福祉学部	社会福祉学科	高知県立大学社会福祉学部リカレント教育講座(チラシ)
		健康長寿センター社会福祉学部体験型セミナー(チラシ)
		高校生のための公開講座(リーフレット)
		実習のてびき—相談援助実習—
		実習のてびき—精神・社会福祉コース編—
		実習のてびき—介護福祉実習—
		社会福祉実習報告書(相談援助実習・精神保健福祉援助実習)
		介護福祉実習報告書
		高知県立大学社会福祉学部報第21号
		高知県立大学 社会福祉学部(学部パンフレット)
健康栄養学部	健康栄養学科	高知県立大学健康栄養学部報 第10号
		健康栄養学部リーフレット
大学院	看護学研究科	高知県立大学大学院看護学研究科 広報冊子
地域教育研究センター	地域連携課	高知県立大学地域教育研究センター報 2018 第7号
		2019立志社中リーフレット
		平成30年度立志社中活動成果報告書
		域学共生事業パンフレット
総合情報センター	図書情報部	永国寺図書館利用案内
		池図書館利用案内
健康長寿センター	企画連携課	高知県立大学健康長寿センター活動報告書
		高知県立大学健康長寿センターパンフレット
		高知県中山間地域等訪問看護師育成講座パンフレット
		訪問看護スタートアップ研修 新卒パンフレット
広報委員会	企画連携課	全学広報誌「Pin+」vol.17～vol.20(年4回発刊)

作成元	担当部署	名 称
全学	入試課	大学案内2020
		大学院案内2020
		2019オープンキャンパスプログラムパンフレット
		2019オープンキャンパスプログラムパンフレット(永国寺(工科大と共通))

12 財務

1 はじめに

本法人は、平成23年4月1日に地方独立行政法人法に基づく公立大学法人となり、今期が第2期中期計画の3年目にあたる第9期目の決算となります。

公立大学法人の会計基準は、企業会計を基本としながらも、主たる業務内容が教育・研究であり、利益の獲得を目的としないなどの特殊性を考慮した「地方独立行政法人会計基準」に基づき作成されるもので、県民をはじめとする利害関係者に、法人の財政状態や運営状況を明らかにするために、作成が義務付けられています。

第34条第1項では、毎事業年度終了後3ヶ月以内に、財務諸表（貸借対照表、損益計算書、利益の処分又は損失の処理に関する書類等）を、設立団体の長に提出し、承認を得なければならないとされており、

令和元年度は、永国寺キャンパスの土地や建物等財産を高知県から出資・無償譲渡されたことにより、財務諸表の数値上大きな変更がございます。

令和元年度の財務諸表上の表記は下記となっております。

貸借対照表、損益計算書及びキャッシュ・フロー計算書は県立大学単独の表記、行政サービス実施コスト計算書は法人全体の数値を表示しております。

2 貸借対照表

貸借対照表は、令和2年3月31日現在の、全ての財産（資産、負債・純資産）の状況を示した書類です。

令和元年度の資産総額は、

固定資産が 112億5千7百万円（96.5%）

流動資産が 4億3百万円（3.5%）

合計 116億6千 万円（100.0%）となっております。

固定資産が資産の96.5%を占め、このうち県からの出資財産が、96億5千4百万円で資産全体の82.7%を占めております。

負債の総額は、12億9千7百万円となっております。

固定負債が 9億2千8百万円

（うち資産見返負債¹ 8億7千9百万円 負債全体の67.7%）

流動負債が 3億6千9百万円

（うち寄附金債務 3百万円 同 0.2%）

負債総額のうち、資産の見返として計上し、減価償却処理により費用が発生する都度、取り崩して収益化する資産見返負債が8億7千9百万円と負債全体の67.7%を占め、使途特定寄附金収入のうち来期以降に使用する予定の寄附金債務が、3百万円で、0.2%となっております。

純資産の総額は、 103億6千2百万円で、内訳は

資本金（県からの出資金）が109億6千5百万円、

資本剰余金が △6億 2百万円

利益剰余金が 0百万円となっております。

¹資産見返負債：運営費交付金・寄附金・無償譲与・補助金等の財源で取得した固定資産の見合いで負債に計上され、固定資産の減価償却に伴って、資産見返負債戻入という収益に振替られるもので、資産・負債を均衡させるために必要なものです。

貸借対照表における主な変更点は以下のとおりです。

(資産の部)

1 土地	
・高知県からの出資分	1 8 億 9 百万円
・新学生寮建設予定地	4 千 1 百万円
2 建物	
・高知県からの出資・無償譲与分	2 7 億 7 千 8 百万円
・池キャンパス看護学部棟空調機器更新工事	5 千 4 百万円
・池キャンパス社会福祉学部棟空調機器更新工事	4 千 1 百万円
・池キャンパス共用棟空調機器更新工事	3 千 3 百万円
3 構築物	
・高知県からの出資・無償譲与分	1 億 3 千 2 百万円
4 工具器具備品	
・高知県からの出資・無償譲与分	1 億 2 千 9 百万円
・事務システム構築委託業務	3 千万円
・永国寺・池キャンパス教務システム証明書自動発行機 2 台	1 千 4 百万円
5 機械装置	
・高知県からの出資分	2 千万円

(負債の部)

1 資産見返負債	
・高知県から無償譲与を受けたことによる増加	1 億 3 千 9 百万円

(純資産の部)

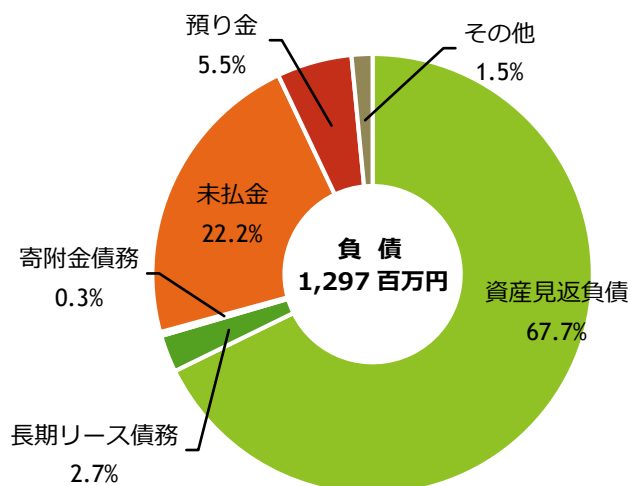
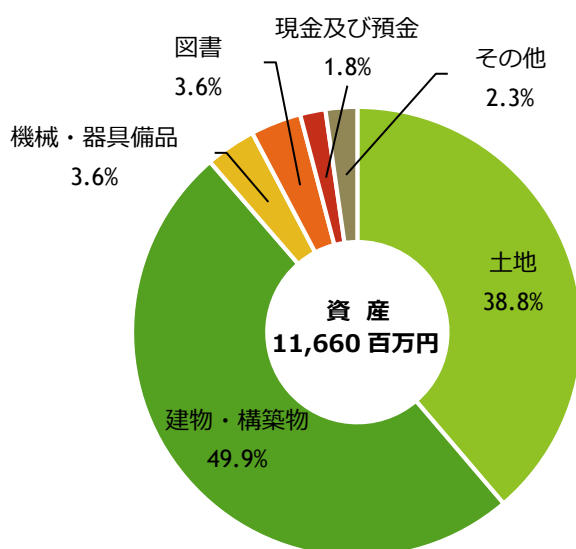
1 資本金	
・高知県から現物出資を受けたことによる増加	4 7 億 9 千 8 百万円

貸借対照表の概要

(単位：百万円)

資産の部	固定資産	有形固定資産	土地	4,519	負債の部	固定負債	資産見返負債	879
			建物	5,627			長期リース債務	35
			構築物	190			その他の固定負債	14
			機械装置	47			小計	928
			工具器具備品	375		流動負債	寄附金債務	3
			図書	423			未払金	288
			車両運搬具	5			預り金	71
			美術品・收藏品	24			短期リース債務	5
			建設仮勘定	5			小計	369
			小計	11,219			合計③	1,297
	無形固定資産	無形固定資産	23	純資産の部	資本金	10,965		
		投資その他の資産	14		資本剰余金	▲602		
		合計①	11,257		利益剰余金	0		
	合計④	10,362						
	流動資産	現金及び預金	211					
その他の流動資産		191						
合計②		403						
資産合計①+②			11,660	負債純資産合計③+④		11,660		

※百万円未満切捨て



2

² グラフの作成に当たっては、各項目の金額を百万円未満切り捨ての数値ではなく、実数をもとに算出しています。損益計算書のグラフも同様です。

3 損益計算書

損益計算書は、当期に発生した目的別費用とそれに対応する収益構造を記載した計算書です。経常費用の総額は、24億7千6百万円で、内訳は業務費が23億3千9百万円で、一般管理費が1億3千4百万円、支払利息等の財務費用が2百万円となっています。

業務費23億3千9百万円の内訳は、

教育研究経費	7億6千2百万円 (対経常費用 30.7%)
教育経費	4億5千6百万円
研究経費	1億6千6百万円
教育研究支援経費	1億3千9百万円
受託研究等経費	2千6百万円 (対経常費用 1.0%)
受託研究費	5百万円
共同研究費	1百万円
受託事業費	1千9百万円
人件費	15億5千1百万円 (対経常費用 62.6%)

※受託研究・事業費に参入した人件費を除く

人件費が経常費用に占める割合は、62.6%となっております。

経常収益の総額は、24億8千7百万円で、内訳は

運営費交付金収益	14億1百万円 (対経常収益 56.3%)
授業料等収益	8億1千6百万円 (同 32.8% 授業料、入学金、検定料収入を含む)
受託研究収益	5百万円 (同 0.2%)
共同研究収益	1百万円 (同 0.0%)
受託事業等収益	2千1百万円 (同 0.8%)
寄附金収益	2千9百万円 (同 1.1%)
補助金収益	2千2百万円 (同 0.8%)
資産見返負債戻入	1億1千2百万円 (同 4.5%)
雑益	7千6百万円 (同 3.0%)

経常収益から経常費用を差し引いた経常利益は、1千1百万円となりました。

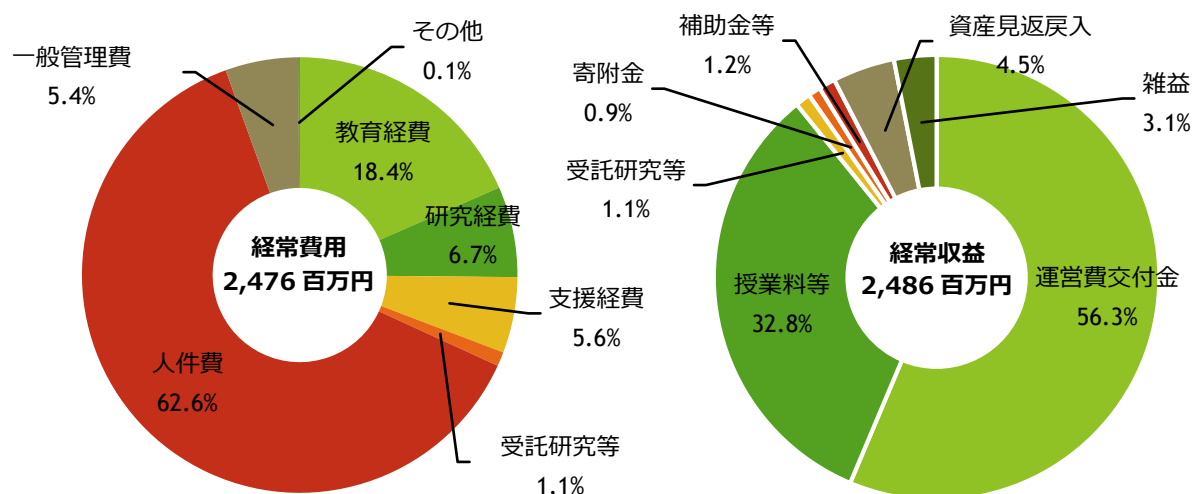
経常利益から臨時損失1千4百万円を差し引いた当期純損失は、4百万円となり、目的積立金1百万円を取り崩した当期総損失は、3百万円となっています。

損益計算書の概要

(単位：百万円)

経常費用	業務費	教育経費	456	経常収益	運営費交付金収益	1,401
		研究経費	166		授業料収益	709
		教育研究支援経費	139		入学料収益	83
		受託研究費	5		検定料収益	24
		共同研究費	1		受託研究収益	5
		受託事業費	19		共同研究収益	1
		教員人件費	1,155		受託事業等収益	21
		職員人件費	395		寄附金収益	29
		合計	2,339		補助金等収益	22
		一般管理費	134		資産見返負債戻入	112
財務費用・雑損	2	雑益	76			
合計	2,476	合計	2,486			
臨時損失	14	目的積立金取崩額	1			
		当期総損失	3			

※百万円未満切捨て



3

³ グラフの作成に当たっては、各項目の金額を百万円未満切り捨ての数値ではなく、実数をもとに算出しています。損益計算書のグラフも同様です。

4 その他の主要諸表

① キャッシュ・フロー計算書

損益計算書は発生主義により作成されるため、資金の状況とは一致しないことから、資金の状況を把握するために、業務活動、投資活動、財務活動の区分から、当期の資金収支の状況を示した書類がキャッシュ・フロー計算書です。なお、当期末の資金残高は、2億1千1百万円です。

キャッシュ・フロー計算書の概要

(単位：百万円)

I 業務活動によるキャッシュ・フロー	220
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 240
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 41
IV 資金増減額	△ 61
V 資金期首残高	273
VI 資金期末残高	212

※百万円未満切捨て

② 利益の処分に関する書類

利益の処分に関する書類は、損益計算上の利益の処分を明らかにするための書類です。公立大学法人における利益処分方法は、公立大学法人が効率的・効果的に事業を実施し、自己収入の増加あるいは費用の節減等により生じた利益として、設立団体の長が承認し翌事業年度以降に大学で自由に用途を決定できる「目的積立金」と翌事業年度以降の損失の補填のみに用途が限定された「積立金」として処分する方法があります。

③ 行政サービス実施コスト計算書（法人全体）

行政サービス実施コスト計算書は、損益計算書上の費用に加え法人運営上コストとなっている損益外減価償却費や機会費用等を計上することにより、県（県民）が負担している全コストを明らかにするための書類です。当年度の実質的成本は、57億5千1百万円です。

行政サービス実施コスト計算書の概要

(単位：百万円)

I 業務費用	4,711
(1) 損益計算書上の費用	7,789
(2) 自己収入等	△3,077
II 損益外減価償却相当額	481
III 損益外減損損失相当額	111
IV 引当外賞与増加見積額	6
V 引当外退職給付増加見積額	50
IV 機会費用	389
V 行政サービス実施コスト	5,751

※百万円未満切捨て

5 外部資金導入の状況

(1) 科学研究費助成事業交付状況

【科学研究費助成事業交付実績】

(単位:千円)

学部等	職名	氏名	研究題目	新規継続の別	研究期間	～H30		R1		R2～(予定)		総額(予定含む)	
						直接経費	間接経費	直接経費	間接経費	直接経費	間接経費	直接経費	間接経費
研究種目:基盤研究B													
看護	教授	神原 咲子	地域の全体最適を目指した減災ケアの可視化とツールの開発	継続	H30～R3	3,700	1,110	2,900	870	5,500	1,650	12,100	3,630
	教授	野嶋 佐由美	脆弱性を抱えた家族のレジリエンスを促進するケアガイドラインと教育プログラムの構築	継続	H30～R3	4,900	1,470	2,700	810	5,400	1,620	13,000	3,900
	研究員	中山 洋子	重度・慢性精神障害者のセルフケア能力の評価方法と看護介入モデルの開発	継続	H30～R3	3,600	1,080	2,800	840	4,200	1,260	10,600	3,180
	教授	中野 綾美	命に向き合う子どもと親のエンド・オブ・ライフへの看護支援モデルの構築と活用	継続	H29～R2	6,800	2,040	3,300	990	2,900	870	13,000	3,900
	准教授	佐東 美緒	医療的ケアが必要な在宅療養中の子どもと家族の災害に備えた協働支援プログラムの開発	継続	H29～R2	3,700	1,110	1,900	570	1,700	510	7,300	2,190
	名誉教授	南 裕子	地球規模課題の解決とパラダイムシフトをもたらす災害看護学の構築	継続	H29～R1	7,100	2,130	3,900	1,170	0	0	11,000	3,300
	教授	藤田 佐和	がんと認知症を併せもつ高齢がん患者の緩和ケアと認知症ケアの統合ケアモデルの開発	継続	H28～R1	7,700	2,310	2,200	660	0	0	9,900	2,970
福祉社会	教授	田中 きよむ	中山間地域の運転免許返納者を含む移動問題と地域共生拠点を活かした課題解決の探求	新規	R1～R3	2,500	750	2,000	600	2,500	750	7,000	2,100
基盤研究B:小計						40,000	12,000	21,700	6,510	22,200	6,660	83,900	25,170
研究種目:基盤研究C													
文化	准教授	清水 直樹	内閣による議会解散権の制約の政策的帰結:政治的景気循環論による研究	新規	R1～R3	800	240	600	180	400	120	1,800	540
	准教授	飯高 伸五	パラオ諸島の戦跡観光におけるサブジェクトとエイジェントの民族誌的研究	継続	H30～R2	700	210	700	210	500	150	1,900	570
	准教授	根岸 忠	台湾における居宅介護労働者の労働条件保護の決定プロセスとそのあり方	継続	H30～R2	400	120	400	120	400	120	1,200	360
	准教授	宇都宮 千穂	移住促進政策と「移住の失敗」の実態調査	継続	H29～R1	1,000	300	500	150	0	0	1,500	450
	准教授	吉川 孝	応用倫理学への現象学的アプローチの方法論の確立	継続	H29～R1	1,600	480	700	210	0	0	2,300	690
看護	教授	内田 雅子	慢性病患者中心のケア・コーディネーション:事例研究法による看護実践理論の構築	新規	R1～R4	0	0	1,400	420	1,900	570	3,300	990
	准教授	高谷 恭子	成人期に移行する先天性心疾患と共に生きる子どもと親の軌跡を説明できるモデルの構築	新規	R1～R4	0	0	1,100	330	2,200	660	3,300	990
	講師	有田 直子	血液・腫瘍疾患を持つ青年のSDMを支援する高度実践看護師の教育プログラムの開発	新規	R1～R4	0	0	1,000	300	2,300	690	3,300	990
	助教	庄司 麻美	がん患者の緩和ケア主体治療へのTransitional Care Model開発	新規	R1～R4	0	0	1,000	300	1,800	540	2,800	840

学部等	職名	氏名	研究題目	新規継続の別	研究期間	～H30		R1		R2～(予定)		総額(予定含む)	
						直接経費	間接経費	直接経費	間接経費	直接経費	間接経費	直接経費	間接経費
看護	教授	竹崎 久美子	急性期病院に入院中の認知症高齢者に対する効果的ケア・パッケージの開発	新規	R1～R3	0	0	700	210	900	270	1,600	480
	教授	森本 悦子	地域の一般病院通院中の後期高齢がん患者への複合的な外来看護支援モデルの検証と評価	新規	R1～R3	0	0	1,300	390	1,900	570	3,200	960
	助教	岩崎 順子	低出生体重児のFamilyConfidenceを育成する看護介入プログラムの開発	新規	R1～R3	0	0	1,300	390	2,100	630	3,400	1,020
	助教	川本 美香	住民による健康な地域づくりを可能にするplace attachmentの解明	新規	R1～R3	0	0	900	270	1,100	330	2,000	600
	助教	中井 美喜子	人工呼吸器を装着した児と家族のヘルスケア機能を増進するためのケアガイドライン開発	新規	R1～R3	0	0	1,100	330	1,300	390	2,400	720
	助教	永井 真寿美	親になるパーソナリティ障害をもつ女性への看護支援ガイドラインの開発	新規	R1～R3	0	0	1,400	420	1,900	570	3,300	990
	助教	畠山 典子	被災後の健康二次被害削減とコミュニティ活性促進のための地域参加型アプローチの開発	新規	R1～R3	0	0	1,100	330	1,600	480	2,700	810
	教授	池田 光徳	がん化学療法による手足症候群および爪囲爪炎の早期検出と新規外用剤による予防的介入	継続	H30～R2	900	270	1,400	420	1,100	330	3,400	1,020
	教授	森下 安子	慢性心不全高齢者の再入院を予防するシームレスケアを創る退院支援ガイドラインの開発	継続	H30～R2	1,000	300	1,100	330	1,100	330	3,200	960
	助教	坂元 綾	糖尿病足病変予防のための看護師のアセスメント力を高める教育プログラムの開発	継続	H30～R2	1,300	390	800	240	600	180	2,700	810
	助教	塩見 理香	自閉症スペクトラム障害者の対人関係におけるセルフコントロールを高めるプログラム	継続	H30～R2	1,100	330	900	270	1,100	330	3,100	930
	助教	森本 紗磨美	消化器がん患者の周術期ヘルスリテラシー支援プログラムの開発	継続	H30～R2	1,000	300	1,200	360	400	120	2,600	780
	教授	池添 志乃	発達障害のある子どもと家族の就学期の移行を支える看護ケアモデルの構築	継続	H29～R1	2,500	750	1,000	300	0	0	3,500	1,050
	教授	瓜生 浩子	家族看護実践における倫理調整力強化のためのモデルと教育ツールの開発	継続	H29～R1	2,100	630	1,500	450	0	0	3,600	1,080
	教授	時長 美希	脆弱性を有する生活困窮者へのマージナルケアモデルの構築	継続	H29～R1	2,300	690	1,100	330	0	0	3,400	1,020
	准教授	川上 理子	独居高齢者のエンド・オブ・ライフ期の在宅療養を支える多職種協働プログラム開発	継続	H29～R1	2,300	690	1,000	300	0	0	3,300	990
	准教授	森下 幸子	新卒訪問看護師と学習支援者の期待不一致を解決する学習支援プログラムの構築	継続	H29～R1	2,100	630	1,000	300	0	0	3,100	930
	講師	井上 正隆	地方都市でのクリティカルケア看護熟達者の発展的相互学習システムの構築	継続	H29～R1	2,600	780	900	270	0	0	3,500	1,050
助教	田之頭 恵里	生体肝移植を受けた子どものレジリエンスを高める看護実践ガイドラインの開発	継続	H29～R1	1,700	510	600	180	0	0	2,300	690	

学部等	職名	氏名	研究題目	新規継続の別	研究期間	～H30		R1		R2～(予定)		総額(予定含む)	
						直接経費	間接経費	直接経費	間接経費	直接経費	間接経費	直接経費	間接経費
研究種目:基盤研究C													
社会福祉	助教	玉利 麻紀	社会的マイノリティへの偏見軽減要因の探索 無関心という壁を越えるために	新規	R1～R3	0	0	700	210	1,500	450	2,200	660
	教授	西内 章	ソーシャルワークにおけるICTを活用した多職種連携モデルの構築	継続	H30～R2	400	120	500	150	100	30	1,000	300
	講師	遠山 真世	重度障害者の就労支援における工賃向上のための「高知モデル」の構築	継続	H30～R2	300	90	900	270	200	60	1,400	420
	助教	田中 眞希	「演じる行為」に着目した介護の実践価値生成と共有化－職場学習論に基づく分析－	継続	H30～R2	400	120	400	120	400	120	1,200	360
	教授	杉原 俊二	4テーマ分析法を用いた虐待予防－「虐待リスク」を抱える保護者支援法(2)－	継続	H29～R1	1,400	420	300	90	0	0	1,700	510
	教授	宮上 多加子	中堅介護職員の循環型経験学習を促すメンタリングの様相	継続	H29～R1	2,300	690	600	180	0	0	2,900	870
地域センタール	准教授	鈴木 康郎	アジア非英語圏における小学校英語の実施に関する実証的比較研究	継続	H29～R1	2,100	630	1,200	360	0	0	3,300	990
基盤研究C 小計						32,300	9,690	32,300	9,690	26,800	8,040	91,400	27,420
研究種目:挑戦的研究(萌芽)													
看護	教授	神原 咲子	住民参加型モニタリングによる生活環境評価法の開発	継続	H30～R2	1,900	570	1,900	570	1,000	300	4,800	1,440
挑戦的研究(萌芽) 小計						1,900	570	1,900	570	1,000	300	4,800	1,440
研究種目:研究活動スタート支援													
看護	助教	竹中 英利子	慢性疾患患者を支える外来看護師のアセスメント能力を育成する教育プログラムの開発	新規	R1～R2	0	0	500	150	200	60	700	210
研究活動スタート支援 小計						0	0	500	150	200	60	700	210
研究種目:若手研究B													
看護	助教	田中 雅美	トランジションを基盤としたICU新人看護師の看護実践能力向上支援プログラムの開発	継続	H29～R2	1,800	540	500	150	900	270	3,200	960
	助教	井上 さや子	神経性やせ症患者の身体感覚の回復に向けた、精神看護ケアガイドライン	継続	H29～R1	2,300	690	900	270	0	0	3,200	960
	助教	西内 舞里	妊娠期ケアにおける臨床判断に関する現任教員教育プログラムの開発	継続	H29～R1	1,500	450	500	150	0	0	2,000	600
	講師	渡邊 美保	高齢者のリロケーションを支援するケアガイドラインの開発	継続	H28～R1	2,200	660	600	180	0	0	2,800	840
若手研究B 小計						2,200	660	600	180	0	0	2,800	840

学部等	職名	氏名	研究題目	新規継続の別	研究期間	～H30		R1		R2～(予定)		総額(予定含む)	
						直接経費	間接経費	直接経費	間接経費	直接経費	間接経費	直接経費	間接経費
研究種目:若手研究													
看護	助教	幸崎 若菜	医療機関における社会的ハイリスク妊婦へのエンパワーメントに着目した支援モデル作成	新規	R1～R3	0	0	1,000	300	1,200	360	2,200	660
	助教	小原 弘子	難治性褥瘡への多職種在宅褥瘡ケアのマネジメントに向けたアセスメントツールの開発	新規	R1～R3	0	0	900	270	1,400	420	2,300	690
	准教授	渡邊 聡子	ICTを用いた妊婦の災害への備えを促進するための介入の効果検証	継続	H30～R3	200	60	2,200	660	900	270	3,300	990
	准教授	藤代 知美	統合失調症患者の在宅生活を支援する看護師の交渉コンピテンシー育成プログラムの開発	継続	H30～R2	1,300	390	700	210	1,100	330	3,100	930
社会福祉	講師	河内 康文	介護現場リーダーの越境的学習に基づく職場学習の実証研究－混合研究法に基づく分析－	新規	R1～R3	0	0	600	180	700	210	1,300	390
	講師	福間 隆康	障がいのある従業員の組織適応プロセスに関する研究	継続	H30～R3	500	150	400	120	600	180	1,500	450
	助教	加藤 由衣	省察的実践の理論に基づくソーシャルワーク実践方法と省察ツールの開発	継続	H30～R2	500	150	500	150	700	210	1,700	510
栄養健康	助教	沼田 聡	ハラル制度対応に向けた豚由来タンパク質に対する超高感度同時酵素免疫測定法の開発	新規	H30～R3	0	0	1,800	540	1,400	420	3,200	960
若手研究 小計						2,500	750	8,100	2,430	8,000	2,400	18,600	5,580
合 計						78,900	23,670	65,100	19,530	58,200	17,460	202,200	60,660

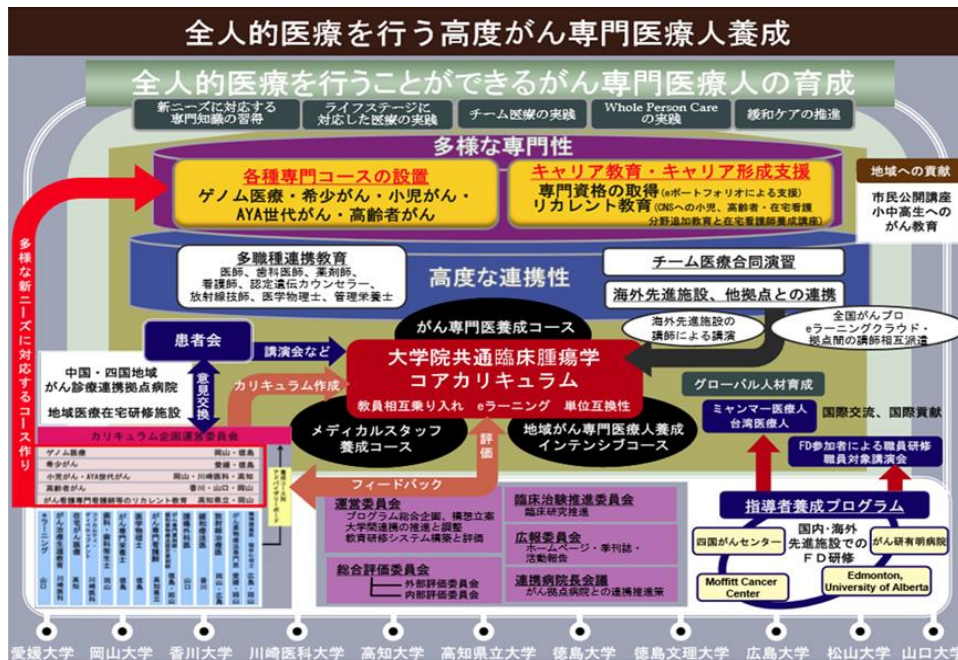
※令和元年度の実施状況・実績報告があった研究(繰越・期間延長課題を除く)について掲載し、職名は、実施状況・実績報告の職名を記載

(2)【「全人的医療を行う高度がん専門医療人養成」プロジェクト】

●事業目的

「全人的医療を行う高度がん専門医療人養成」プロジェクトは、中国・四国地方の岡山大学、香川大学、徳島大学、徳島文理大学、高知県立大学、高知大学、愛媛大学、松山大学、山口大学、広島大学、川崎医科大学の11の大学院と、35のがんセンター・がん診療連携拠点病院が参加する多職種の高度がん専門医療人養成の教育プログラムです。平成19年度に始めました「中国・四国広域がんプロ養成プログラム」から、平成24年度からの「中国・四国がんプロ養成基盤プログラム」を経て、平成29年度から第3期事業と発展しています。

平成29年度からの5年間行われる第3期事業では、第3期がん対策推進基本計画に盛り込まれるゲノム医療の実用化、小児および希少がんに対するがん医療、さらにAYA(Adolescent and Young Adult)世代や高齢者などのライフステージに応じたがん対策など、新たな視点から優れたがん専門医療人を育成し輩出することを目指しています。



本学は、中国・四国広域がんプロコンソーシアムに参加し、がん高度実践看護師養成WGの幹事校として活動しています。最初の5年間は、岡山大学、徳島大学とともにがん看護専門看護師WGとして取り組み、コンソーシアム内のがん看護専門看護師養成の教育課程を整備し、中国・四国の看護職の進学の機会を増やすとともに、チーム医療を推進していくがん看護専門看護師の存在意義や専門性、活動内容の理解促進に成果をあげてきました。平成24年度からは、広島大学と山口大学が加わった5大学のWGの幹事校として、がん高度実践看護師の養成をはじめ、インテンシブコースⅠ、インテンシブコースⅡを企画し、看護職の看護実践能力の向上に貢献してきました。

平成29年度からは、“小児がんの子どものケア”、“高齢者がん患者の治療とケア”に焦点を当て、教育プログラムを実施しています。また、中国・四国の実情に沿ったライフステージの多様な新ニーズに応える看護の質向上を推進する看護師、質の高い高齢がん患者のケアを創造していく訪問看護師を養成する教育コースを、5大学との連携、地域の保健医療福祉の関連機関との連携体制を強化し、多職種の方々のご支援を得て開講いたします。子どもから高齢者までのライフステージやがんの特性を考慮して、Cancer Trajectoryをたどる人の新ニーズを捉えて対応することのできる高度実践看護師の育成や、すでに実践で活躍されている専門看護師や認定看護師の新ニーズに対応する力を高めるリカレント教育を新たに展開していきます。

がん看護の質向上への貢献

がん高度実践看護師養成コース

がん高度実践看護師リカレントコース

がん高度実践看護師WG インテンシブコース

5大学院がん看護学合同セミナー

各大学の取り組み

幹事校

高知県立大学大学院
看護学研究科

岡山大学大学院
保健学研究科

山口大学大学院
医学系研究科 保健学専攻

広島大学大学院
医歯薬保健学研究科

徳島大学大学院
医歯薬学研究科 保健科学部門

●事業内容

担当教員

学部	職名	氏名
看護学部	教授	藤田 佐和
	教授	池田 光徳

事業費

年度	交付金額
平成31年度	5,668千円

●がん高度実践看護師教育課程におけるCNS養成と認定の実績

年度	入学者数	修了者数	CNS認定数
平成24年度	5	4	4
平成25年度	2	5	4
平成26年度	1	2	5
平成27年度	3	1	3
平成28年度	2	2	1
平成29年度	4	1	0
平成30年度	2	4	1
平成31年度	2	1	2

●インテンシブコースⅡ

平成24年度からスタートしたがん高度実践看護師WGでは、がん医療の実践現場において質の高いがん看護実践を推進していく中心的存在となる看護職を育成することを目的に、中国・四国のがん看護実践に携わる看護職の方を対象としたインテンシブコースⅡを企画しています。

インテンシブコースⅡでは、5年間の全体テーマを「がん患者のライフステージの様々な新ニーズに応える高度な看護実践の展開」とし毎年テーマを変えて講演会を開催します。平成30年度は、「働く世代のがん患者を支えるがん看護」をテーマに講演会を開催し、25名が受講しました。

●がん高度実践看護師(APN)コースⅠ

本学看護学研究科博士前期課程がん看護学およびその他の領域のCNSコースの学生を対象に、がん高度実践看護師の養成および、がん看護をサブスペシャリティとする高度実践看護師の養成を目指し、APNコースⅠを開講し、2名が受講しました。

●がん高度実践看護師(APN)コースⅡ

専門看護師、修士課程修了生、がん看護、小児看護、老年看護に関連する認定看護師を対象に、小児から高齢者までのライフステージやがんの特性を考慮し、がんとともに生きる人とその家族の健康と生活に関わるニーズに応えられる、専門性の高い実践ができる看護師の養成を目指し、平成31年度は4科目合計60時間の講義・演習を開講し、11名が修了しました。

●がん高度実践看護師(APN)セミナー

本学がん看護学領域を修了し、高知県内で活躍するがん看護専門看護師から、高度な看護実践の実際と6つの役割機能について学び、自己のがん高度実践看護師(APN)像を形成していく機会を得ることを目的として平成31年度は特別講義を含め7回セミナーを実施しました。

●がん看護学領域特別講義

本学看護学研究科のがん看護学領域では、大学院生や修了生を対象とした特別講義を開催しています。特別講義では、修了生が後輩である大学院生や修了生に対して、修了後の役割開発のプロセスや日頃のOCNSとしての実践活動について語る機会を平成31年度は8月に1回開催しました。

●チーム医療合同演習

11大学院のがんプロ大学院生が集まり、がん医療に関するテーマについて多職種でディスカッションを行うことで、チーム医療や多職種コミュニケーションの重要性についての学びを深めるチーム医療合同演習に参加しました。

●がん看護合同セミナーⅠ

中国・四国広域がんプロ養成コンソーシアムのがん看護専門看護師養成WGである5大学(高知県立大学・岡山大学・徳島大学・広島大学・山口大学)のがん高度実践看護師コースの大学院生を対象として、徳島大学が企画・運営を担当しているがん看護学合同セミナーⅠ「がん患者におけるリンパ浮腫と症状マネージメントの実際」に参画しました。

●アストラルの会

高知県立大学大学院看護学研究科がん看護学領域修了生の会「アストラル」は、がん看護の質向上のための自己研鑽、情報交換、修了生のネットワークづくりの充実を図ることを目的として、①学習会の開催、②メンターシップ、③メーリングリスト等による情報共有、④学会参加、⑤研究、⑥ホームページ・アストラルのブログ作成の活動を行いました。

(3) 奨学寄附金受入状況(過去5年間分)

平成27年度

(単位:円)

寄附を受けた者		金額	寄附者	研究題目
実績なし				
合計		0件	0	

平成28年度

(単位:円)

寄附を受けた者		金額	寄附者	研究題目
1	文化学部 准教授 清水 直樹	¥150,000	日本行政学会	選挙制度と政治的景気循環:日本の選挙と経済政策を根拠として
2	社会福祉学部 講師 福間 隆康	¥200,000	生協総合研究所	中間的就労の活用による生活困窮者雇用拡大のための方策 グリーンコープ共同体の実践と効果の検証
3	地域教育研究センター 講師 野辺 陽子	¥1,000,000	上廣倫理財団	養子と里子の「出自を知る権利」に関する社会学的研究 -法律関係という変数に着目して-
合計		3件	¥1,350,000	

平成29年度

(単位:円)

寄附を受けた者		金額	寄附者	研究題目
1	社会福祉学部 講師 福間 隆康	¥640,000	ひと・健康・未来研究財団	精神障害者の就労継続に関する研究 -自己効力感に着目して
2	健康栄養学部 教授 小林 淳	¥200,000	高銀地域経済振興財団	高知県特産品のブランド価値を維持・上昇させるための含有量等分析法の確立
合計		2件	¥840,000	

平成30年度

(単位:円)

寄附を受けた者		金額	寄附者	研究題目
1	看護学部 教授 神原 咲子	¥2,200,000	Yahoo!基金	誰も取り残さない減災ケアの地図化と社会化
2	看護学部 教授 山田 覚	¥2,000,000	Yahoo!基金	災害看護支援ネットワークの構築・維持と効率的な運用
3	看護学部 助教 小原 弘子	¥700,000	公益信託 高知新聞・高知放送 「生命(いのち)の基金」	在宅療養に関わる医療・介護職への急変対応スキル向上に向けた取り組み
4	健康栄養学部 講師 竹井 悠一郎	¥1,000,000	公益財団法人 日本栄養・食糧学会	動脈瘤発症の予防と治療を目指した食品に関する基礎研究
合計		4件	¥5,900,000	

令和元年度

(単位:円)

寄附を受けた者		金額	寄附者	研究題目
1	文化学部 准教授 根岸 忠	¥1,000,000	公益財団法人 ユニバーサル財団	公的扶助と私的扶助の関係をめぐる日台比較法研究
合計		1件	¥1,000,000	

(4) 受託研究費受入状況(過去5年間分)

平成27年度

(単位:円)

No.	研究者			金額	委託者	研究題目	期間
	学部	職名	氏名				
1	看護学部	准教授	神原 咲子	330,000 (うち間接 30,000)	独立行政法人 科学技術振興機構	避難所情報システムの地域妥当性のため の共同研究	平成26年5月7日～ 平成27年4月30日
2	看護学部	准教授	神原 咲子	3,630,000 (うち間接 330,000)	独立行政法人 科学技術振興機構	避難移住地における感染症流行予防の ための生活環境モニタリング	平成27年7月29日～ 平成28年6月30日
3	看護学部	特任 講師	Ngatu Nlandu Roger	1,217,160 (うち間接 117,863)	高知県	スミアオリ由来高分子多糖類を使用し た機能性表示食品の開発	平成27年11月26日～ 平成28年3月31日
4	健康栄養学部	教授	渡邊 浩幸	4,354,577	高知県 産業振興センター	飲酒による脳萎縮を軽減する健脳飲料の 研究開発	平成27年4月1日～ 平成28年3月31日
合計		4件		9,531,737			

平成28年度

(単位:円)

No.	研究者			金額	委託者	研究題目	期間
	学部	職名	氏名				
1	看護学部	准教授	神原 咲子	200,000	国立研究開発法人 科学技術振興機構	避難移住地における感染症流行予防の ための生活環境モニタリング	平成27年7月29日～ 平成28年6月30日
2	健康栄養学部	教授	稲井 玲子	216,000	南国市	食育の実践から「ことばの力」を高める ～主体的・共働的に学ぶ学習(アクティ ブラーニング)を通して～	平成28年6月15日～ 平成29年2月15日
3	健康栄養学部	教授	渡邊 浩幸	6,169,386	高知県商工労働部 新産業推進課	高知県産学官連携 産業創出研究推進事業(新規事業) 「食用カンナの多分野活用の研究」	平成28年9月2日～ 平成29年3月31日
4	健康栄養学部	教授	渡邊 浩幸	350,000	株式会社アミノエース	食品の賞味期限と脂質酸化	平成29年1月4日～ 平成29年3月3日
5	健康栄養学部	教授	渡邊 浩幸	5,564,000	株式会社協和 株式会社あさの	生姜と体温上昇に関する研究	平成29年3月1日～ 平成30年3月31日
合計		5件		12,499,386			

平成29年度

(単位:円)

No.	研究者			金額	委託者	研究題目	期間
	学部	職名	氏名				
1	健康栄養学部	教授	渡邊 浩幸	5,564,000	株式会社協和 株式会社あさの	生姜と体温上昇に関する研究	平成29年3月1日～ 平成31年3月31日
2	健康栄養学部	教授	渡邊 浩幸	6,053,723	高知県	食用カンナの多分野活用の研究	平成29年4月1日～ 平成30年3月31日
3	健康栄養学部	教授	渡邊 浩幸	500,000	公益財団法人 高知県牧野記念財団	牧野富太郎博士ゆかり植物の高度利用 による食品・健康・観光産業の創出	平成29年4月1日～ 平成30年3月31日
4	文化学部	教授	大村 誠	144,000	情報・システム研究機構 国立極地研究所	合成開ロレーダ(SAR)データの偏波特性 に着目した南極域の観測手法の高度化	平成29年4月1日～ 平成32年3月31日
5	社会福祉学部	講師	鳩間亜希子	1,600,000	NPO法人介護人材 キャリア開発機構	在宅高齢者を支える介護人材のあり方等 についての調査研究事業	平成29年7月1日～ 平成30年2月28日
6	健康栄養学部	教授	渡邊 浩幸	3,000,000	株式会社協和	ブタ由来プラセンタ及びサイタイの生理 活性評価	平成30年1月5日～ 平成30年3月30日
合計		6件		16,861,723			

平成30年度

(単位:円)

	研究者			金額	委託者	研究題目	期間
1	健康栄養学部	教授	渡邊 浩幸	5,949,012	高知県	食用カンナの多分野活用の研究	平成30年4月1日～ 平成31年3月31日
2	地域教育研究 センター 文化学部 文化学部	教授 准教授 准教授	清原 泰治 宇都宮千穂 清水 直樹	1,231,956	安芸市	「安芸市少子化対策強化基本計画策定 のための調査・研究委託業務」	平成30年5月1日～ 平成31年3月29日
3	健康栄養学部	教授	渡邊 浩幸	605,715	株式会社アミノエース	イタドリ葉部含有ポリフェノールの機能性	平成31年1月22日～ 平成31年1月25日
合計		3件		7,786,683			

令和元年度

(単位:円)

	研究者			金額	委託者	研究題目	期間
1	看護学研究科 看護学部 看護学部	教授 教授 准教授	神原 咲子 山田 寛 木下 真里	2,500,000	国立大学法人大阪大学	災害対応に資するPLRの事前整備と利用 モデルの検討	平成31年4月1日～ 令和2年3月31日
2	文化学部	准教授	根岸 忠	1,000,000	公益財団法人 日本台湾交流協会	外国人労働者受入れをめぐる労働市場 法政策の日台比較－外国人非熟練労働 者に焦点をあてて	平成31年4月1日～ 令和2年3月31日
3	健康栄養学部	教授	渡邊 浩幸	1,940,000	株式会社 協和	生姜摂取後の血流に関する研究	令和元年11月1日～ 令和2年3月31日
合計		3件		5,440,000			

(5) 受託事業費受入状況(過去5年間分)

平成27年度

(単位:円)

		代表教員		金額	委託者	業務名	期間
1	看護学部	教授	森下 安子	982,800	高知県	地域医療連携体制強化業務	平成27年4月1日～平成28年3月31日
2	看護学部	教授	森下 安子	3,425,000	高知県	平成27年度高知県介護職員喀痰吸引等研修	平成27年5月8日～平成28年3月31日
3	看護学部	教授	森下 安子	2,112,000	高知県	平成27年度地域医療フォーラム開催委託業務	平成27年11月18日～平成28年3月31日
合計		3件		6,519,800			

平成28年度

(単位:円)

		代表教員		金額	委託者	業務名	期間
1	看護学部	教授	森下 安子	3,425,000	高知県	平成28年度高知県介護職員喀痰吸引等研修事業	平成28年4月1日～平成29年3月31日
2	看護学部	教授	森下 安子	5,691,395	高知県中央西福祉保健所	退院支援体制推進事業	平成28年4月14日～平成29年3月31日
3	社会福祉学部	講師	河内 康文	1,906,000	高知県	高知県キャリア教育推進事業	平成28年5月17日～平成29年3月31日
合計		3件		11,022,395			

平成29年度

(単位:円)

		代表教員		金額	委託者	業務名	期間
1	看護学部	教授	森下 安子	8,967,000	高知県	退院支援事業	平成29年4月25日～平成30年3月31日
2	看護学部	教授	森下 安子	3,425,000	高知県	平成29年度高知県介護職員喀痰吸引等研修事業	平成29年5月19日～平成30年3月31日
3	社会福祉学部	講師	河内 康文	2,934,000	高知県	高知県キャリア教育推進事業	平成29年6月6日～平成30年3月31日
合計		3件		15,326,000			

平成30年度

(単位:円)

		代表教員		金額	委託者	業務名	期間
1	看護学部	教授	森下 安子	13,950,000	高知県	退院支援事業	平成30年4月1日～平成31年3月31日
2	地域教育研究センター	教授	清原 泰治	1,231,956	安芸市	安芸市少子化対策強化基本計画策定のための調査・研究委託業務	平成30年5月1日～平成31年3月29日
3	社会福祉学部	講師	河内 康文	2,934,000	高知県	高知県キャリア教育推進事業	平成30年6月1日～平成31年3月31日
4	看護学部	教授	森下 安子	2,719,000	高知県	平成30年度高知県介護職員喀痰吸引等研修事業	平成30年6月4日～平成31年3月31日
合計		4件		20,834,956			

令和元年度

(単位:円)

	代表教員			金額	委託者	業務名	期間
1	看護学部	教授	森下 安子	16,233,000	高知県	退院支援事業	平成31年4月1日～ 令和2年3月31日
2	看護学部	教授	内田 雅子	1,960,000	高知県	糖尿病保健指導連携体制構築事業	平成31年4月19日～ 令和2年3月31日
3	社会福祉学部	講師	河内 康文	3,512,000	高知県	高知県キャリア教育推進事業	令和元年5月13日～ 令和2年3月31日
4	看護学部	教授	森下 安子	2,719,000	高知県	令和元年度高知県介護職員喀痰吸引等 研修事業	令和元年6月25日～ 令和2年3月31日
合計		4件		24,424,000			

(6) その他受入状況(過去5年間分)

平成27年度

(単位:円)

	研究者	金額	相手先	研究題目・事業名	期間
1	森下 安子	20,000,000	高知県	平成27年度高知県中山間地域等訪問看護師育成講座	平成27年5月12日～平成28年3月31日
2	宇都宮 千穂	200,000	高銀地域経済振興財団	高知県における移住促進政策と移住者の実態に関する研究	平成28年3月3日～平成29年3月2日
合計		2件	20,200,000		

平成28年度

(単位:円)

	研究者	金額	相手先	事業名	期間
1	森下 安子	20,000,000	高知県	平成28年度高知県中山間地域等訪問看護師育成講座	平成28年4月1日～平成29年3月31日
合計		1件	20,000,000		

平成29年度

(単位:円)

	研究者	金額	相手先	事業名	期間
1	森下 安子	20,000,000	高知県	平成29年度高知県中山間地域等訪問看護師育成講座	平成29年4月1日～平成30年3月31日
合計		1件	20,000,000		

平成30年度

(単位:円)

	研究者	金額	相手先	事業名	期間
1	森下 安子	20,000,000	高知県	平成30年度高知県中山間地域等訪問看護師育成講座	平成30年4月1日～平成31年3月31日
合計		1件	20,000,000		

令和元年度

(単位:円)

	研究者	金額	相手先	事業名	期間
1	森下 安子	20,000,000	高知県	平成31年度高知県中山間地域等訪問看護師育成講座	平成31年4月1日～令和2年3月31日
2	渡邊 浩幸	13,200,000	高知県	“IoP (Internet of Plants)”が導く「Next次世代型施設園芸農業」への進化	平成31年4月1日～令和2年3月31日
3	渡邊 浩幸	400,000	高知県牧野記念財団	牧野富太郎博士ゆかり植物の高度利用による食品・健康・観光産業の創出	平成31年4月1日～令和2年3月31日
4	渡邊 浩幸	500,000	株式会社ファンケル	コーン由来のASG含有抽出物の内臓脂肪増加と血中LDL上昇の抑制効果の検証	令和元年11月1日～令和2年3月31日
合計		4件	34,100,000		

6 学長助成事業等の状況

【学長助成事業実績】

(単位:千円)

事業名	助成費	備考
NetAcademyサポートクラブ活動	100	
令和元年度下半期国内・国外研修	974	
健康長寿センター開設10周年記念事業	300	
栄養学的エビデンスに基づいたアスリートのパフォーマンス向上	711	
DNGL管理センターの用途変更事業	360	
総合情報センター・図書館改革委員会	206	
健康栄養学部パンフレットの作成	165	
除却候補書籍一時収納用書架設置に係る費用	1,519	
令和2年度上半期国内・国外研修	1,500	
カラープリンターリース契約の頭金支払い	1,400	
新学生寮建設予定地地盤調査	2,024	
看護実践能力向上のためのシミュレーション及び技術開発のための教育環境整備	8,930	
社会福祉学部教材購入	885	
健康栄養学のホームページ作成	952	
オラクルデータベースサーバ構築及び運用保守委託業務	3,000	
高知県立大学異文化理解海外フィールドワーク「エルムズカレッジ短期研修」	63	
国際交流協定に基づく交換留学生用宿舎経費	2,018	
国際交流センター事業「交換留学」「短期派遣研修」	503	
国際交流促進費用	1,500	
合 計	27,110	

【戦略的研究推進プロジェクト事業実績】

(単位:千円)

事業内容	助成費	備考
高知県立大学の学術研究の充実及び高知県の課題解決を目指し、特に重点的に本学を特徴づけるテーマ1～3のいずれかにおいて、教育研究力を格段に高めようとする取り組みに対し、経費を補助することにより、教育・研究のイノベーションを促すことを目指す。	6,578	
合 計	6,578	

13 キャンパス

1 土地

(単位:㎡)

	区 分	所 在 地	面 積
1-1	校舎敷地(図書館、体育館等)	高知市永国寺町5番15号	11,313.00
1-2	校舎敷地(地域連携棟、学生会館等)	高知市永国寺町6番28号	3,115.98
1-3	校舎敷地	高知市池2751-1	31,586.00
1-4	校舎敷地(教育研究棟等)	高知市永国寺町2番22号	7,406.00
1-5	運動場敷地	高知市池2532-2	9,620.00
1-6	多目的広場・大学駐車場	高知市池2469-1	23,963.00
1-7	学生寮教職員宿舍敷地	高知市東石立町17番2号	2,653.00
1-8	池教員宿舍敷地	高知市池2160-1	3,226.00
1-9	朝倉教員宿舍敷地	高知市朝倉本町1丁目210-3	281.00
1-10	鴨部教員宿舍敷地	高知市鴨部1258-1	568.51
1-11	その他(法面等)	高知市池2155-1 ほか	10,947.70
	計		104,680.19

2 建 物

(単位:㎡)

	区 分	所 在 地	面 積
2-1	南校舎(地域連携棟)	高知市永国寺町6番28号	3,135.89
2-2	図書館	高知市永国寺町5番15号	1,401.48
2-3	自転車置場	〃	29.40
2-4	講堂兼体育館	〃	1,237.54
2-5	自転車置場	〃	134.00
2-6	学生会館	〃	1,434.85
2-7	校 舎	高知市池2751-1	12,565.89
2-8	体育館	〃	3,337.16
2-9	自転車置場	〃	262.50
2-10	グラウンド内トイレ等	高知市池2751-1	67.20
2-11	学生寮	高知市東石立町17番2号	1,173.02
2-12	教職員宿舍	〃	684.48
2-13	朝倉教員宿舍	高知市朝倉本町1丁目210-3	134.02
2-14	鴨部教員宿舍	高知市鴨部1258-1	278.60
2-15	池教員宿舍	高知市池2160-10	1,116.19
	計		26,992.22